

科目名	基礎ゼミナール（スタディスキル）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	前期			
担当者名	佐藤 美幸、福岡 泰子、立川 美香 、江口 恵里、山本 博美		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状			
授業概要 大学生として必要な基本的態度や学習技術、学習習慣を身につけ、大学生活への動機付けとする。また、自ら考え・学ぶ姿勢、相手の意見を聴く姿勢を身につけ、コミュニケーション能力を獲得する。大学生活を送る上でのマナーや自己管理について考え、生活を整える。 授業は対面で行う。 （担当教員全員が、大学教員および看護職としての実務経験を基にこの授業を行う）							
到達目標 B1101 1. 大学で学ぶ姿勢を身につける 2. 大学の仕組み、大学での学びについて理解できる 3. スタディスキルを身につける（聴く、読む、書く、話す） 4. 大学生としての生活やマナーを身につける 5. 自ら目標設定し、評価できる			成績評価方法 授業内レポート 授業外レポート（提出物） 最終レポート				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、大学で学ぶということ（佐藤） 【予習】 シラバスを確認する（10分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	振り返りシート
2) 大学で学ぶということ2（大学生生活、時間管理）（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	振り返りシート
3) 香川学園・大学について（香川昌子伝）・建学の精神（長坂学長） 【予習】 資料を読んでくる、大学のHPを見てくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	振り返りシート
4) 入学前課題 図書館の活用（見学）（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる、大学の図書館のHPを見てくる（20分） 【復習】 入学前課題について、再度確認をする。課題を行う（70分）	図書館の利用（課題） 振り返りシート
5) 自分の強みを探そう1 PROGテスト（キャリア支援センター） 【予習】 資料を読んでくる（30分） 【復習】 資料を再度よみ、振り返る（30分）	振り返りシート
6) （佐藤）大学生としてのマナー（キャリア支援センター） 【予習】 資料を読んでくる（30分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る。実践する（60分）	振り返りシート
7) 聴く力：ノートテイキング・メモをとること（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	振り返りシート グループワーク
8) 読む力：文章の読み方（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る。課題を行う（60分）	振り返りシート グループワーク
9) 書く力：文章の書き方（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る。レポート作成（75分）	振り返りシート 課題
10) レポートの書き方（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（75分）	振り返りシート
11) 看護職について（学外講師） 【予習】 資料、看護学概論の教科書を読んでくる（30分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（75分）	振り返りシート レポート課題
12) 大学生としての生活（マネーマネジメント）（学外講師） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	振り返りシート グループワーク
13) 話す力：コミュニケーションスキル（学外講師） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	振り返りシート
14) 自分の強みを探そう2（PROG解説）（キャリア支援センター） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	振り返りシート
15) 前期のまとめ・振り返り・夏休みの過ごし方（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	振り返りシート
授業外学習	
講義資料は該当ページに目を通してから授業に臨んでください。資料の該当ページはガイドブックを参照してください。授業で提示された提出物は翌週の提出です。なるべくその日のうちに復習を兼ねて取り組んで下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付（基礎ゼミナール講義資料、ガイドブック） レビューブック（メディックメディア）	看護学全ての科目に関連する

課題に対するフィードバック

提出物は、授業内でコメントする
レポートは、コメントして返却する

備考

遅刻、理由のない欠席をしないこと
授業途中での退席をしないこと
携帯電話の使用・飲食・私語を禁ずる
各回に振り返りシートを用いて振り返りを行う

科目名	基礎ゼミナール（キャリアデザイン）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、福岡 泰子、立川 美香 、江口 恵里、山本 博美		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状			
授業概要 グループワークを通じて、円滑なグループワークの運営を行うためのスキルを身につけ、発表を通じて他者に伝える力を養う。また将来の看護職としての自己像を描き、自己像に近づくための方法を考え、看護職者・社会人としての基本的な姿勢や態度を身につける。 授業は対面で行う。 （担当教員全員が、大学教員としての実務経験を基に授業を行う）							
到達目標 B1102 1. グループワークが効果的に進められる 2. 効果的なプレゼンテーションが行える 3. 自分のキャリアがデザインできる 4. 自分の4年後の姿を踏まえた目標設定ができる 5. 患者の体験談を通じて、患者の気持ちやおかれている立場を理解する			成績評価方法 レポート、グループワーク、プレゼンテーションを総合的に評価する 試験は最終レポートとする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 後期オリエンテーション、後期目標の設定、前期、夏休みの振り返り（佐藤） 【予習】 前期、夏休みの振り返りをしておく（60分） 【復習】 資料を読み、振り返る（30分）	振り返りシート
2) 文献の探し方/グループワークとは（図書館司書、佐藤） 【予習】 資料を読んでおく（30分） 【復習】 資料をもとに振り返りをしておく。課題を行う（60分）	振り返りシート 文献を探す（課題）
3) プレゼンテーションスキル（伝える力）（福岡） 【予習】 資料を読んでおく（30分） 【復習】 資料を基に振り返りを行う（60分）	振り返りシート
4) 認知症サポーター養成講座（宇部市） 【予習】 認知症について調べる（60分） 【復習】 認知症についての学びをさらに深める（30分）	事前課題
5) グループワーク（全担当者） 【予習】 グループワークの課題に関連した資料を集める（60分） 【復習】 グループワークの内容を振り返る（30分）	グループワーク
6) グループワーク（発表）（全担当者） 【予習】 前回の内容で分からないこと、不十分なことを調べておく（60分） 【復習】 グループワークの内容を振り返る（30分）	グループワーク
7) 看護職になるために今からできること(1) 看護の先輩の体験談（外部講師） 【予習】 資料を読んでおく。事前課題を行う（30分） 【復習】 課題に沿ってレポートを作成する（60分）	レポート 振り返りシート
8) 看護職になるために今からできること(2) 卒業生の体験談（外部講師） 【予習】 資料を読んでおく。質問を考える（30分） 【復習】 課題に沿ってレポート作成（60分）	レポート
9) 健康について（立川） 【予習】 資料に目を通して、自分自身の健康について振り返りを行う（30分） 【復習】 自分自身の健康について改めて振り返る。（60分）	振り返りシート
10) B型肝炎患者講義（外部講師） 【予習】 B型肝炎について調べる。肝臓の構造と機能を復習する。（60分） 【復習】 振り返りを行い、レポートにまとめる（30分）	レポート
11) グループワーク（テーマをもとにGWをおこなう）（全担当者） 【予習】 テーマについて資料を集め調べておく（60分） 【復習】 GWについての振り返りをする（30分）	グループワーク グループワーク評価
12) グループワーク（発表）（全担当者） 【予習】 発表準備をする（60分） 【復習】 振り返りを行う（30分）	グループワーク グループワーク評価
13) キャリアデザイン1（マナー・情報管理）（キャリア支援センター） 【予習】 前期で学んだマナーを確認しておく（30分） 【復習】 資料をもとに復習をする（30分）模擬試験に向けて学習する	振り返りシート
14) キャリアデザイン2（低学年模擬試験）（立川） 【予習】 人体の構造と機能の学習をしておく（30分） 【復習】 分からなかったことを再度学習する（60分）	模擬試験 自己採点
15) 基礎ゼミナールのまとめ 今後の目標設定（佐藤） 【予習】 各自1年間を振り返っておく（20分） 【復習】 課題に沿ってレポート作成（70分）	最終レポート
授業外学習	
授業の前に配付資料に目をとおしておいてください。 提出物は原則として翌週の提出です。必ずその週に取り組んで下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料を配付する	看護学全ての科目に関連する

課題に対するフィードバック

提出物は全体でコメントする
レポートはコメントをつけて返却する

備考

科目名	情報処理の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	堤 健人	関連する資格		

授業概要

原則、講義は対面で実施する。コンピュータを用いた情報処理に焦点をあて、高度情報通信社会におけるコンピュータの利用、活用についての考え方を身につけるとともに、文書作成や表計算処理などの基本的な活用方法を修得する。また、情報の管理やインターネット等を利用する際のモラルや危険性などを認識する。

到達目標

B1201y

1. 情報や情報処理についての基本概念・知識を修得する。
2. コンピュータの全体像を理解し、構成するハードウェアとソフトウェアの機能について説明することができる。
3. 高度情報通信社会について認識し、モラルやマナーに則った言動ができる。
4. 情報セキュリティの重要性を知り、適切な対策ができる。

成績評価方法

小テスト、授業内レポート、学習に対する意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス（授業概要や授業計画、授業形態、評価についての確認）	
2) 情報セキュリティ 【予習】適切なパスワードについて調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
3) 情報とは 【予習】情報の定義を調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
4) コンピュータと情報社会 【予習】社会の情報化について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
5) アナログ情報とデジタル情報 【予習】アナログ情報とデジタル情報の違いについて調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
6) 二進数の世界 【予習】二進数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
7) コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】十六進数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
8) コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】コンピュータの扱う負の数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
9) コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】浮動小数点形式について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
10) コンピュータのハードウェアI 【予習】コンピュータの五大機能について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート、小テスト
11) コンピュータのハードウェア 【予習】保有するスマホやパソコンのCPUを調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
12) コンピュータのハードウェア 【予習】SI接頭語について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
13) コンピュータのハードウェア 【予習】インターネットに接続するための機器を調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
14) プログラミング言語と言語処理システム 【予習】プログラミング言語について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート、小テスト
15) コンピュータのソフトウェア 【予習】頻繁に利用するアプリケーションと用途を挙げる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
授業外学習	
各自が適した方法で復習し、授業での学習内容が定着するようにしましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて、資料等を配付する。テキストは指定しないが、参考図書を以下に示す。 参考図書：『基本を学ぶ コンピュータ概論（改訂2版）』安井浩之・木村誠聡・辻裕之（著）、オーム社、2019.	情報処理演習

課題に対するフィードバック

授業内レポートは、基本的に次の講義の冒頭でフィードバックを行う。

備考

原則、講義は対面で実施するが新型コロナウイルスの感染状況等によってはオンデマンド形式に変更する場合もある。

科目名	情報処理演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	中田 充	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

健康情報管理の実践のための具体的技法を情報処理機器の活用を中心に学ぶ。また、プレゼンソフトを活用したプレゼンテーションの方法や、文書作成ソフト、表計算ソフトなどの活用について演習を通して学ぶ。

到達目標

B1202

ある対象を他者に分かりやすく工夫して説明することができること。
 自己紹介や電子絵本・広報資料等の作成課題を通して、プレゼンテーションソフトの基本操作を習得できること。
 成績表や医療データを処理する活動を通して、基本的な関数を中心とした表計算ソフトの基本操作を習得することができること。
 レポート課題を通して、作図機能を用いて図を作成し、表計算ソフトでデータを分析・表現し、それらの図や表・グラフを活用して文書作成ソフトでレポートを書くことができること。

成績評価方法

毎回の授業時の課題作業や演習課題の作業点と最終課題により総合的に判断する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							15
グループワーク							
演習							25
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ・授業オリエンテーション（授業計画・授業評価）・架空の勤務先を対象にして1分間自己紹介に挑戦してみよう。【予習】シラバスを読む(15分)【復習】自己紹介ポイントを省察する(15分)	・自分を覚えてもらうための自己紹介の内容を考える。 ・自己紹介をプレゼンする。
2) ・プレゼンソフトの機能を理解しよう。・自己PRスライドを作成しよう。【予習】プレゼンソフトで「できること」を調べてみる(15分)【復習】自己PRスライドの修正点を考え具体化する(15分)	・自己PRの内容を考える。 ・自己PRを分かりやすく工夫して表現する。
3) ・電子絵本のストーリーを考えよう。【予習】(15分) 電子絵本の内容を考えておく(15分)【復習】電子絵本の内容を文書作成ソフトでまとめる(30分)	・スライドショー形式の電子絵本の内容を考える。
4) ・プレゼンソフトを活用して電子絵本を作成しよう（その1）。 【予習】電子絵本のイメージを創っておく(15分) 【復習】次週すべき資料作成作業を具体化する(30分)	・閲覧者に響く言葉の使い方を考えてスライドで工夫して表現する。
5) ・プレゼンソフトを活用して電子絵本を作成しよう（その2）。 【予習】電子絵本のイメージを創っておく(15分) 【復習】次週すべき資料作成作業を具体化する(30分)	・アニメーション等を活用してより幅広い対象に伝わる表現を考える。
6) ・プレゼンソフトを活用して電子絵本を作成して、自分で評価しよう。 【予習】電子絵本のイメージを創っておく(15分) 【復習】電子絵本を完成させる(30分)	・アニメーション等を活用して電子絵本を完成させる。・完成させた電子絵本を自己評価する。
7) ・展覧会を実施しよう。（その1） 【予習】アニメーションの付け方・誤字脱字等を確認して適宜修正しておく(30分) 【復習】他者の資料作成の良さをまとめておく(15分)	・アンケートフォームを作成して、相互評価の準備をする。
8) ・展覧会を実施しよう。（その2） 【予習】他者の作品の評価を終わらせる(30分)【復習】自己評価と他者評価の比較方法を確認しておく(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。
9) ・展覧会を実施しよう。（その3） 【予習】自分の作品に対する他者からの評価を確認しておく(15分)【復習】表やグラフを用いて分析結果を分かりやすくまとめる(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。
10) ・展覧会を実施しよう。（その4） 【予習】自分の作品に対する他者からの評価を確認しておく(15分)【復習】分析結果を文章にまとめる(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。・文書作成ソフトで分析結果をまとめる
11) ・展覧会を実施しよう。（その5） 【予習】自分の作品に対する他者からの評価を確認しておく(15分)【復習】分析結果のレポートを作成する(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。・文書作成ソフトで分析結果をまとめる
12) ・展覧会を実施しよう。（その6） 【予習】自分の作品に対する他者からの評価を確認しておく(15分)【復習】分析結果のレポートを完成する(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。・文書作成ソフトで分析結果をまとめる
13) ・オープンデータの理法方法を身につけよう。（その1） 【予習】オープンデータについて調べておく(15分)【復習】オープンデータの定義、利用方法を確認する(30分)	・オープンデータをダウンロードする。・表計算ソフトを用いてオープンデータを加工・分析する。
14) ・オープンデータの理法方法を身につけよう。（その2） 【予習】オープンデータの活用方法について調べておく(15分)【復習】オープンデータの活用方法について確認する(30分)	・表計算ソフトを用いてオープンデータを加工・分析する。・オープンデータを各種サービスに利用する
15) ・オープンデータの理法方法を身につけよう。（その3） 【予習】オープンデータの活用事例について調べておく(15分)【復習】オープンデータの活用して自分の興味のある事例に関するレポートを作成する(30分)	・課題の回答を読み手に分かりやすく伝えるための文書作成ソフト等での表現方法を考える。
授業外学習	
授業時に授業外学習用の課題(課題解決や作品制作等)を提出する場合があります。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストや参考書は利用しません。必要に応じて、資料配布、Web情報を活用してもらいます。	インターネットの使い方

課題に対するフィードバック

予習課題については、疑問や分からないことを持って授業にのぞんでくれることを期待し、調べてきたこと・考えてきたこと、疑問や分からないことを授業のなかで適宜発表（ペア・グループでの発表含む）してもらおう。また、復習課題については、次の授業のはじめに前の授業の復習をする際に質問したり、改めて考えてもらおう。さらに、スキル習得の復習課題の際には、次の授業のはじめに対象スキルを利用した問題に取り組ませる。

備考

科目名	エッセンシャルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 総合的な英語運用能力の育成に焦点を当てた授業を展開する。その方法として、色々なタスクを通し、1)英文読解、2)英文法、3)リスニング、4)スピーキング、5)ライティングの指導を行う。
 この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで450点、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1203y
 ・ TOEIC (Listening & Reading)テスト(公開又はIP)で450点以上のスコアをとる力を身に付けることができる。
 ・ 読解力を向上させることができる。
 ・ コミュニケーション能力を向上させることができる。

成績評価方法

定期試験(中間・期末) -----80%
 授業態度・授業参加度 -----20%
 で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 The Cherry Blossom Season in Japan. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Review Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
3) Unit 2 Travel Pleasures. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
4) Unit 3 Lucky Discoveries. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
5) Unit 4 Saving Our Precious Water. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
6) Unit 5 Festival Fun and games. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
7) Unit 6 Work Pre- and Post-covid-19. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
8) Unit 7 Online Social Advancement. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
9) unit 8 Woman's social advancement. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
10) Unit 9 Music Makers. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
11) Unit 10 Risks and Rewards of Online Tasks. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
12) Unit 11 Getting Around in the Future. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
13) Unit 12 birtual Reality is Really Here. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
14) Unit 13 Pet Ado@ption. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
15) Unit 14 Mobile Supermarkets to the Rescue. [予習] Reading Starter をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやリ、一章分を復習しておく。(30分)	Review Test
授業外学習	
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す予習および復習をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：Reading Leader. Robert Hickling[2024年] 金星堂	アドバンストイングリッシュ ライセンスイングリッシュ

課題に対するフィードバック

Review Testは翌週の授業の冒頭に答え合わせをする。

備考

TOEIC (Listening & Reading)テスト(公開又はIP)を受験し、規定のスコアに達すれば単位を認定する。

科目名	エッセンシャルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格	養護教諭	

授業概要

対面で授業を行う。日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を修得する。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を育成する。また、この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEICの450点を、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1203y
 1 異文化を理解し、英語でコミュニケーションを図ることが出来る。
 2 TOEICテスト(公開テストまたはIP)で550点以上のスコアをとる力を身に付ける。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) TOEICの特徴についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 TOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前学期中に英語で口頭発表をしてもらう。
2) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『An Amazing Avenue for the TOEIC L&R Test 400』 ?寛美 他編著 成美堂	アドバンストイングリッシュ

課題に対するフィードバック

提出された各課題はそれぞれ点数化し、総評を授業内で公表する。その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	アドバンストイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 現代社会に関する情報を取り扱った英文を取り上げ、総合的な英語力を身に付けさせる授業を展開する。
 その方法として： パラグラフ・リーディングの練習を行う。 内容を把握する練習を行う。 リスニングの練習を行う。
 英作文の練習を行う。
 この講義は学生の英語レベルにより初級、上級クラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで500点、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1204y
 ・ TOEIC(Listening & Reading)テストで500点以上のスコアをとる英語力を身に付けることが出来る。
 ・ 英語の読解力を向上させることが出来る。
 ・ 書く力を向上させることが出来る。
 ・ 聞く力を向上させることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%
 授業態度・授業参加度 ----20%
 で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 ワクワクしています！ [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
3) Unit 2 メガネはどこへやったっけ？ [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
4) Unit 3 毎日ネットサーフィンをします [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
5) Unit 4 お昼は学食で食べます [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
6) Unit 5 ゴールデンウィークはどこに行きましたか？ [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
7) Unit 6 コンビニでアルバイトをしています [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
8) Unit 7 銀行でお金をおろしたばかりです [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
9) Unit 8 納豆を食べたことがありますか？ [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
10) Unit 9 昨夜から雨が激しく振っています [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
11) Unit 10 公務員になるつもりです [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
12) Unit 11 今日は残業しなくてはいけません [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
13) Unit 12 容疑者が逮捕されたのをご存じですか？ [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
14) Unit 13 昨年アカデミー賞を取った映画は何ですか？ [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
15) Unit 14 田中がホームランを打ったかどうか教えてください [予習] Key Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
授業外学習	
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す練習問題に解答しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト Easy English Learning Through Pattern Practice. 高本孝子他[2019] 開文社出版	

課題に対するフィードバック

備考

TOEIC TEST (Listening & Reading) を受験し、規定のスコアに達すれば、単位を認定する。

科目名	アドバンストイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格	養護教諭	

授業概要

対面で授業を行う。少子高齢化社会、環境問題、介護問題等グローバルな問題に関する英文を読み、自分の考えや意見をレポートにまとめる方を修得する。さらに、この講義においては、作成したレポートをもとにしてプレゼンテーションを行い、より高度で、実践的なコミュニケーション能力を育成する。この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEICの500点を、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1204y
 1 TOEICテスト(公開テストまたはIP)で600点以上のスコアをとることができる。
 2 異文化を理解し、英語でコミュニケーションを図ることができる。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) TOEICの特徴についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期間中にレポートを提出してもらおう。
2) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Best Practice for the TOEIC L&R Test』 吉塚弘他編著 成美堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。	

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	オーラルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	イトワト N. ナツノ	関連する資格		

授業概要

日常的なコミュニケーションの場においては、リスニングの力が重要な役割を果たしている。ビデオやテープ等の視聴覚資料等の活用により、英語の音に興味を持たせ、リスニング力の向上を図り、英語による発話意欲を刺激する。リスニング力と発話意欲を向上させることにより、コミュニケーションを円滑にしていく能力を育成する。具体的には、オフィスや地域社会及び海外旅行等に必要とされる英会話力を身に付けさせる。さらに、海外からの旅行者に英語を用いた口頭による日本文化や生活習慣の説明、観光案内を行う発信型の英会話力を身に付けさせる。(対面授業)

到達目標

B1205

- 知識・理解の観点 (具体的に説明できる。)
- 思考・判断の観点 (内容を要約できる。)
- 関心・意欲の観点 (考えを表現する。)
- 態度・価値観の観点 (討議に参加できる。)
- 技能・表現の観点 (相手に反応できる)

成績評価方法

STUDENTS ATTENDING THIS COURSE WILL BE EVALUATED ACCORDING TO THEIR CLASS PARTICIPATION, ATTENDANCE AND TEST RESULTS.
〔授業態度・出席と試験結果に従って評価する。〕

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ORIENTATION AND SELF-INTRODUCTIONS. [オリエンテーションと自己紹介] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	CLASS OUTLINE AND PAIR WORK.
2) GREETINGS. [挨拶] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
3) WHERE ARE YOU FROM? [どこから来ましたか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
4) WHAT TIME IS IT? [何時ですか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
5) WHAT'S YOUR JOB? [あなたの仕事は何ですか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
6) RENTING A FLAT. [アパートを借りる] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
7) SHOPPING. [買い物] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
8) CAN YOU HELP ME? [手伝ってもらえますか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
9) AN AMERICAN RESTAURANT. [アメリカンレストラン] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
10) AT CUSTOMS. [税関で] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
11) MEDICAL PROBLEMS. [医療の問題] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
12) TALKING ABOUT THE FAMILY. [家族について話す] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
13) WHAT CAN YOU DO? [何ができますか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
14) HOLIDAYS. [休日] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
15) AT THE POST OFFICE. [郵便局で] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
授業外学習	
授業の予習復習をする。授業前に分からない単語を調べてくる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
STUDENTS WILL BE PROVIDED WITH HANDOUTS TO COVER ALL PLANNED TEACHING ACTIVITIES. STUDENTS ARE ASKED TO ENSURE THEY BRING ENGLISH /JAPANESE AND JAPANESE / ENGLISH DICTIONARIES TO CLASS. [学生はすべての計画された指導活動を学習するために教材（印刷物）を配布される。授業に英和・和英辞典を必ず持参することを求める。]	

課題に対するフィードバック

翌週の授業で質問応答。

備考

科目名	メディカルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。
 看護師が言語を異にする患者及びドクターとコミュニケーションを図るために必要な基礎的英語力を育成する。
 その方法として：患者への動作の指示、介助、説明に不可欠な英語の語彙及び表現を身に付けさせる。医療器具、体の部位、痛み等に対する英語を身に付けさせる。さらに、英語を使うドクターの指示、患者の要求を聞き取るためのリスニングの練習を行う。

到達目標

- B2201
- ・基礎的な医療関連の英文を理解することができる。
 - ・言語を異にする患者やドクターと英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
 - ・英語の語彙を拡大することができる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%
 授業態度・授業参加度-----20%
 で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 Getting to Know the Patients 1 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
3) Unit 2 Getting to Know the Patients 2 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
4) Unit 3 Getting to Know the Patients 3 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
5) Unit 4 Getting to Know the Patients 4 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
6) Unit 5 Examination 1 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
7) Unit 6 Examination 2 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
8) Unit 7 Instructing Medication 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
9) Unit 8 Treating the Patients 1 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
10) Unit 9 Treating the Patients 2 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
11) Unit 10 Treating the Patients 3 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
12) Unit 11 Operation 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
13) Unit 12 Pregnancy 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
14) Unit 13 In the hospital 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
15) Unit 14 Emergencies 【予習】 Vocabularyの欄をやっておく。(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Pair work
授業外学習	
「授業計画と概要」に示す予習および復習をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：実践看護英語 - 専門用語の習得と英会話能力の養成 - [2014]竹林修一、英宝社	スペシフィックイングリッシュ

課題に対するフィードバック

備考

科目名	メディカルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。看護師が言語を異にする患者及び医師とコミュニケーションを図るために必要な基礎的英語力を育成する。その方策として、患者への動作の指示や介助、説明に不可欠な用語及び表現を身につける。さらに、医療器具、体の部位、痛み等に対する英語を身につけ、患者及び医師への対応に必要なとされる英語の知識を深める。

到達目標

B2201

- 1 言語を異にする患者及び医師とコミュニケーションを図ることが出来る。
- 2 基礎的な医療関連の英文を理解する能力を身につける。
- 3 外国における医療・看護への関心が高まる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護関係の英語の特徴について テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 国際医療に占める英語の位置 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 英語関連の資格試験 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 病院における英語の使い方についての説明 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 英語による患者とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 英語による医師とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 英語による同僚とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 英語による患者の家族とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 状況別の英語の使い方についての説明 1 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 状況別の英語の使い方についての説明 2 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 状況別の英語の使い方についての説明 3 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 状況別の英語の使い方についての説明 4 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 状況別の英語の使い方についての説明 5 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 状況別の英語の使い方についての説明 6 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『First Aid: English for Nursing』樋口晶彦 John Tremarco著、金星堂 毎回プリント類を配布する 参考書：『現場ですぐに役立つ! 看護・医療スタッフの英語』山中マーガレット著、2008年、朝日出版社	スペシフィックイングリッシュ

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	ライセンスイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

TOEIC等の試験の結果により単位を認定する。試験自学自習を通し、公的資格にチャレンジし、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

B1206

- 1 国際コミュニケーション協会が実施する「TOEIC（公開またはIP）試験」で450点以上のスコアを取ることができる。
- 2 財団法人日本英語検定協会が実施する「実用英語検定試験」で2級以上の公的資格を取ることができる。

成績評価方法

合格基準に達し、単位認定を希望する学生は、本学が指定する単位認定申込書に必要事項を記入し、合格証あるいは得点票を添えて、担当教員に提出する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (TOEICや実用英語検定試験等の受験に必要な学習内容を以下列挙する) 動詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
2) 前置詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
3) 文法(1)...関係代名詞及び関係副詞を学ぶ。	
4) 文法(2)...英語の時制を学ぶ。	
5) 文法(3)...仮定法を学ぶ。	
6) 文法(4)...分詞構文を学ぶ。	
7) リスニング(1)...写真を見て、正しい説明を聞き取る練習をする。	
8) リスニング(2)...対話を聞き、正しい応答を学ぶ。	
9) リスニング(3)...説明文を聞き、内容を把握する。	
10) 英文読解(1)...ボトムアップ方式で英文を把握する。	
11) 英文読解(2)...速読直解の練習をする。	
12) 英文読解(3)...スキミングの練習をする。	
13) 英文読解(4)...スキミングの練習をする。	
14) TOEICテストの模擬練習をする。	
15) 実用英語検定2級の模擬練習をする。	
授業外学習	
TOEICや実用英語検定試験等を受験する際、問題傾向に十分に慣れておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：本学の図書館にTOEICテストおよび実用英語検定試験受験のための説明書や問題集を多数取り揃えています。活用してください。	エッセンシャルイングリッシュ アドバンスイングリッシュ オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

備考

補習指導を行うので、申し出ること。

科目名	ライセンスイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

TOEIC等の試験の結果により単位を認定する。自学自習を通し、公的資格にチャレンジし、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

B1206

- 1 国際コミュニケーション協会が実施する「TOEIC（公開またはIP）試験」で450点以上のスコアを取ることができる。
- 2 財団法人日本英語検定協会が実施する「実用英語検定試験」で2級以上の公的資格を取ることができる。

成績評価方法

合格基準に達し、単位認定を希望する学生は、本学が指定する単位認定申込書に必要事項を記入し、合格証あるいは得点票を添えて、担当教員に提出する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (TOEICや実用英語検定試験等の受験に必要な学習内容を以下列挙する) 動詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
2) 前置詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
3) 文法(1)...関係代名詞及び関係副詞を学ぶ。	
4) 文法(2)...英語の時制を学ぶ。	
5) 文法(3)...仮定法を学ぶ。	
6) 文法(4)...分詞構文を学ぶ。	
7) リスニング(1)...写真を見て、正しい説明を聞き取る練習をする。	
8) リスニング(2)...対話を聞き、正しい応答を学ぶ。	
9) リスニング(3)...説明文を聞き、内容を把握する。	
10) 英文読解(1)...ボトムアップ方式で英文を把握する。	
11) 英文読解(2)...速読直解の練習をする。	
12) 英文読解(3)...スキミングの練習をする。	
13) 英文読解(4)...スキミングの練習をする。	
14) TOEICテストの模擬練習をする。	
15) 実用英語検定2級の模擬練習をする。	
授業外学習	
TOEICや実用英語検定試験等を受験する際、問題傾向に十分に慣れておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：本学の図書館にTOEICテストおよび実用英語検定試験受験のための説明書や問題集を多数取り揃えています。活用してください。	エッセンシャルイングリッシュ アドバンスイングリッシュ オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

備考

補習指導を行うので、申し出ること。

科目名	海外語学研修			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

海外語学研修に参加することにより単位を認定する。海外での研修や旅行あるいはインターンシップで必要とされるコミュニケーション能力を育成するために、夏季および春季の海外語学研修を実施する。研修先のセンターでは、現地母語者から週8時間以上の語学指導を受け、さらに、現地の文化および社会をよりよく知るために、スポーツへの参加、自然環境の視察およびフィールドトリップを行う。また、以上の内容の研修が円滑に行われるために、海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。

到達目標

- B1207
 1 異文化および自文化を理解することが出来る。
 2 母語以外の言語による実践的コミュニケーション能力を身に付ける。
 3 異文化との共生への関心が高まる。

成績評価方法

事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。事前指導の内容は下記の通りである。</p> <p>1) 日本語と英語の比較</p> <p>2) 日本文化と欧米の比較</p> <p>3) 異文化体験の意義</p> <p>4) 海外から日本にEメールを送る</p> <p>5) 欧米事情</p> <p>6) 環境関連の英語</p> <p>7) 福祉関連の英語</p> <p>8) 9) 日本文化紹介のための英語 （日本人と閉鎖性 / 日本人と国際化 / 日本の特徴 / 日本についての情報の伝え方）</p> <p>10) 11) 12) 13) 海外生活のための英語 （日常会話の慣用表現 / 英会話のスピード / 生活習慣の差異 / 状況別の英語表現 / 英会話の注意点 / 英語のまま理解することについて）</p> <p>14) まとめとディスカッション</p> <p>15) 総括</p> <p>ガイダンスに臨む場合は時間をかけて各自準備をし、ガイダンス後は内容を振り返る時間を取ることに。</p>	グループワーク
授業外学習	
渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>毎回プリント類を配布する</p> <p>参考書：『日本を語る』、日鉄ヒューマンデベロプメント著、1995年、アルク</p>	オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を個別に伝える。

備考

この授業の単位は海外語学研修への参加を要件とする。

科目名	海外語学研修			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

海外語学研修に参加することにより単位を認定する。海外での研修や旅行あるいはインターンシップで必要とされるコミュニケーション能力を育成するために、夏季および春季の海外語学研修を実施する。研修先のセンターでは、現地母語者から週8時間以上の語学指導を受け、さらに、現地の文化および社会をよりよく知るために、スポーツへの参加、自然環境の視察およびフィールドトリップを行う。また、以上の内容の研修が円滑に行われるために、海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。

到達目標

- B1207
 1 異文化および自文化を理解することが出来る。
 2 母語以外の言語による実践的コミュニケーション能力を身に付ける。
 3 異文化との共生への関心が高まる。

成績評価方法

事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。事前指導の内容は下記の通りである。</p> <p>1) 日本語と英語の比較</p> <p>2) 日本文化と欧米の比較</p> <p>3) 異文化体験の意義</p> <p>4) 海外から日本にEメールを送る</p> <p>5) 欧米事情</p> <p>6) 環境関連の英語</p> <p>7) 福祉関連の英語</p> <p>8) 9) 日本文化紹介のための英語 （日本人と閉鎖性 / 日本人と国際化 / 日本の特徴 / 日本についての情報の伝え方）</p> <p>10) 11) 12) 13) 海外生活のための英語 （日常会話の慣用表現 / 英会話のスピード / 生活習慣の差異 / 状況別の英語表現 / 英会話の注意点 / 英語のまま理解することについて）</p> <p>14) まとめとディスカッション</p> <p>15) 総括</p> <p>ガイダンスに臨む場合は時間をかけて各自準備をし、ガイダンス後は内容を振り返る時間を取ること。</p>	グループワーク
授業外学習	
渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>毎回プリント類を配布する</p> <p>参考書：『日本を語る』、日鉄ヒューマンデベロプメント著、1995年、アルク</p>	オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を個別に伝える。

備考

この授業の単位は海外語学研修への参加を要件とする。

科目名	社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	瀬崎 譲廣		関連する資格	

授業概要

「人は一人では生きていけない」 このテーマは、文学作品や音楽などあらゆる表現媒体において古くから扱われてきたが、それは人文科学・社会科学と分類される諸学問の究極のテーマでもある。社会学という学問は、社会的な生物である人間の「社会的な」という部分にフォーカスを合わせ、人間（たち）を観察し、分析し、人間社会における法則性を発見しようという学問と言える。この授業では、社会学という学問が生まれるにいたった背景から話をはじめ、学生皆さんの多くが共通に経験した、またこれから経験するであろう社会について概説する。また、現代社会の問題について、社会学の観点からの指摘を紹介する。これによって、「社会学的なものの方」を理解することを授業の目的としたい。

到達目標

B1210
社会学についての基本的な知識や、考え方の特徴を理解する
社会学の観点から、現代社会が抱える諸課題について理解する

成績評価方法

講義中に課す宿題や小レポート等、および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴	グループワーク
2) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）	
3) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）	
4) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
5) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
6) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
7) 社会学の調査方法 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
8) 社会化の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
9) 学校の社会学 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
10) 産業社会と組織の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
11) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
12) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
13) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	
14) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
15) 授業全体のまとめ	
授業外学習	
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業中に配布する資料を用いて授業を進める。 教科書は指定しない。 参考書は授業中に適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。

備考

授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	ボランティアと社会			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	白石 義孝、伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。

ボランティアの意義と実情について学び、現代社会におけるボランタリーセクターの重要性について理解することを目的とする。
 ボランティアの思想や歴史的経緯、様々な活動の実態など、基礎的な知識について概説するとともに、現代社会の状況について解説し、ボランティア活動への注目の高まり、またその行為に参加しようとするものの存在の背景を考察する。活動の実際を知ってもらうために、実際の活動を行っている方から直接話を聞く機会も設けたい。

到達目標

B1501

- ・ ボランティアについての正確な理解
- ・ ボランタリーセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚
- ・ ボランティア活動への参加

成績評価方法

- 定期試験・小テスト（レポートの場合あり）
- リサーチ課題
- ボランティア活動体験レポート

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤・白石）対面 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
2) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤）対面 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
3) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤）対面 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
4) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤）対面 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
5) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤）対面 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
6) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
7) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
8) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
9) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
10) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
11) パート3（参加編）対面+遠隔 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
12) パート3（参加編）対面+遠隔 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
13) パート3（参加編）対面+遠隔 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
14) パート3（参加編）対面+遠隔 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
15) 総括（伊藤・白石）対面 予習：授業中に紹介した課題について事前調査する（120分） 復習：期末レポート作成（180分）遠隔	個人ワークによる全体の振り返り
授業外学習	
<p>毎回の授業で紹介したキーワードを自筆でノートにまとめておく。</p> <p>ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。（担当者の許可を得るなど）</p> <p>グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること</p> <p>Covid19の感染拡大により、ボランティア実習に参加できなくなった学生には「実習救済レポート」を課す</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト</p> <p>「テキスト市民活動論【第2版】」大阪ボランティア協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアに関する書籍・学術雑誌全般 ・ NPOに関する書籍・学術雑誌全般 <p>その他、特に推奨する参考文献については講義中で適宜紹介する。</p>	<p>教職に関する科目、社会学に関する科目</p>

課題に対するフィードバック

実習先での活動内容やレポート作成に関する指導を全体に対して行うとともに、個別の質問については、授業後またはメールにて対応する。

備考

各回の授業の構成は、基本講義と実習指導、および課題レポート作成の3つのパートからなる

- ・ 毎回パート1とパート2の基本講義を60分程度（伊藤が担当）
- ・ 引き続きパート2とパート3の実習指導と課題レポート作成について30分程度（白石が担当）

科目名	憲法・人権論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）および統治機構（国会、内閣、裁判所）を理解する。

到達目標

B1103y

- 立憲主義の意義を理解する。
- 主要な人権の内容を理解する。
- 統治機構の概要を理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							65
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 憲法と国家<国家の三要素> 【予習】国家の3要素とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 立憲主義の意義 <憲法とは何か> 【予習】憲法という語を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 立憲主義の意義 <人権の種類と内容> 【予習】人権の種類とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 法の下の平等 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 法の下の平等 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
8) 精神的自由権 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
9) 精神的自由権 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 経済的自由と社会権 【予習】テキストTheme10および11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 裁判制度 【予習】テキストTheme19を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 裁判制度 【予習】テキストTheme19（裁判員裁判）を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
14) 参政権と国会・内閣 【予習】テキストTheme16，17および18を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
15) 憲法保障<違憲審査制> 【予習】テキストTheme20を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用します。また、事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門[第6版]』（有斐閣、2020年）。その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。	法学

課題に対するフィードバック

小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。

備考

科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二		関連する資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などについての基礎知識を修得する。
 また、法の全体像を認識するために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）の実例から、法の基本的な原理・原則および構造を理解するとともに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を身につける。

到達目標

B1104
 法の主要な領域の基礎知識を理解し、説明することができる。
 法の基本的な原理・原則および構造ならびに法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を理解し、説明することができる。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							67
小テスト、授業内レポート							28
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 法とは何か、社会と法、六法の使い方・読み方。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に試してみる。
2) 契約の成立、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3) 契約の有効要件、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4) 契約の取消し・無効、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5) 契約の主体（自然人と法人） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6) 契約の主体（代理） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7) 契約の効力発生時期、期間の計算 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8) 時効と除斥期間 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9) 損害賠償 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10) 犯罪の成立 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11) 犯罪者の処遇（刑罰制度） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12) 刑事裁判（裁判員裁判） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13) 憲法と人権 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14) 制定法の種類と効力 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15) 制定法の解釈方法 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『ポケット六法令和6年版』（有斐閣、2023年）。 テキストは用いないが、六法は学習に必要。受講にあたっては、『ポケット六法令和6年版』（有斐閣、2023年）を持参すること。第1回目の授業から使用します。	憲法・人権論

課題に対するフィードバック

小テストについて実施当日または次回の授業で解説する。

備考

科目名	地域文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	内田 鉄平	関連する資格		

授業概要

総論では「文化とは何か」について述べた上で、比較文化論的な視点から日本文化の大づかみな特徴を述べる。各論では、山口県及び宇部市の文化をはじめとする日本の文化のさまざまな側面をとりあげて、文化との関連で日本社会の構造的な特性を理解してもらうようにする。

到達目標

B1502
日本独自の文化について理解する。山口県及び宇部市の地域文化について理解する。

成績評価方法

期末試験と講義の参加意欲で評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 香川昌子と女子教育 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
2) 食文化 和食の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
3) 出帆文化の隆盛 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
4) 道具と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
5) 居住空間-竪穴住居から文化住宅まで 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
6) 文化を伝える-山口県の方言 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
7) 祭礼と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
8) 北浦の捕鯨と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
9) 芸能文化と山口県 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
10) 山口・宇部の食文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
11) 宇部市の発展と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
12) 彫刻のまち宇部の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
13) 宇部市の文化財 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
14) 宇部村から宇部市へ-石炭産業と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
15) 総論（講義全体を通して学生の理解度を考慮して適宜に補足説明を行う）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	講義全体の総括として質問を受ける。
授業外学習	
講義で適宜に参考文献を紹介しますので、余暇の時間に余裕があれば読んでもらう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリントを配布します。	

課題に対するフィードバック

希望者がいれば、期末試験の成績を開示します。

備考

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	山本 芳実	関連する資格		

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになってきている。本講義では、一般教養レベルの生物学の基礎的理解のために、生体の持つ機能や遺伝の仕組み、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について習得する。

到達目標

B1211

- 1、生物学における基礎的な知識を列挙できる。
- 2、様々な生命科学に関係する事象を生物学の視点から考える事ができる。

成績評価方法

期末定期試験を行う。授業への意欲・態度も考慮する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 細胞 「予習」細胞に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください。小レポート作成（60分）	授業内レポート課題
2) 代謝とエネルギー代謝 「予習」代謝とエネルギー代謝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
3) 細胞分裂と多細胞生物 「予習」細胞分裂と多細胞生物に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
4) 減数分裂と遺伝 「予習」減数分裂と遺伝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習し、てください（60分）	
5) 遺伝と遺伝子 「予習」遺伝と遺伝子に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	グループワーク
6) 染色体と二重らせん 「予習」染色体と二重らせんに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
7) タンパク質と遺伝 「予習」タンパク質と遺伝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
8) 遺伝子のはたらき 「予習」遺伝子のはたらきに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習し、てください（60分）	
9) 組換えDNA技術とバイオテクノロジー 「予習」組換えDNA技術とバイオテクノロジーに関して予習する（30分） 「復習」小レポート作成（60分）	授業外レポート課題
10) ゲノム科学とゲノムプロジェクト 「予習」ゲノム科学とゲノムプロジェクトに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
11) 受精と発生 「予習」受精と発生に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
12) 発生のしくみ 「予習」発生のしくみに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
13) 系統分類学 「予習」系統分類学に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
14) 進化生物学 「予習」進化生物学に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習し、てください（60分）	
15) ヒトの進化 「予習」ヒトの進化に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
授業外学習	
授業前に、講義ファイルのコピーを渡しますので、参考書等を参照にしながら復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しません。参考書「生物学」系統看護学講座、基礎分野、高畑、増田、北田共著、医学書院等。高校時代の生物学の教科書も参考書として使用して下さい。	

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週にコメントします。

備考

科目名	化学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	山城 安啓	関連する資格		

授業概要

生化学を学ぶ上での基礎となる有機化学、無機化学について学びを深めるとともに、さらにその知識を基盤とし未来の医療・福祉を担う人間として自然科学の立場から自ら考える力をつけさせる。

到達目標

B1212
 化学の基礎的知識を説明できる
 無機化合物の特性を説明できる
 有機化合物の特性を説明できる
 ヒトの構成成分と反応系、疾病状態を化学的に理解し、臨床に応用する能力を身につける

成績評価方法

十分な出席回数を基に、期末試験並びに講義各回における口頭試問で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 化学の単位と元素の周期表（量と単位、元素の周期表） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
2) 物質の三態（物質の三態、状態の変化、分子間力と融点・沸点、圧力と大気圧、状態図） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
3) 気体の性質（気体の状態方程式、混合気体と分圧の法則、気体の液体への溶解、実在気体の状態方程式） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
4) 液体・溶液の性質（溶液の濃度、溶液の性質、表面張力と界面活性剤、コロイド） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
5) 化学反応（化学反応の基本法則と種類、熱化学反応、光化学反応、酸化還元反応） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
6) 反応速度（反応速度のあらわし方、反応次数、活性化エネルギーと触媒、反応機構） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
7) 化学平衡（化学平衡と平衡定数、酸と塩基、中和反応と塩の生成、電離平衡と電離定数、塩の水への溶解、中和滴定と滴定曲線、難溶性塩の溶解平衡） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
8) 原子の構造と化学結合（原子の構造、化学結合、原子・分子の結合と分子の形、吸収スペクトル） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
9) 無機化学（無機物質、非金属元素、典型金属元素、遷移元素、放射性元素） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
10) 有機化学（有機化合物の原理、脂肪族炭化水素） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
11) 有機化学（芳香族炭化水素、官能基と有機化合物） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
12) 高分子化学（糖質） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
13) 高分子化学（脂質） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
14) 高分子化学（タンパク質、核酸） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
15) まとめ。演習。（疑問点がないか事前に考える。復習は1時間以上）	授業内課題 ゼミナール問題
授業外学習	
授業計画に沿って、講義を進めていきます。毎回、講義の前に前回講義分の小テストを行います。配布する資料の他に指定した教科書や高校の教科書等を利用し、予習（30分程度）と復習（30分程度）をして下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 基礎分野 化学 医学書院 (2022年度版 あるいは最新版)	栄養学（生化学を含む）、生理学、薬理学、薬剤学など

課題に対するフィードバック

小テストは講義内容を理解するために行いますので成績には関係しません。試験終了後に解説を行いますので、分からない場合は積極的に質問してください。また、本試験はこの小テストの中から出題しますので、理解して解ける様にしておいてください。

備考

インターネットで、NHK高校講座の「化学基礎」を視聴できます。解説動画等ありますので、高校の復習に利用してはいかがでしょうか？

科目名	物理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。
この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。

物理学ではオートクレーブのメカニズム、点滴・輸血時の液体の比重など看護の現場で必要となる様々な事例を取り上げて物理学の理解を深め、科学的なものの考え方を身につける。

また、看護師の国家試験に出題されている物理系の問題について紹介。授業では、「物体の運動」、「運動量と仕事」、「熱と気体の運動」など物理学の基本を復習しながら「患者の移動」、「比熱の計算」、「血圧」などについて学ぶ。グループ討議を設定している。自分の意見を主張して積極的に参加する。

到達目標

B1213

看護の現場で物理的なメカニズムを的確につかんで行動する。看護師国家試験の物理系の問題を解く。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○				10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 物理学の概要 予習；物理学資料の全般を概観する（30分）。復習；今後受講する内容の確認をする（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 2011.3.11福島原発事故特別バージョン・放射線 予習；放射線について基本的な事項を調べておく（30分）。復習；福島事故の要点を整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 物体の運動、患者の移動、トルク、作用反作用・摩擦・運動量・仕事・衝撃力・骨折・牽引 予習；トルクのことについて事前に調べておく（30分）。復習；運動の三法則について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議の結果、生じた疑問点の解決に使ってください（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 熱と気体の運動、比熱計算、氷枕、熱移動 予習；熱の移動について事前に学習しておいてください（30分）。復習；熱量の計算式を理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 圧力、表面張力、密度、比重 予習；圧力の全般を学習しておくこと（30分）。復習；様々な圧力の問題について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 血圧、吸引装置、酸素ポンプ、連結ピン 予習；血圧と酸素ポンプについて事前に学習しておくこと（30分）。復習；酸素ポンプに関する計算を理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 要点整理（グループ討議とレポート1提出準備） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決とレポート作成に使ってください。（1時間）	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 比重計、オートクレーブ、水銀体温計、濃度の表し方と物質の溶け方 予習；濃度計算について事前学習しておくこと（30分）。復習；オートクレーブの役割と濃度計算をマスターしておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 熱力学、音波、浸透圧、人工透析、心拍数、サイレン 予習；救急車のサイレンと位置関係を事前に調べておくこと（30分）。復習；浸透圧について理解を深めること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) ファイバースコープ、サーモグラフィ、電気 予習；ファイバースコープについて事前に調べておくこと（30分）。復習；電気メスのメカニズムについて理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決のために有効に使う（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 看護師国家試験の物理系問題の出題例 予習；過去の国家試験の問題を概観しておくこと（30分）。復習；計算問題のパターンをつかむこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決に有効に使う（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してきてください。 講義資料を復習して下さい。看護実習の時に、物理学で学んだことを活かしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	物理学の基礎

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	地球の環境			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。
この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

到達目標

B1214
自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消失と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	データの科学的な見方			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料をダウンロードしたりClassroomを使って資料の配布を行います。この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「看護師・保健師としての基礎的思考方法」を学ぶ。

受講者はまず最近、重要度が増している「統計学とAI」「統計学と生成AI」の関係について学ぶ。次に統計学の歴史について深く学ぶ。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。

統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに役立たせる。

看護研究や保健研究では、データ処理に統計の知識が必要。導き出した統計値の科学的な意味を理解する。そのために、まず基本的な統計値の意味をしっかりと理解し、統計図、統計表の見方を学習。次いで区間推定や検定を通じてデータの科学的な見方を身につけていく。

到達目標

B2202

統計学の基本的な言葉の意味、統計値の科学的意味を的確につかむ。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 統計学とAI、統計学と生成AI 予習；統計学とAIの関係について概観する（30分）。復習；統計学とAIの部分についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 人工知能とは 予習；人工知能の部分について深く思考する（30分）。復習；人工知能の部分を整頓しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 統計学の歴史 予習；統計学の歴史について概観する（30分）。復習；統計学の歴史について再確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 統計学の考え方 予習；統計学の考え方、データの科学的見方の部分について概観する（30分）。復習；統計学の考え方、データの科学的見方のチェックをしておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 把握・予測・洞察の統計学 予習；予測・洞察の統計学を概観する（30分）。復習；予測・洞察の統計学について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) ジョン・スノウと疫学 予習；疫学の歴史について概観する（30分）。復習；疫学の歴史について確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) データの科学的な見方 予習；データの科学的な見方について調べておく（30分）。復習；データの科学的な見方を確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 具体例で統計学を学ぶ「度数分布・分割・図」 予習；度数分布・分割・図の部分について概観する（30分）。復習；度数分布・分割・図の部分を確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 具体例で統計学を学ぶ「平均値・標準偏差・偏差値」 予習；平均値・標準偏差・偏差値について概観する（30分）。復習；平均値・標準偏差・偏差値について再度、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 具体例で統計学を学ぶ「範囲・その他の数値」 予習；範囲・その他の数値について概観する（30分）。復習；範囲・その他の数値について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 正規分布 予習；正規分布について概観する（30分）。復習；正規分布について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 推定と検定 予習；推定と検定について概観する（30分）。復習；推定と検定について、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 詳しい検定 予習；詳しい検定について調べておく（30分）。復習；詳しい検定について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 分散分析・多変量解析 予習；分散分析・多変量解析について概観する（30分）。復習；分散分析・多変量解析についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読する。 講義資料を復習。保健師国家試験の過去問のうち、統計学の基礎問題が確実に解けるように自宅でも計算問題、基礎的な言葉の意味を再確認する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使わない。資料は私のホームページ上にアップする。 Classroom上にアップする。</p>	<p>数学の基礎 保健統計学</p>

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信	関連する資格		

授業概要

(本授業は対面実施する。)

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下の二点を支軸にして講義を展開する。

- (1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。
- (2) ものごとを広く(多面的に)深く(根源的に)考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

B1215

- (1) 哲学の根本問題について考えてみる。
- (2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト（pp. 16-21）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
2) 序論(1)： 哲学とは何か 【予習】テキスト（pp. 22-26）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
3) 序論(2)： 哲学と哲学史 【予習】テキスト（pp. 26-32）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
4) 神話と論理(1)： 始原への問い 【予習】テキスト（pp. 32-36）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
5) 神話と論理(2)： 全体への問い 【予習】テキスト（pp. 36-40）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
6) 知識と知恵(1)： 無知の知 【予習】テキスト（pp. 40-45）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
7) 知識と知恵(2)： 真の知 【予習】テキスト（pp. 45-52）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
8) 科学と哲学(1)： 知の構造とその諸相(1) 【予習】テキスト（pp. 52-58）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
9) 科学と哲学(2)： 知の構造とその諸相(2) 【予習】テキスト（pp. 58-67）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
10) 自然と人間(1)： 自然概念の変遷 【予習】テキスト（pp. 67-70）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
11) 自然と人間(2)： 生命と非生命 【予習】テキスト（pp. 71-76）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
12) 存在と意識(1)： 存在論と認識論 【予習】テキスト（pp. 77-82）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
13) 存在と意識(2)： 言語・思考・世界 【予習】テキスト（pp. 83-86）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
14) 超越と構想(1)： 超越と内在 【予習】テキスト（pp. 87-97）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
15) 超越と構想(2)： 問いの可能性 / 講義全体のまとめ 【予習】テキスト（pp. 97-106）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
授業外学習	
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読（予習）・再読（復習）する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： プラトン『ソクラテスの弁明』（光文社古典新訳文庫）、光文社、2012年	人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック

テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。

備考

期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	日本語の実践			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面で実施する。

本授業は、社会で通用する日本語コミュニケーション能力をはじめ、文章作成能力を育成することを目的とする。敬語や俗語、文のねじれなどの表現の技術に加えて、手紙や報告書、ビジネス文書、論文といったさまざまな文体を実践的に習得する。授業では、悪文の例や敬語の添削問題など、表現に関する練習問題も数多く取り入れ、同時に論理的な文章の書き方も繰り返し訓練する。

到達目標

B1208

1. 句読点などの、基本的な表記法を習得する。
2. 慣用表現など、基本的な定型表現を習得する。
3. 待遇表現（敬語）など、文体に関わる表現法を習得する。
4. 様々な現代日本語表現における、文章の書き方の基本を習得する。

成績評価方法

授業態度・参加度の評価、授業時間内・外の小レポートの成績の総和による。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入：シラバス，日本語表現法とは？ 【復習】日本語表現法について確認する（30分）	
2) 知識(1)：表記，語 【予習】表記や語の種類について考えておく（30分） 【復習】豊潤な表記法などを振り返る（60分）	
3) 知識(2)：文，定型表現 【予習】慣用表現などについて考えておく（30分） 【復習】文の構造などを振り返る（60分）	
4) 知識(3)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（30分） 【復習】文章・文体について振り返る（60分）	
5) 知識(4)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（30分） 【復習】文章・文体について振り返る（60分）	
6) 演習(1)：要約，メモ 【予習】要約について見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
7) 演習(2)：メール，手紙 【予習】自分のメールを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
8) 演習(3)：広告（ポスター） 【予習】ポスターを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
9) 演習(4)：メニュー 【予習】メニューを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
10) 演習(5)：マニュアル 【予習】マニュアルを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
11) 演習(6)：“やさしい日本語” 【予習】“やさしい日本語”について見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
12) 演習(7)：自己紹介・アピール 【予習】自己紹介について考えておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
13) 演習(8)：アンケート 【予習】アンケートについて確認しておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
14) 演習(9)：レポート・論文 【予習】レポートや論文について考えておく（30分） 【復習】レポート・論文の書き方について振り返る（60分）	
15) 演習(10)：レポート・論文 / 総括 【予習】レポートや論文について考えておく（30分） 【復習】レポート・論文の書き方について振り返る（60分）	リフレクションシート
授業外学習	
授業時に提示した課題に対し，小レポートを作成する。小レポートは，基本的に次の授業の開始時に提出する。詳細は授業の際に説明する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：なし。代わりに，プリントを配付する。 参考書等：授業の際に適宜挙げる。	

課題に対するフィードバック

小レポートは、チェック及び評価をし、次回の授業時に返却する。誤り等の指摘がある場合には、修正をしてほしい。

備考

科目名	文学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藤原 まみ	関連する資格		

授業概要

日本近代文学の中からいくつか作品を取り上げ、その魅力を味わうとともに、文学作品としての価値について考える。また、文学作品を通じて、人の人生や生き方、考え方などを学び、豊かな感性を磨く。

到達目標

B1216

1. 「文学作品を読む」ということを理解する。
2. 課題作品について、自身の意見を持ち、それを表現することができる。
3. 他者の意見に耳を傾けることができる。
4. 他者の意見を盗用しない。
5. 世界の多様性について関心を持つ。
6. 授業の前に、必ず、課題作品を読む。
7. 他国の文学に関心を持つことによって、日本語文学への理解を深めることができる。

成績評価方法

- 最終課題論文 (40%)
- 課題提出 (30%)
- 授業における発言 (30%)

指定された期限までに提出しなかった課題は評価の対象外。
指定された課題図書を必ず読んで出席すること。
読んでいない場合は欠席相当と判断する。
指名された者は、先に他者が言ったことを繰り返さず、自身の言葉で自身の意見を述べること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 必ず、教科書を持参して、出席してください。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	
2) レポート作成について。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
3) 文学作品を読むことについて（スターン）。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
4) 「細君」坪内逍遙。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
5) 「くされたまご」嵯峨の屋おむろ。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
6) 「この子」山田美妙。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
7) 「舞姫」森?外。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
8) 「拈華微笑」尾崎紅葉。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
9) 「対髑髏」幸田露伴。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
10) 「こわれ指輪」清水紫琴。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
11) 「かくれんぼ」斎藤緑雨。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
12) 「わかれ道」樋口一葉。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
13) 「龍潭譚」泉鏡花。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
14) 「武蔵野」国木田独歩。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
15) 「雨」広津柳浪。	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業の前に、必ず、次回の課題図書を読んでおいてください。授業では、まず、10分程度で250字程度にまとめた自分の意見を提出してもらい、それを元にグループディスカッションをおこないます。意見をまとめられない場合、授業に積極的に参加することができないので、忘れずに課題図書を読んで準備してください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『日本近代短篇小説選 明治篇1』 紅野 敏郎 / 編, (ISBN 4003119118)	

課題に対するフィードバック

適宜、学生の求めに応じることとする。

備考

科目名	心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	木元 卓也		関連する資格	

授業概要

看護・保健領域の専門職として働くにあたり、臨床現場で役立つであろう知識とエッセンスを中心に、心理学の基礎的知識について学ぶ。

到達目標

B1105

- 看護・保健領域で、心理学の知見を活かし、専門的関わりの質を高める工夫をすることができる。
- 心理学的知見を活かした援助を行う方法を理解できる。

成績評価方法

小レポート、受講態度で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート		○		○			30
授業態度・授業参加度			○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学とは何か？～こころの仕組みを知ろう～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
2) 子ども虐待を通して考えるこころの発達 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
3) 学校と集団心理 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
4) 恋愛と結婚～人はパートナーに何を求める？～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
5) デートDVとドメスティックバイオレンス 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
6) 家族の心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
7) メンタルヘルスとリーダーシップ～働く人のこころの健康～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
8) 人はなぜ不安やパニックになるのか？～こころの疾患と精神障がい～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
9) 孤独と文化 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
10) 多様性と性についての心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
11) なぜ人間には感情があるのか？ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
12) 同調圧力と自己判断 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
13) あおり運転から考える交通心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
14) 犯罪加害者への支援と心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
15) まとめ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	小レポート
授業外学習	
毎回、配布する資料を読み返し復習すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。	コミュニケーション論、生涯発達心理学

課題に対するフィードバック

質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

科目名	健康と音楽			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	村上 玲子	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。人間は、声を出して歌う、リズムカルに動く、身体の様々な部所を使って音を出すことや表現することが可能で、非常に音楽的な存在である。音楽は人の心や身体と密接に結びつき、特に音楽を聴く、演奏する、楽しむ活動では、病める心を癒し、身体や精神機能の健康を維持・回復するといった力がある。人がなぜ歌ったり奏でたりするのか、音や音楽が人間にもたらす影響について理解する。また、日常生活の中で音楽を上手く使うことによって、健康を取り戻したり、維持する方法を実際に音楽活動を実践しながら修得する。

到達目標

B1218

人間と音楽のかかわりについて説明できる。
音や音楽の特性や役割について列挙することができる。
生活の中で健康増進や維持を目的とした音楽の活用法を工夫し実践できる。

成績評価方法

授業時の小レポートと課題レポート
授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート			○				20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 人間の健康と音楽の関わり 【予習】生活の中で、音楽とどのように関わっているかについて調べておく（30分） 【復習】人間の生活に音楽が深くかかわっている事例をまとめる（20分）	授業内レポート
2) 心の健康と音楽の役割及び特性、音楽がもたらす不思議な効果とは、音楽が心身を癒すメカニズム 【予習】身の回りで使われている音楽の事例を調べておく（30分） 【復習】音楽の特性をまとめておく（20分）	授業内レポート
3) ストレスと音楽 クラシック音楽とヒーリングミュージック 【予習】ストレスについて調べる（30分） 【復習】音楽を使ったストレス解消法の事例をまとめておく（20分）	授業内レポート
4) 音楽療法とは 音楽療法の歴史・目的・適応範囲・実践 【予習】音楽療法について調べる（30分） 【復習】配布プリントを復習する（20分）	授業内レポート
5) 宮沢賢治作「セロ弾きのゴーシュ」と音楽療法 音楽療法の視点から作品分析 【予習】音楽療法について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
6) 音楽療法とオーラルフレイル（口腔機能の低下）について 【予習】オーラルフレイルについて調べる（30分） 【復習】例曲を使って歌唱活動を実践してみる（30分）	授業内レポート
7) ジブリがいっぱい 宮崎アニメと共に歩んだ久石譲の音楽の世界 【予習】宮崎駿、久石譲について調べる（30分） 【復習】鑑賞曲の感想レポート作成（20分）	授業内レポート
8) クラシック音楽がつくる快適な人生 生活に密着した音楽、動物たちが奏でるクラシック音楽 【予習】スーラシアン音楽について調べる（30分） 【復習】鑑賞曲の感想レポート作成（20分）	授業内レポート
9) 世界を魅了する魂のピアニスト フジコ・ヘミングの時間 【予習】ピアニスト「フジコ・ヘミング」について調べる（30分） 【復習】感想レポート作成（60分）	授業外レポート
10) ミュージカル鑑賞 ミュージカル鑑賞から音楽の効力を探る 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】感想レポートの作成（20分）	授業内レポート
11) ミュージカル鑑賞 ミュージカル鑑賞から音楽の効力を探る 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
12) 音楽と人間の生活 クリスマスと音楽「クリスマス音楽に触れて」 【予習】人間の生活と音楽の関わりについて配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート（20分）	授業内レポート
13) 盲目のピアニスト辻井伸行と音楽 辻井伸行の世界と音楽表現 【予習】ピアニスト辻井伸行について調べる（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
14) オペラ鑑賞 人間の表現と音楽 音楽の力について 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】感想レポート作成（20分）	授業内レポート
15) オペラ鑑賞 人間の表現と音楽 音楽の力について 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは利用しない。講義資料を配布する。</p> <p>参考書＊渡辺 茂夫著、音楽健康法、1995年、誠文堂新光社＊ 芋坂良二編著、新訂環境音楽、1992年、大日本図書＊村井靖児著、 こころに効く音楽、1997年、保健同人社＊谷口高士著、音は心の中で音楽になる、2000年、北大路書房</p>	

課題に対するフィードバック

授業内及び授業外で出した小レポート課題については、翌週にコメントを付けて返却する。

備考

科目名	健康スポーツ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実技	選択	2	1年	後期
担当者名	角田 憲治	関連する資格	養護教諭	

授業概要

運動遊びやゲーム、スポーツ等の実践を通して、その楽しみ方やルール・マナーを身につける。グループでの関係性を深め、社会生活の様々な場面で適用できる心身の健康づくりの運動方法や知識・技能を養う。

到達目標

B1219y

到達目標

生活習慣病予防、介護予防、メンタルヘルスにおける運動の重要性について理解している。運動に対し自立し、自ら進んで取り組むことができる。

成績評価方法

期末試験、授業態度、グループワークにより総合的に評価する。

成績評価方法

定期試験 知識・理解 (50)
 授業態度・授業参加度 関心・意欲 (20) 技能・表現 (10) 態度 (10)
 グループワーク 関心・意欲 (5) 態度 (5)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義 オリエンテーション、肥満と運動 肥満・減量に対する運動・スポーツの効果について解説する。	エネルギー消費量の計算を通して、運動と食事のバランスを考える。
2) 実技 アルティメット フリスビーを用いたアメリカンフットボールの会場設営・実施の方法を学ぶ。	アルティメットを通して、スポーツが心身へ与える効果を体感する。
3) 講義 生活習慣病と運動 運動が生活習慣病の予防に果たす役割を学ぶ。	自身の身体活動量の把握と、基準値との比較を行う。
4) 実技 ミニサッカー 簡易ゴール、ミニコートを用いたサッカーの会場設営・実施の方法を学ぶ。	ミニサッカーを通して、スポーツの効果を体感する。
5) 講義 加齢と運動 加齢に伴う身体・認知機能の低下について学ぶ。運動が身体・認知機能に与える効果についても学ぶ。	簡易認知機能テストの体験を行う。
6) 実技 ミニサッカー ゲームを行う中で、ルール、チームプレイを学ぶ。	ミニサッカーを通して、スポーツが心身へ与える効果を体感する。
7) 講義 こころの健康と運動 脳の働きと気分や精神疾患に及ぼす運動の効果について学ぶ。	自身のストレス度の把握と、基準値との比較を行う。
8) 実技 ミニサッカー ゲームを中心に行う。パスワークに気を配った作戦をチームで立てられるようになる。	ミニサッカーを通して、スポーツの効果を体感する。
9) 講義 睡眠と運動 健康のための睡眠の役割や睡眠に及ぼす運動の効果について学ぶ。	自身の不眠度の把握と、基準値との比較を行う。
10) 実技 ドッジビー 柔らかいフリスビーを使ったドッジボールを体験する。	ドッジビーを通して、スポーツの効果を体感する。
11) 講義 障害者と運動 障害者スポーツの歴史的変遷、心身への効果、現在の課題について学習する。	障害者スポーツの普及方法を考える。
12) 実技 ドッジビー ゲームを行う中で、ルール、チームプレイを学ぶ。	ドッジビーを通して、スポーツの効果を体感する。
13) 講義 社会的格差と健康格差 教育格差や経済格差がヒトの健康や寿命に与える影響について学ぶ。	健康格差の縮小について考える。
14) 実技 ドッジビー ゲームを中心に行う。パスワークに気を配った作戦をチームで立てられるようになる。	ドッジビーを通して、スポーツの効果を体感する。
15) 講義 まとめ 授業の振り返りと総括を行う。	自身および社会が取るべき健康に対する行動のありようについて考察する。
授業外学習	
健康に関する記事、ニュースを注視する。 授業内容を踏まえ、意識的に健康的な行動を取る。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
講義・実技ともにプリント資料の配布ならびにビデオ教材の視聴を用いて実施する。	

課題に対するフィードバック

各種健康度指標への回答と、基準値との比較を通して、自己の健康行動の振り返りを行う。

備考

講義・実技の日程は、天候上の理由で変更する場合がある。
実施場所変更の場合は、掲示板にて通知する。

科目名	倫理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	田中 智輝	関連する資格		

授業概要

倫理学は、道徳的行為や性格の「正しさ」や「善さ」の根拠を、できるだけ合理的かつ哲学的に問う学問である。本授業では著名な哲学者・宗教家の思想を取り上げ、倫理学の基本的な考え方を紹介すると同時に、現代の応用倫理学も考察する。

到達目標

B1105

1. 倫理学理論を用いて推論することが可能になる
2. 現代的な課題に興味関心を示すことが可能になる
3. 倫理的な方法論を用いて課題を分析することが可能になる

成績評価方法

- ・ 知識：80%
- ・ 態度：10%
- ・ 技能：10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							80
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 本講義の概要：倫理とはなにか？ 【予習】倫理とは何かについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
2) 倫理学とはどのような学問か？ 【予習】倫理学の概要について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
3) 義務論と功利主義 【予習】義務論と功利主義について疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
4) 義務論の考え方を学習する。 【予習】義務論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
5) 功利主義の考え方を学習する。 【予習】功利主義について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
6) 義務論と功利主義の考え方を事例を通じて検討する。 【予習】事前に配布する資料をもとに、論点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
7) 正義論の考え方を学習する 【予習】正義論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
8) ケアの倫理学の考え方を学習する 【予習】ケアの倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
9) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
10) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
11) 現代社会における倫理的課題：死をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
12) 現代社会における倫理的課題：科学技術による生への介入 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
13) 現代社会における倫理的課題：未来倫理学 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
14) 現代社会における倫理的課題：AI技術と倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
15) 総括：本講義のまとめ 【予習】倫理学を学ぶことの今日的意義について考え、要点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
授業外学習	
講義内で示した課題について事前に準備する。講義の内容を踏まえたレポート等の作成を行なう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
講義内で適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

課題、レポートについてのフィードバックは基本的に講義内で行う。

備考

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ヒトの心・サル的心 文化人類学と自然人類学 予習「ヒトと他の生物の違いは何でしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
2) フィールドワークの泣き笑い 文化人類学の方法 予習「身に覚えのないことで地元の人に非難されたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
3) 調査されるという迷惑 宮本常一先生と調査地被害 予習「周防大島出身の宮本常一先生を知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
4) すべてのものにカミが宿っている アニミズムの世界 予習「人間以外の生き物に声をかけることがありますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
5) 日本が単一民族国家ではない証拠 アイヌ民族との出会い 予習「1990年の北海道庁のアンケートの結果アイヌ民族は何人？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
6) 「自分と違う人たちは苦手？ DNAの旅とフリーハグ 予習「人間とチンパンジーのDNAは何パーセントくらい共通？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
7) はじめての海外旅行 コンゴ民主共和国の森の村で 予習「アフリカで村長から『養子になれ』と言われたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
8) 生物の多様性と文化の多様性を生かす コンゴの民衆の智恵 予習「塩と砂糖だけを買う森の村で作れる料理の数は何種類？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
9) お金が通用しない暮らし 贈り物・物々交換・地域通貨・仮想通貨 予習「突然お札が通用しなくなったら暮らしはどうなる？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
10) 女性として生きるのがつらい国 コンゴ民主での性暴力など 予習「スマホに不可欠のタンタル鉱石とコンゴ内戦のつながりは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
11) 今を生きる指針としての神話 コンゴの森の人びとの語りから 予習「子どものころから聞いた神話の中で印象に残るものは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
12) 民衆の記憶力 昔むかしの漂流民の伝承を与那国島で聞く 予習「言い伝えは、何年前くらいまでさかのぼれるものでしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
13) 生ハムとワインの国 おいしい食べ物が異文化攻撃の武器にもなる 予習「サビエルと山口とのかかわりを知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
14) 武器をもって闘ったお坊さんたち 幕末長州の真宗僧の活躍 予習「幕府軍が長州を包囲した四境戦争はいつ起こったか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
15) みんなちがってみんな「？」 たくさんの思いこみからの解放 予習「あなたなら上記の『？』にどんな言葉をいれますか？」 復習「最終レポートのテーマを考えよう」	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。

授業外学習

復習は、課題2問程度に回答することです（60分）。予習は、次回講義の用語をgooglescholarなどで検索し、関連のある文章に目を通してみましょう（30分）。最終回の予習は、「最終レポートのテーマを考えよう」です。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト、宮本常一・安溪遊地、2024『調査されるという迷惑 フィールドに出る前に読んでおく本（改訂増補版）』（みずのわ出版） 担当教員のブログ https://ankei.jp	

課題に対するフィードバック

毎回の質問には、次の回までにできるだけ答えるようにしていきます。また、すぐれた意見については、ご本人の同意の上でクラス全体でシェアします。

備考

科目名	人体の構造と機能			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

この授業では、正常な人体の構造と機能に関する基本的知識を学ぶ。私たちの身体の中にはさまざまな臓器があり、生命を維持するためのそれぞれ大切な機能を果たしている。それらの機能は、全体として体内の恒常性（ホメオスタシス）を保つためにお互いに協力し合って機能している。その調節が破綻し、恒常性が失われた状態が病気である。患者の病態をアセスメントし、適切な看護を実践するためには、正常な人体の構造と機能に関する知識が不可欠である。前期は、細胞、組織、消化器、呼吸器、血液、循環器、泌尿器、内分泌、骨、筋について学ぶ。医師としての実務経験をもとに、人体の構造と機能について授業を行う。授業は対面で実施する。

到達目標

B1226y

1. 細胞の構造と機能を説明できる。
2. 組織の構造と機能を説明できる。
3. 主要な臓器の構造と機能を説明できる。

成績評価方法

2時限続きの授業を1回とし、前期は15回の授業を行う。
15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ小テスト・期末試験の得点に関わらず不合格とする。
毎回の授業で小テストを実施する。
期末テストは対面で実施する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 細胞 細胞小器官、核、細胞膜 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 2. 組織 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 3. 消化器（1）口腔、咽頭、食道、胃 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 4. 消化器（2）小腸、大腸、腹膜、腸間膜、膵臓 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 5. 消化器（3）肝臓・胆嚢 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 6. 呼吸器 構造、呼吸運動、ガス交換 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 7. 血液 赤血球、白血球、血小板、血漿 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 8. 循環器（1）心臓の構造、心臓の拍出機能 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 9. 循環器（2）血管、微小循環、リンパ、血圧 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 10. 泌尿器（1）腎臓、尿管、膀胱 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 11. 泌尿器（2）水・電解質の調節、酸塩基平衡の調節 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 12. 内分泌（1）視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 13. 内分泌（2）副腎、性腺、膵臓、消化管ホルモン 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 14. 骨と筋（1）骨と筋の構造 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 15. 骨と筋（1）関節、主な骨格と筋 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
16)	
17)	
18)	
19)	
20)	

21)	
22)	
23)	
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと
復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること

テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は、系統看護学講座「人体の構造と機能(1)解剖生理学」(医学書院)を指定する。 参考資料として、授業ノート、小テストの問題と解答、看護国家試験過去問をGoogle Classroomから配信する。クラスコード「6aki6hz」	微生物・免疫学、病理学、生化学・栄養学、疾病論

課題に対するフィードバック

小テストについて、次回の授業で正解と解答のポイントを解説する。

備考

--

科目名	人体の構造と機能			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	1年	後期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

この授業では、正常な人体の構造と機能に関する基本的知識を学ぶ。私たちの身体の中にはさまざまな臓器があり、生命を維持するためのそれぞれ大切な機能を果たしている。それらの機能は、全体として体内の恒常性（ホメオスタシス）を保つためにお互いに協力し合って機能している。その調節が破綻し、恒常性が失われた状態が病気である。患者の病態をアセスメントし、適切な看護を実践するためには、正常な人体の構造と機能に関する知識が不可欠である。

後期は、神経系、感覚器、皮膚、生体防御機構、体温調節、男性生殖器、女性生殖器、成長と老化について学ぶ。

医師としての実務経験をもとに、人体の構造と機能について授業を行う。

授業は対面で行う。

到達目標

B1227y

1. 神経系と感覚器の構造と機能を説明できる。
2. 生体防御機構について説明できる。
3. 体温調節のしくみについて説明できる。
4. 生殖器の構造と機能を説明できる。
5. 成長と老化について説明できる。

成績評価方法

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ小テスト・期末試験の得点に関わらず不合格とする。

毎回の授業で小テストを実施する。

期末テストは対面で実施する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 16. 神経系（1）ニューロン 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト16
2) 17. 神経系（2）中枢神経系 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト17
3) 18. 神経系（3）末梢神経系 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト18
4) 19. 神経系（4）脳の高次機能 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト19
5) 20. 感覚器（1）視覚器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト20
6) 21. 感覚器（2）その他の感覚器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト21
7) 22. 皮膚 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト22
8) 23. 生体防御機構（1）自然免疫、獲得免疫 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト23
9) 24. 生体防御機構（2）免疫応答、アレルギー 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト24
10) 25. 体温調節 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト25
11) 26. 男性生殖器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト26
12) 27. 女性生殖器（1）構造、性周期 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト27
13) 28. 女性生殖器（2）減数分裂、受精、発生、胎盤 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト28
14) 29. 小児期の成長 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト29
15) 30. 老化 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト30
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は、系統看護学講座「人体の構造と機能（1）解剖生理学」（医学書院）を指定する。 参考資料として、授業ノート、小テストの問題と解答、看護国家試験過去問をGoogle Classroomから配信する。クラスコード「6aki6hz」	微生物・免疫学、病理学、生化学・栄養学、疾病論

課題に対するフィードバック

小テストについて、次回の授業で正解と解答のポイントを解説する。

備考

科目名	生涯発達心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	後期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	看護師、保健師、養護教諭	

授業概要

生涯発達心理学は、人の誕生から死までの発達過程を心理学的観点から捉えることを目的とした学問である。乳児期～高齢期までの各発達段階の心理的な特徴を学び、看護師としての人間理解に役立てる。将来、看護師として様々な年代の方と出会うことに先立ち、人を理解するための知識と技術として学んでもらいたい。

到達目標

ナンバリング(B1228)

- 1) 発達段階の違いを人間の多様性の一つと捉え、各段階の心理学的な特徴と発達課題を理解する。
- 2) 各発達段階において、どのような心理的なサポートが必要なのか、また発達を促進するのかを理解する。

成績評価方法

各回の授業の課題提出(50%)および最終レポート試験(50%)で評価する。各回の授業の課題は授業内で取り組む場合と宿題の場合がある。これらから総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。出欠は、課題提出をもって講義の参加とする。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○	○		50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		25
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生命の芽生えから新生児期まで【予習】20分：生まれてからこれまでの自分の成長をふり返る。予習キーワード：五感、胎児、親子のコミュニケーション【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
2) 乳児期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：愛着、社会性の発達、言語発達【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
3) 幼児期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：認知機能（知的能力）の発達、コミュニケーション能力の発達【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
4) 児童期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：道徳性の発達、知的能力の発達【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
5) 思春期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：思春期、自立【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
6) 青年期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：アイデンティティ【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
7) 成人期・中年期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：心理社会的危機【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
8) 高齢期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：認知機能の低下、人生の振り返り【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
人間を理解する他の授業や実習においても、「今、学んでいる（関わっている）対象者の心理的側面や発達の側面はどうか」と関心をもつ。また、自分自身の成長のプロセスをふり返り、今後の予測を立てるなど、自分を通して発達について考える。身近な知人や家族の様子を観察し、その発達段階について考察する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：渡辺弥生(2021)「完全カラー図解 よくわかる発達心理学」ナツメ社	母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論

課題に対するフィードバック

提出されたレポートは、コメントを付けて返却する。

備考

科目名	コミュニケーション論（カウンセリングを含む）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	柿並 洋子、小山 典子、榎本 俊哉		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格			
授業概要 保健・医療・福祉および学校保健の現場で言語・非言語コミュニケーション活動を展開するにあたって、コミュニケーション論を基本にして、他者との人間関係における自己表現方法を学ぶ。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせる学習する。 授業は対面で行う。							
到達目標 B1209h ・保健・医療・福祉におけるコミュニケーションの重要性と必要性について説明できる。 ・学校現場におけるコミュニケーションの重要性と必要性について説明できる。 ・他者との人間関係を良好に保つための技術としての自己表現方法がわかる。 ・専門職としてかかわる中で必要なコミュニケーション技術とカウンセリングの基本がわかる。			成績評価方法 授業内レポート、グループワーク、最終レポート等で総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) コミュニケーションとは何か（柿並） 【予習】シラバスを確認する 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
2) 対人関係を考える（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す30分 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
3) コミュニケーションの種類と機能（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す30分 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
4) 医療現場、看護倫理場面におけるコミュニケーション（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す30分 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
5) 看護とコミュニケーション（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す30分 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
6) 自己のコミュニケーションの特徴を知る（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す30分 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
7) アンガーマネジメント（小山） 【予習】怒りの感情について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
8) アンガーマネジメント（小山） 【予習】アンガーマネジメントについて調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
9) 慢性疾患看護とカウンセリング（小山） 【予習】糖尿病患者に対する看護アプローチについて調べておく（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート グループワーク
10) 児童・思春期心身症の看護とカウンセリング（小山） 【予習】児童・思春期の心身症にはどのようなものがあるか調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート グループワーク
11) 親子のコミュニケーション（児童期）（榎本） 【予習】学校や家庭（児童期）において求められるコミュニケーションについて考える（30分）【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
12) 親子のコミュニケーション（思春期）（榎本） 【予習】学校や家庭（思春期）において求められるコミュニケーションについて考える（30分）【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
13) ハラスメント - 加害者と被害者の心理 - （榎本） 【予習】ハラスメントの加害者と被害者の心理について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
14) ハラスメント - 加害者と被害者の心理 - （榎本） 【予習】ハラスメントの加害者と被害者への支援・関わり方について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
15) 看護とコミュニケーション（柿並） 【予習】これまでの内容をふり返し、今後どのように生かすことができるか考える（30分）【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク 発表
授業外学習	
地域社会の情報から特に医療・看護における心理学的なアプローチが必要と思われる事例について関心をもつこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：必要に応じて資料を配布する。</p> <p>参考書：看護臨床における話す・聴くケアを实らせるポイントとその実際，上野轟，医学書院、新装版 コミュニケーション，アーネスティン・ウィーデンバック/キャロライン・E・フォールズ 著 池田明子 訳，日本看護協会出版会，2007</p>	<p>身体コミュニケーション論 心理学</p>

課題に対するフィードバック

レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返却する。

備考

科目名	微生物・免疫学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	尾家 重治	関連する資格	薬剤師、医学博士、インフェクション コントロール ドクター	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 感染症は迅速で的確な処置が求められる重要な疾患である。講義では、種々の感染症を起こす病原微生物について学び、それらの生物学的特性と感染症を起こす仕組みについて理解する。
 また、生体の感染防御機構である免疫の仕組みを学び、理解する。
 さらに、感染制御の理論と実践についての知識を習得する。

39年間にわたり、山口大学病院において感染対策委員やインフェクション コントロール ドクター（ICD）として院内感染防止活動の実務経験がある。これらで得られた知識をもとに病原微生物や感染防止対策についての授業を行う。

到達目標

B1229y

1. 感染症をおこす病原微生物を知り、病原微生物と感染症との関係について記述できる。
2. 感染防御の仕組みを理解し、説明できる。
3. 感染予防の考え方と方法を学び、看護師として感染予防を実践するうえで留意すべきことを具体的に述べることができる。

成績評価方法

知識：定期テストにて知識の有無を問う試験（多肢選択、穴埋め、記述式など）を行う。

態度：レポートにて、感染症をおこす病原微生物や感染防御の仕組みについて関心を持ち、自ら課題を設定して調べる積極性 看護上留意すべき感染予防の考え方と方法について自ら課題を設定して意見を述べる主体性 などを評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 感染症の伝播経路：感染症の伝播経路、標準予防策、感染経路別予防策【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
2) 感染と感染症：感染の成立、免疫、ワクチン【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
3) 消毒と滅菌：消毒法、滅菌法、消毒薬の選び方【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	授業内レポート
4) 化学療法：抗菌スペクトル、抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
5) 食中毒：細菌性食中毒とその防止法【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
6) 細菌（3 - 1）グラム陽性菌：至適温度や至適pH、芽胞、コロニー、黄色ブドウ球菌、レンサ球菌属【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
7) 細菌（3 - 2）グラム陰性菌：腸管出血性大腸菌、赤痢菌、ペスト菌、コレラ菌、緑膿菌、レジオネラ菌など【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
8) 細菌（3 - 3）抗酸菌、スピロヘータ：結核菌、らい菌、梅毒トレポネーマ【予習】なし【復習】重要事項の自己学習（30分）	授業内レポート
9) ウイルス（3 - 1）：痘そうウイルス、単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、アデノウイルス、インフルエンザウイルスなど【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
10) ウイルス（3 - 2）：麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、ポリオウイルス、風疹ウイルス、ノロウイルスなど【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
11) ウイルス（3 - 3）、プリオン：出血熱ウイルス、ヒト免疫不全ウイルス、肝炎ウイルス、プリオン【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	授業内レポート
12) 職業感染とその防止：新型コロナウイルス感染症、結核、B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
13) 真菌・原虫：アスペルギルス、白癬菌、カンジダ、クリプトコックス、トキソプラズマ原虫、マラリア原虫など【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
14) 免疫：自然免疫、獲得免疫、細胞性免疫、液性免疫、能動免疫、受動免疫、ワクチン【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	授業内レポート
15) これまでの授業内容の振り返り：確認テストを行い、解説しながら重要点を振り返る【予習】なし【復習】確認テストをくり返し確認し、定期テストに備える（30分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に板書する要点や配布する資料は重要事項ですので、授業後には必ず整理し、十分に自己学習を行ってください。レポート、定期試験で理解度や学習意欲を評価します。 ・授業で学んだ該当単元の詳細は、テキストを読んで確認するようにしてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 「微生物学」第12版、医学書院 資料プリントの配布	医療安全管理学 公衆衛生看護学 災害看護学

課題に対するフィードバック

レポートは翌週にコメントをつけて返す

備考

科目名	病理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	崔 丹	関連する資格		

授業概要

生体の恒常性が乱れ、その結果生じてくる病理学的変化を理解する。循環器系、呼吸器系、消化器系、神経・運動器系など各臓器の病理、また、代謝、炎症、腫瘍などの病理、さらに老年期疾患の特徴と老化のメカニズム、放射線障害とその防御等について学ぶ。疾患の診断、治療方針の決定などに大きく関わる臨床病理学について説明できる。

到達目標

B1230

全身諸臓器の正常構造および働きを理解する。
病理学総論および循環器系、呼吸器系、消化器系、神経・運動器系などの各臓器の代表的疾患を理解し、説明できる。病理および臨床検査の基礎知識や意義を理解する。

成績評価方法

筆記試験により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 病理学で学ぶこと、先天異常と遺伝子異常、病理診断の実際 病理学が医学や医療のなかでどのような役割を担っているかを理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
2) 細胞・組織の障害と修復 細胞傷害の原因と機序、組織の修復過程について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
3) 循環障害(1) 浮腫・充血・うっ血・出血・血栓症・梗塞などの局所循環障害を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
4) 循環障害(2)、代謝障害 全身性循環障害及び代謝障害について学習する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
5) 炎症と免疫、移植と再生医療(1) 炎症と免疫について学び、アレルギーについて理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
6) 炎症と免疫、移植と再生医療(2)、感染症 移植と再生医療を学習する。感染症の一般的な特徴について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
7) 腫瘍(1) : 腫瘍とはなにか、悪性腫瘍と良性腫瘍の違いなにかおよびがん転移の過程とその経路について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
8) 腫瘍(2)、老化と死 : がんの発生原因や診断・治療についての最新情報を学ぶ。加齢に伴う身体の変化や死にまつわる様々な問題について正しく理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
9) 循環器系の疾患 血管疾患と心疾患について、その定義と病態を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
10) 血液・造血器系の疾患 リンパ節の代表的疾患や造血系疾患について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
11) 呼吸器系疾患 気管・気管支・肺の疾患の発症機序、診断について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
12) 消化器系疾患(1) 口腔・食道・胃の疾患について、その定義と病態を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
13) 消化器系疾患(2)、内分泌系の疾患 肝・膵の疾患を学ぶ。内分泌系疾患の全身への影響の仕組みを理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
14) 腎・泌尿器系、生殖器系及び乳腺の疾患、目・耳・皮膚の疾患 腎・泌尿器系、生殖器系及び乳腺および目・耳・皮膚の疾患について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
15) 脳・神経・筋肉系の疾患、骨・関節系の疾患 脳・神経・筋肉系および骨・関節系のおもな疾患について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
授業外学習	
毎授業後にはレポート提出すること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 医学書院	

課題に対するフィードバック

小テスト、授業内レポートについては、翌週ポイントを解説する。

備考

科目名	薬理・薬剤学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	尾家 重治	関連する資格	薬剤師、 医学博士、 インфекション コントロール ドクター	

授業概要

本授業は対面で実施する。
薬物が生体に及ぼす影響と薬理作用について学び、臨床で用いられる医薬品の効果と有害作用・副作用、その薬物の適用と投与方法について理解する。
個々の薬物の基礎知識、薬物の安全性と認可方法についても学ぶ。
各種疾患に対して用いられる薬物の適用方法（目的、作用・副作用、効果判定）、化学療法、輸血療法の具体例について学び、薬物療法と患者の生活の質について理解し、薬物療法における看護職の役割を理解する。

39年間にわたり、山口大学病院薬剤部において調剤、製剤、Drug Information (DI) および試験研究などの実務経験がある。これらで得られた知識をもとに薬剤の適正使用について授業を行う。

到達目標

B1231y
1. 薬の効果発現までの過程を知り、個々の薬物の基礎知識を記述できる。
2. 薬の作用・副作用について理解し、医薬品の効果と有害作用・副作用、医薬品の適用と投与方法について説明できる。
3. 薬物療法における看護職の役割を理解し、看護上留意すべきことを具体的に述べるができる。

成績評価方法

知識：定期テスト、小テストにて知識の有無を問う試験（多肢選択、穴埋め、記述式など）を行う。
態度：小レポートにて、薬の作用・副作用、薬理効果について関心を持ち、自ら課題を設定して調べる積極性 看護上留意すべき薬理効果・副作用について自ら課題を設定して意見を述べる主体性 などを評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) からだの中のくすりの動き 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
2) 薬の効果に影響する因子 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
3) くすりのリスク 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
4) 抗感染症薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
5) 抗がん薬・免疫治療薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
6) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
7) 末梢神経に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
8) 中枢神経系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
9) 心臓・血管系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
10) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
11) 代謝に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
12) 皮膚科用薬・眼科用薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
13) 消毒薬・救急用薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
14) くすりが出るまで物質 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小レポート
15) 総括 【予習】今までの授業ノートを見直してくる（30分） 【復習】理解が不十分な所を中心に自己学習し、試験に備える（30分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。 ・ 授業中に板書する要点や配布する資料は重要事項ですので、授業後には必ず整理し、十分に自己学習を行ってください。小テスト、小レポート、定期試験で理解度や学習意欲を評価します。 ・ 授業で学んだ該当単元の詳細は、テキストを読んで確認するようにしてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 「薬理学」 医学書院 2,310円 資料プリントの配布	微生物・免疫学 医療安全管理学

課題に対するフィードバック

- ・小テスト、小レポートは翌週にコメントをつけて返す
- ・小テストの解説を翌週に行う

備考

科目名	生化学・栄養学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

外界から食物が様々な栄養素として消化吸収される過程において、それがどのように変化し、どのように体内に取り込まれるのか、また、取り込まれた成分は、どのように体組成に組み込まれ、人の生命の維持に使われていくのかを理解する。また、疾病を持つ人への栄養管理についての基礎を学ぶ。
授業は対面で行う。

到達目標

B2203y

1. 食品に含まれる栄養素の種類と機能について説明できる。
2. 栄養素の消化、吸収、代謝について説明できる。
3. 栄養ケアマネジメントの実践方法について説明できる。
4. 主な疾患の栄養療法の原則を説明できる。

成績評価方法

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ小テスト・期末試験の得点に関わらず不合格とする。
毎回の授業で小テストを実施する。
期末テストは対面で実施する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 糖質の種類と機能 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト1
2) 2. 脂質の種類と機能 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト2
3) 3. 糖質と脂質の代謝 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト3
4) 4. アミノ酸・タンパク質の種類と機能 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト4
5) 5. アミノ酸・タンパク質の代謝 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト5
6) 6. エネルギー代謝 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト6
7) 7. ビタミン・ミネラルの種類と機能 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト7
8) 8. 核酸の代謝と遺伝子 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト8
9) 9. 栄養素の消化と吸収 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト9
10) 10. 食品群と栄養素、ライフステージと栄養、日本人の食事摂取基準、国民健康栄養調査【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト10
11) 11. 栄養ケアマネジメントと栄養アセスメント 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト11
12) 12. 栄養補給法 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト12
13) 13. 食事療法（1）肥満・メタボリックシンドローム 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト13
14) 14. 食事療法（2）糖尿病、脂質異常症、高血圧、高尿酸血症 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト14
15) 15. 食事療法（3）腎不全、肝硬変症 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト、小テストの問題と解答、看護師国家試験過去問の解答をGoogle Classroom（クラスコードqkgadvb）に掲載しているのを参照すること	人体の構造と機能 ・ 、疾病論 ・

課題に対するフィードバック

小テストについて、次回の授業で正解と解答のポイントを解説する。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

疾病論では、主要な疾患の病態、症状、検査、診断、治療法の基本的知識を学ぶ。症状は、疾病を起こしている原因によって起こるものと、原因を排除し回復するための生体反応として起こるものがある。正常な人体の構造と機能の知識を基に、正常な状態から病態へ移行するしくみと回復過程について学ぶことは、患者の状態を正確に把握するための必須の知識である。また、医療の現場において検査が行われ、検査結果に基づいて診断し、診断に基づいて治療計画を立てるプロセスを理解しておくことは、適切な看護計画を立てる上で不可欠な知識である。医師としての実務経験をもとに、疾病論について授業を行う。授業は対面で行う。

到達目標

B2204

1. 主要な疾患の病態について説明できる。
2. 主要な疾患の症状について説明できる。
3. 主要な疾患の検査と診断について説明できる。
4. 主要な疾患の治療法について説明できる。

成績評価方法

30回の授業のうち、3分の2以上（20回以上）出席しなければ小テスト・期末試験の得点に関わらず不合格とする。毎回の授業で小テストを実施する。期末テストは対面で実施する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1-1. 病気の考え方、 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1-1
2) 1-2. 臨床検査の考え方 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1-2
3) 2-1. 外科総論（1）手術侵襲、創傷治癒 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2-1
4) 2-2. 外科総論（2）腫瘍総論 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2-2
5) 3-1. 外科総論（3）外傷、熱傷、ショック 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3-1
6) 3-2. 外科総論（4）麻酔法 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3-2
7) 4-1. 外科総論（5）呼吸管理 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4-1
8) 4-2. 外科総論（6）体液管理 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4-2
9) 5-1. 外科総論（7）輸血療法 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5-1
10) 5-2. 外科総論（8）外科的基本手技 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5-2
11) 6-1. 外科総論（9）臓器移植、人工臓器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6-1
12) 6-2. 放射線療法 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6-2
13) 7-1. 循環器疾患（1）心電図検査、その他の検査 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7-1
14) 7-2. 循環器疾患（2）虚血性心疾患 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7-2
15) 8-1. 循環器疾患（3）心不全、 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8-1
16) 8-2. 循環器疾患（4）血圧異常 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8-2
17) 9-1. 循環器疾患（5）不整脈 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9-1
18) 9-2. 循環器疾患（6）弁膜症、心膜炎、心筋症 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9-2
19) 10-1. 循環器疾患（7）先天性心疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10-1
20) 10-2. 循環器疾患（8）動脈疾患、その他 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10-2

21)	11-1. 腎・泌尿器疾患(1) 腎機能検査、腎不全、 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト11-1
22)	11-2. 腎・泌尿器疾患(2) ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、その他 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト11-2
23)	12-1. 腎・泌尿器疾患(3) 全身疾患による腎障害 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト12-1
24)	12-2. 腎・泌尿器疾患(4) 尿路疾患 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト12-2
25)	13-1. 運動器疾患、 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト13-1
26)	13-2. リハビリテーション 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト13-2
27)	14-1. 眼疾患、 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト14-1
28)	14-2. 耳鼻咽喉疾患 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト14-2
29)	15-1. 皮膚疾患 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト15-1
30)	15-2. 歯・口腔疾患 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト15-2

授業外学習

予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。
復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は、医学書院系統看護学講座「外科総論」「循環器」「腎・泌尿器」を指定する。 参考資料として、授業ノート、小テストの問題と解答、看護国家試験過去問をGoogleクラスルームから配信する。クラスコード「5fs7mez」	人体の構造と機能、病理学、微生物・免疫学、疾病論、成人看護学、

課題に対するフィードバック

小テストについて、次回の授業で正解と解答のポイントを解説する。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

疾病論では、主要な疾患の病態、症状、検査、診断、治療法の基本的知識を学ぶ。症状は、疾病を起こしている原因によって起こるものと、原因を排除し回復するための生体反応として起こるものがある。正常な人体の構造と機能の知識を基に、正常な状態から病態へ移行するしくみと回復過程について学ぶことは、患者の状態を正確に把握するための必須の知識である。また、医療の現場において検査が行われ、検査結果に基づいて診断し、診断に基づいて治療計画を立てるプロセスを理解しておくことは、適切な看護計画を立てる上で不可欠な知識である。医師としての実務経験をもとに、疾病論について授業を行う。授業は対面で行う。

到達目標

B2205

1. 主要な疾患の病態について説明できる。
2. 主要な疾患の症状について説明できる。
3. 主要な疾患の検査と診断について説明できる。
4. 主要な疾患の治療法について説明できる。

成績評価方法

30回の授業のうち、3分の2以上（20回以上）出席しなければ小テスト・期末試験の得点に関わらず不合格とする。毎回の授業で小テストを実施する。期末テストは対面で実施する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	16-1. 消化器疾患（1）食道癌、逆流性食道炎、胃十二指腸潰瘍 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト16-1
2)	16-2. 消化器疾患（2）胃癌、下痢、便秘、炎症性腸疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト16-2
3)	17-1. 消化器疾患（3）虫垂炎、ヘルニア、腸閉塞、大腸癌 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト17-1
4)	17-2. 消化器疾患（4）急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト17-2
5)	18-1. 消化器疾患（5）肝硬変、門脈圧亢進症、原発性肝癌 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト18-1
6)	18-2. 消化器疾患（6）胆石症、胆嚢炎、急性膵炎、慢性膵炎、膵癌 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト18-2
7)	19-1. 呼吸器疾患（1）気管支炎、インフルエンザ、肺炎 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト19-1
8)	19-2. 呼吸器疾患（2）間質性肺炎 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト19-2
9)	20-1. 呼吸器疾患（3）気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD） 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト20-1
10)	20-2. 呼吸器疾患（4）肺血栓塞栓症、肺高血圧症、原発性肺癌 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト20-2
11)	21-1. 脳・神経疾患（1）脳血管障害 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト21-1
12)	21-2. 脳・神経疾患（2）脳腫瘍、頭蓋内圧亢進、意識障害 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト21-2
13)	22-1. 脳・神経疾患（3）末梢神経障害 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト22-1
14)	22-2. 脳・神経疾患（4）筋疾患、神経筋接合部疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト22-2
15)	23-1. 脳・神経疾患（5）脱髄・変性疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト23-1
16)	23-2. 脳・神経疾患（6）感染症、認知症 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト23-2
17)	24-1. 内分泌疾患（1）下垂体疾患、甲状腺疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト24-1
18)	24-2. 内分泌疾患（2）副甲状腺疾患、副腎疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト24-2
19)	25-1. 代謝疾患（3）糖尿病 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト25-1
20)	25-2. 代謝疾患（2）脂質異常症、メタボリックシンドローム、高尿酸血症 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト25-2

21)	26-1. 血液・造血器疾患(1)末梢血検査 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト26-1
22)	26-2. 血液・造血器疾患(2)貧血 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト26-2
23)	27-1. 血液・造血器疾患(3)白血病 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト27-1
24)	27-2. 血液・造血器疾患(4)出血傾向 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト27-2
25)	28-1. アレルギー疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト28-1
26)	28-2. 膠原病 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト28-2
27)	29-1. 感染症(1)感染症総論、抗菌薬 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト29-1
28)	29-2. 感染症(2)ウイルス疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト29-2
29)	30-1. 女性生殖器疾患(1)子宮頸癌、子宮体癌、卵巣腫瘍 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト30-1
30)	30-2. 子宮内膜症、乳癌、更年期障害 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト30-2

授業外学習

予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと
復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座「消化器」「呼吸器」「脳・神経」「内分泌・代謝」「血液」「アレルギー・膠原病・感染症」「女性生殖器」(医学書院)を指定する。参考資料として、授業ノート、小テストの問題と解答、看護国家試験過去問をGoogle Classroomから配信する。クラスコード「5fs7mez」	人体の構造と機能、病理学、微生物・免疫学、薬理・薬剤学、成人看護学

課題に対するフィードバック

小テストについて、次回の授業で正解と解答のポイントを解説する。

備考

科目名	公衆衛生学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	立川 美香、山崎 千鶴代、金川 真奏 理、柿並 洋子、磯村 由美、新開 恵、山本 博美	関連する資格	保健師免許状 養護教諭一種免許状	

授業概要

1)授業は対面で行う。2)公衆衛生とは集団の疾病予防や健康の維持・増進を目的とする科学・技術である。本授業により、公衆衛生の概念と基本的な内容を理解する。人々の健康が自然・社会・文化的環境と強くかかわっていることを認識し、さらに人々の生涯にわたる健康に関する諸制度の整備と保健活動を組織的に推進するものであることを習得する。

到達目標

B2206hy
人口変動や疾病構造の変化とその要因を説明できる。
我々の健康生活を支える様々な保健体制の現状を説明できる。
保健・医療・福祉の連携の現状と今後の課題について述べるができる。

成績評価方法

定期試験、宿題レポート提出により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公衆衛生のエッセンス（立川美香） 看護学生が公衆衛生を学ぶ意味を理解する [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
2) 公衆衛生のしくみ（立川美香） 「公衆衛生のしくみ」とは何を指すかを知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：1～3章までのゼミナール宿題
3) 集団の健康をとらえるための手法（その1）（立川美香） 集団の健康状態を表す指標と意味を知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
4) 集団の健康をとらえるための手法（その2）（立川美香） 集団の健康状態に影響を与える要因を見つける方法(疫学)を知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：4章のゼミナール宿題
5) 環境と健康（その1）（立川美香） 環境と健康、生活のつながりを知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
6) 環境と健康（その2）（立川美香） 環境保全の大切さを理解する [予習]キストを読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：5章のゼミナール宿題
7) 感染症とその予防対策（山崎千鶴代） 感染症対策分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：6章のゼミナール宿題
8) 国際保健（金川真理） 国際保健活動の現場と国際保健の使命を知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：7章のゼミナール宿題
9) 地域保健 B母子保健（金川真理） 母子保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
10) 地域保健 C成人保健（山本博美） 成人保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る。 [予習]テ [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく。(60分)	個人ワーク：8章のゼミナール宿題
11) 地域保健 D高齢者保健 E精神保健（柿並洋子） 高齢者保健、精神保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
12) 地域保健 F歯科保健 G.障害者保健・難病保健（山崎千鶴代） 歯科保健、難病支援、障害者支援分野の対象となる人々・しくみ・活動を知る [予 [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	個人ワーク：8章のゼミナール宿題
13) 学校と健康（新開奏恵） 学校保健の目的としくみを知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：9章のゼミナール宿題
14) 職場と健康（立川美香） 産業保健の目的としくみを知る [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：10章のゼミナール宿題
15) 健康危機管理・災害保健（山崎千鶴代） 日本の災害対策体制と災害時の支援を理解する [予習]テキストを読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
授業外学習	
授業後に、学習した章のゼミナールを行うこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座-公衆衛生（医学書院）、 要点をまとめた資料は毎回配布する。	保健統計、疫学

課題に対するフィードバック

備考

科目名	疫学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	立川 美香、山崎 千鶴代、柿並 洋子、山本 博美	関連する資格	保健師免許状	

授業概要

- ・ 授業は対面授業でおこなう
- ・ 疫学は、人間集団における健康状態とそれに関連する要因の分析を明らかにする学問である。疫学の歴史、概念、役割、及び保健医療活動に必要な疫学指標、疫学研究のデザインと手法、疫学的データの解析の基礎的知識を修得する。
- ・ 保健統計調査のデータ、主な疾患の疫学についての知識を習得する

到達目標

B22027h

- ・ 疫学の定義、歴史的事例を説明することができる。
- ・ 有病率、罹患率等の保健統計指標の意義を理解する。
- ・ 疫学研究の方法を習得する。
- ・ 保健統計調査のデータを理解する。
- ・ 主な疾患（感染症、生活習慣病、悪性新生物、精神疾患、難病）の疫学を説明することができる。

成績評価方法

定期試験、授業内レポート、授業外レポート、態度で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 疫学の概念と歴史（立川美香） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
2) 疫学研究1（疫学研究の種類、標本抽出、記述研究）（中本稔） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
3) 疫学研究2（横断研究、症例対照研究、コホート研究）（中本稔） [予習]テキストを読んでおく(60分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
4) 疫学研究3（分析研究、相対危険と寄与危険、オッズ比）（中本稔） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
5) 疫学研修4（介入研究、因果関係、バイアスと交絡因子）（中本稔） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
6) 疫学頻度の指標（中本稔） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
7) スクリーニング（中本稔） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
8) 保健統計調査1（人口静態・動態統計、年齢調整死亡率、死因統計）（立川美香） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
9) 保健統計調査2（婚姻と離婚、平均寿命、国民生活基礎調査、患者調査）（立川） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
10) 主な疾患の疫学1（感染症）（山崎千鶴代） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
11) 主な病疾患の疫学2（悪性新生物）（山本博美） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
12) 主な病疾患の疫学3（生活習慣病）（山本博美） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
13) 主な病疾患の疫学4（精神疾患）（柿並洋子） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
14) 主な病疾患の疫学5（難病）（山崎千鶴代） [予習]テキストを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	
15) 疫学と公衆衛生看護（立川美香） [予習]テキストまでを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
・看護学生のための疫学・保健統計	公衆衛生学、保健統計

課題に対するフィードバック

個人ワークの疫学演習については、翌週解答する。

備考

科目名	保健統計			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	保健師、養護教諭	

授業概要

保健統計は集団の健康状態を把握するための手段である。保健師・看護師として保健医療福祉活動を実践する際に、様々な保健統計資料からの情報を収集する能力や調査・研究する能力が求められる。授業では健康指標ならびに人口に関する指標、データの特徴を記述する記述統計、調査データから母集団の性質を求める推測統計(推定,検定)について学習する。授業では、Excelソフトを用いてデータをまとめる方法、分析する方法を実践的に学ぶ。授業はコンピュータ演習室を中心に、対面で行う。

到達目標

ナンバリング (B3201hy)

1. 保健医療分野で使用される統計の意義を理解する。
2. 保険統計の種類と定義・内容を述べるができる。
3. 母集団と標本、平均と標準偏差、相関など、推定と検定に関して述べるができる。
4. 統計ソフトを活用して統計量の算出、表・グラフの作成、検定を行うことができる。

成績評価方法

各回の授業内で取り組む課題70%、小課題30%

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		
演習	○	○	○	○	○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) Excelソフトの機能に慣れる 予習：疫学の授業の復習（30分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelを使ったワーク
2) 疫学指標 予習：疫学の授業の復習（30分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	小課題
3) 疫学研究における研究法 予習：高校で習った統計をおさらいする（30分） 復習：授業の内容のおさらい（20分）	小課題
4) 統計学の基本：変数、尺度、代表値、母集団と標本、母集団の推定 予習：疫学の授業で触れた検定を見直しておく（30分） 復習：疫学の内容との関連を考える（30分）	小課題
5) 統計学の基本：様々な検定の考え方 予習：疫学で使用されるデータの特徴を見直しておく（30分） 復習：検定の活用について検討する（15分）	小課題
6) アンケート調査の基本 予習：疫学で実施されてきたアンケート調査を探しておく（30分） 復習：自分ならどのようなアンケート調査をするか考える（15分）	小課題
7) 統計学の基本：様々な検定の考え方 予習：疫学で使用されるデータの特徴を見直しておく（30分） 復習：検定の活用について検討する（15分）	Excelを使ったワーク
8) Excel基本操作：数式の利用、関数の利用、ピボットテーブル 予習：疫学に関する授業で習った数式を確認する（30分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）Excel	Excelを使ったワーク
9) Excel基本操作：基本統計量の求め方、集計表の作り方、グラフの作成 予習：Excelの使い方の基本（20分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールに慣れる
10) 統計学の基本：確率分布、度数分布、ヒストグラム 予習：Excelの使い方の基本（10分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelを使ったワーク
11) 適合度の検定、独立性の検定 予習：Excelの使い方の基本（10分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
12) 相関分析 予習：Excelの使い方の基本（10分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
13) 回帰分析 予習：統計用語の確認（20分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
14) 平均値の差の検定（t検定） 予習：高校の統計学の基本（10分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
15) 一元配置分散分析 予習：Excelの使い方の基本（10分） 復習：授業のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
授業外学習	
PCのExcelの操作に不慣れな場合は、練習をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
石村 友二郎（著）、今福 恵子（著）「Excelで学ぶ医療・看護のための統計入門」東京図書 浅野嘉延（著）「看護学生のための疫学・保健統計」南山堂	疫学、公衆衛生学、公衆衛生看護学

課題に対するフィードバック

授業内でPC操作や課題に対するフィードバックを行う。

備考

科目名	社会保障論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	後期
担当者名	三輪 直之	関連する資格	保健師国家試験受験資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 社会保障とは、人が長い人生を生きていくうえで、個人の自助努力だけでは通常の生活を送ることができなくなるような社会的要因が生じたときに、安心した生活を保障するために創設された社会的制度である。本授業では、社会保障の概念を学び、これを基盤に、日本の代表的な社会保障の具体的な制度について学習する。

到達目標

ナンバリング(B2208h)
 社会保障の意味を理解する
 社会保障の理念を理解する
 日本の具体的な社会保障制度の概要を理解する

成績評価方法

定期試験および小レポートの内容で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 社会保障の概念と政策上の位置づけ、構成 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
2) 現代社会の特質と社会保障の動向 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
3) 医療保障(1)医療保障制度の構造と体系 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
4) 医療保障(2)国民医療費の動向 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
5) 医療保障(3)保険診療のしくみ、公費負担医療 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
6) 所得保障(1)所得保障の体系、社会手当 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
7) 所得保障(2)年金保険 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
8) 所得保障(3)労働保険（雇用保険、労働者災害補償保険） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分）	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>予習は、テキストの該当ページを読んでおくこと。はじめて見る語句については調べておくことが望ましい。別途、予習の内容を指示することがある。復習は、授業内容に関連する課題を提示するので翌週の授業までに小レポートを提出すること。小レポートはA4で1枚（12ポイント40行程度）にまとめること。小レポートの体裁については第1回の授業内で指示する。学んだ内容が、国家試験にどのような形式で出題されるのか過去問題集などで確認すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：系統看護学講座 専門基礎分野『健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉』 医学書院	社会福祉論

課題に対するフィードバック

提出された小レポートには、担当教員がコメントをつけて返却する。

備考

科目名	社会福祉論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	三輪 直之	関連する資格	保健師国家試験受験資格 看護師国家試験受験資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。

現代社会の変動に伴い、社会問題や生活問題、福祉ニーズが多様化、複雑化、高度化し、これに対応して、社会福祉制度や実践の範囲が拡大した。このような状況のなかで、利用者の課題を解決していくうえで、社会福祉と他分野の社会サービスとの連携が必要となっている。特に、社会福祉と医療・看護との連携は、利用者の自立支援を進めていくうえで、重要な意義があると考えられる。本授業では、上記の社会福祉関連の実態を踏まえ、医療・看護分野における社会問題や生活問題を捉えながら、社会福祉の基本的知識を習得することを目的としている。

本授業は担当教員の実務経験に基づいて展開する。

到達目標

ナンバリング(B2209h)

社会福祉の必要性、実施体制、職種が説明できる。
社会福祉に関する現状と課題について、法律、施策内容が説明できる。
社会保障制度の内容について説明できる。
多職種連携やチームケアについて説明できる。

成績評価方法

定期試験および小レポートの内容で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 社会福祉の概念と政策上の位置づけ 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
2) 現代社会の特質と社会福祉の動向 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
3) 社会福祉の歴史(1)イギリス救貧体制から福祉国家を経て新自由主義体制への移行 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
4) 社会福祉の歴史(2)日本の社会福祉の歴史的移行 明治期から終戦まで 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
5) 社会福祉の歴史(2)日本の社会福祉の歴史的移行 戦後の社会福祉施策 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（30分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
6) 社会福祉の分野とサービス(1)高齢者福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
7) 社会福祉の分野とサービス(2)障害者福祉 障害者の状況と施策 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
8) 社会福祉の分野とサービス(2)障害者福祉 障害者福祉の理念 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
9) 社会福祉の分野とサービス(3)児童家庭福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
10) 公的扶助 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
11) 介護福祉と介護保険(1)介護保障の制度移行 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
12) 介護福祉と介護保険(2)介護保険の概要と課題 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
13) 所得保障 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
14) 社会福祉実践の特質 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
15) 社会福祉実践と医療・看護との連携 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分）	
授業外学習	
<p>予習は、テキストの該当ページを読んでおくこと。はじめて見る語句については調べておくことが望ましい。別途、予習の内容を指示することがある。復習は、授業内容に関連する課題を提示するので翌週の授業までに小レポートを提出すること。小レポートはA4で1枚（12ポイント40行程度）にまとめること。小レポートの体裁については第1回の授業内で指示する。学んだ内容が、看護師・保健師の国家試験にどのような形式で出題されるのか過去問題集などで確認すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：系統看護学講座 専門基礎分野『健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉』 医学書院	社会保障論

課題に対するフィードバック

提出された小レポートには、担当教員がコメントをつけて返却する。

備考

科目名	看護学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

看護の基本概念を踏まえて看護学の知識体系の思考過程と専門職としての看護の機能と役割について学修する。看護活動の対象である人間を、健康から死、成長・発達、ライフサイクル、生活主体としての側面から考察し、ニーズの充足と自立、適応に焦点を当てた看護活動について学ぶ。看護の基本は患者、クライアントと生活者である人の苦痛を軽減し、安全・安楽・自立を確保し、環境を整え安寧を保障することである。生命倫理（尊厳死、脳死、臓器移植、生殖医療など）・人間の尊厳や基本的人権を基盤に看護活動を展開することである。看護学の創造のため大学では看護学の歴史、患者の権利をめぐる歴史の変遷など温故知新を学修する。さらに、看護師のジレンマ、インフォームド・コンセントと意思決定、個人情報とプライバシーの保護、緩和医療、看護師の法的責任や倫理的行動規範など看護行為を支える看護倫理について概要を学び、次世代の看護システムを考察する基礎を創る。

授業は対面で行う。

（佐藤、福岡、金川、山崎は看護師または保健師、助産師としての実務経験を基にこの授業を行う）

到達目標

B1106y

1. 看護の主要概念である人間、健康、環境、看護について説明できる。
2. 看護とは何かを自らの言葉で説明できる
3. 保健医療提供システムにおける看護の役割と機能について説明できる。
4. 看護に関連する法と制度、看護実践の基準の概要を記述できる。
5. 看護学の歴史を学び、過去、現在、未来の方法論について考察できる。
6. 看護における倫理的問題について議論し、自らの考えをまとめることができる。
7. 看護提供の仕組みについて説明できる。
8. 国際看護活動、災害時における看護の役割を述べるができる。

成績評価方法

定期試験、レポートにより評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)			○	○	○		60
小テスト、授業内レポート			○	○	○		10
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○						
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	看護とは（1）看護師とは何をする職業か、看護の定義（佐藤）教科書p2-39 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	振り返りシート
2)	看護とは（2）看護の役割と機能、看護の継続性と連携（佐藤）教科書p39-74 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
3)	看護の対象の理解（佐藤）教科書p78-129 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
4)	看護の対象の理解（佐藤）教科書p78-129 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
5)	国民の健康状態と生活（佐藤）教科書p108-129 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
6)	看護の提供者 職業としての看護 看護職の資格・養成制度・就労状況（佐藤）p138-162 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
7)	看護の提供者 継続教育とキャリア開発、養成制度の課題（佐藤）p162-184 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
8)	看護における倫理 現代社会と倫理、患者の権利とIC、倫理規定（佐藤）p186-193 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	【 振り返りシート
9)	看護における倫理 現代医療におけるさまざまな倫理的問題（佐藤）p193-198 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	事前課題レポート グループワーク 振り返りシート
10)	看護における倫理 看護実践における倫理問題への取り組み（佐藤）p198-218 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
11)	看護提供の仕組み サービスとしての看護 看護サービス提供の場（福岡）p220-246 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
12)	看護提供の仕組み 看護をめぐる制度と政策（福岡）p247-271 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
13)	看護提供の仕組み 看護サービスの管理（福岡）p271-291 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
14)	看護提供の仕組み 看護提供の仕組み医療安全と医療の質保証（福岡）p292-304 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	振り返りシート
15)	広がる看護の活動領域 国際化と看護、災害時における看護（金川、山崎）p306-351 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	レポート 振り返りシート
授業外学習		
教科書の指定されたページは必ず目を通しておく 課題が出された場合には、期限内に提出する		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
1. 茂野香おる他編：看護学概論 医学書院 2. ナイチンゲール：看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護 日本看護協会出版会 3. ヴァージニア・ヘンダーソン著/湯楨ます他訳：看護の基本となるもの 日本看護協会出版会		基礎看護方法論 ・ 、基礎看護方法演習 ・ 、基礎看護学 実習 ・ 、臨床看護総論、看護理論、看護管理学、災害看護 論、国際看護論

課題に対するフィードバック

授業内GWとして、シェアするとともに全体でコメントする。

備考

科目名	看護理論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	1年	後期
担当者名	佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

看護学の基盤としての看護理論を学ぶことにより、「看護とは何か」を学問的・科学的に捉え、看護理論を実践や研究に結び付けていくことの意義を認識する。
 看護理論家の理論を知る上で必要な概念や理論の構造について学習したうえで看護の諸理論を学び、その理論の特徴を的確に捉え、さらに看護実践や研究の中でどのように活用されているかを学ぶ。

講義は対面で行う。

看護師としての経験に基づいて講義を行う。

到達目標

B1301

看護理論とはどのようなものを説明できる
 理論の範囲とその適用について述べるができる
 看護の主要概念について述べるができる
 主な看護理論の概要と特徴を説明できる
 看護理論と看護実践、看護過程、看護研究の関係を述べるができる
 看護理論の看護過程への応用を説明できる
 看護とは何かについての自分の考えを言える

成績評価方法

レポート提出 2回

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 理論とは何か、看護理論とは何か、なぜ看護理論が必要か 【予習】 シラバスを読んでくる（10分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
2) 看護理論開発の歴史、看護モデルと医学モデル 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
3) 理論の機能と構成要素、基本的な特徴、看護理論の範囲 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
4) 看護理論の共通要素（4大概念） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
5) 看護理論の評価、看護理論の有効性と限界 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
6) 看護の諸理論1（ナイチンゲール、ヘンダーソン） 【予習】 事前課題に取り組む（80分） 【復習】 グループワークを振り返る（10分）	グループワーク 事前課題
7) 看護の諸理論2（ナイチンゲール、ヘンダーソン） 【予習】 事前課題に取り組む（80分） 【復習】 グループワークを振り返る（10分）	グループワーク 事前課題
8) 看護の諸理論3（オランダ、アブデラ、ウィーデンバック、ワトソン） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
9) 看護の諸理論4（ロイ、オレム） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
10) 看護の諸理論5（ペプロウ、トラバース） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
11) 看護の諸理論6（ロジャーズ、キグ、ペナ） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
12) 看護理論と看護研究、看護実践、看護過程の関係と応用1 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
13) 看護理論と看護研究、看護実践、看護過程の関係と応用2 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
14) 看護とは何か1 【予習】 事前課題に取り組む（90分） 【復習】 グループワークを振り返る（10分）	グループワーク 事前課題
15) 看護とは何か2 【予習】 事前課題に取り組む（90分） 【復習】 グループワークを振り返る（10分）	グループワーク 事前課題
授業外学習	
事前配布のプリントはすべて目を通して授業に臨むこと	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリント配布 看護の力：川嶋みどり著、岩波新書	看護学概論

課題に対するフィードバック

課題についてのグループワークを行い、学生間で意見交換・シェアをする。
授業内でコメントすることでフィードバックを行う。

備考

科目名	基礎看護援助論（共通看護技術）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	1年	前期
担当者名	磯村 由美、福岡 泰子、金子 真弓	関連する資格	看護師	

授業概要

< 授業の目標 >

看護援助に共通するコミュニケーション技術、生活環境調整技術、感染防止の基礎技術、活動・休息援助技術、苦痛の緩和・安楽確保の技術、ヘルスアセスメントの技術について学ぶ。看護技術の科学的思考と安全・安楽・自立の視点を踏まえ、基本的な看護技術の修得を図る。

< 授業形態 >

講義・演習

磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。

福岡泰子・金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習指導を行う。

到達目標

B1401y

1. 看護における看護技術の重要性を述べるができる。
2. 看護技術を適切に実践する必要性について述べるができる。
3. 看護技術を安全・安楽・自立の視点から考える力を身につけることができる。
4. 看護の観察およびコミュニケーションの意義と目的を説明できる。
5. 感染防止対策、標準予防策の基礎知識について述べるができる。
6. 標準予防策を正確に実施できる。
7. 環境調整の基礎知識について述べるができる。
8. 活動・休息援助技術の基礎知識について述べるができる。
9. 苦痛の緩和・安楽確保の技術の基礎知識について述べるができる。
10. ボディメカニクスの原理に基づきベッドメイキング、体位変換・ポジショニングの援助が実施できる。
11. バイタルサイン測定の意義と測定方法について述べるができる。
12. バイタルサイン測定および意識の観察が正確に実施できる。
13. 計測の意義と目的を理解し、正確な身体計測が実施できる。

成績評価方法

定期（筆記）試験、技術試験、課題レポートにより総合的に評価します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○						60
小テスト、授業内レポート	○						
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		
プレゼンテーション		○	○	○	○		
グループワーク		○	○	○	○		
演習	○	○	○	○	○		30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 基礎看護技術の基盤、コミュニケーション（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】コミュニケーションの意義・構成要素と過程（30分） 担当：磯村由美	
2) 環境調整技術、感染防止の技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】病室・病床環境の整備、感染標準予防策（30分） 担当：磯村由美	
3) 活動・休息援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】体位、体位変換とボディメカニクスの活用（30分） 担当：磯村由美	
4) 苦痛の緩和・安楽確保の技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】体位保持（ポジショニング）、電法（30分） 担当：磯村由美	
5) 環境調整技術（演習） 【予習】事前レポート（病室・病床の環境アセスメント、環境整備）（15分） 【復習】事後レポート（15分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
6) 標準予防策（演習） 【予習】事前レポート（手指衛生、個人防護用具）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
7) 環境調整技術（演習） 【予習】事前レポート（ベッドメイキング、リネン交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
8) 7)に同じ	グループワーク
9) 活動・休息援助技術（演習） 【予習】事前レポート（体位変換、ボディメカニクス）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
10) 苦痛の緩和・安楽確保の技術（演習） 【予習】事前レポート（体位保持：ポジショニング）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
11) ヘルスアセスメント バイタルサイン測定（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】バイタルサイン測定の基礎知識と測定方法（30分） 担当：磯村由美	
12) ヘルスアセスメント 計測（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】計測の実際（身長・体重・皮下脂肪・腹囲）（30分） 担当：磯村由美	
13) ヘルスアセスメント バイタルサイン測定（演習） 【予習】事前レポート（体温、脈拍、呼吸、血圧、意識観察）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
14) 13)に同じ	グループワーク
15) ヘルスアセスメント 身体計測（演習） 【予習】事前レポート（身長・体重・皮下脂肪・腹囲）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク

授業外学習

看護技術を身につけることは看護者の責務であるが、授業時間内に経験しただけで自分の技にすることは困難であるため、クラスメイトと協力しあい、個々の能力を高める努力をすること。
 演習前の課題レポートでは、講義や動画視聴により知識をまとめ、各看護技術が実践できるようにイメージ化する。
 演習後の課題レポートでは、看護技術の実施内容・評価を記載し、自己の課題を明らかにすることで、技術修得につなげる。
 演習では専門職としての自覚を持ち、身だしなみを整えて臨むこと。
 演習後に国家試験問題を解き、学修への意欲をもつようにする。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1. 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学2 医学書院 2. 任 和子：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学3 医学書院 3. 竹尾恵子監修：看護技術プラクティス第4版 学研メディカル秀潤社	看護学概論 基礎看護援助論 ・ ・ 臨床看護総論 基礎看護学実習 基礎看護学実習

課題に対するフィードバック

事前・事後課題レポートはコメントを入れて返却する。

備考

科目名	基礎看護援助論（生活援助技術）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	磯村 由美、福岡 泰子、金子 真弓		関連する資格	看護師			
授業概要 < 授業の目標 > 人の日常生活上の基本的欲求である食事、排泄、活動・休息、清潔への援助技術について、講義および演習をとおして学ぶ。演習では、患者役、看護師役を体験するなかで、相手の立場に立ち、相手を思いやる態度を養う。看護技術の科学的思考と安全・安楽・自立の視点を踏まえて、看護技術の修得を図る。 < 授業形態 > 講義・演習 磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。 福岡泰子・金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習指導を行う。							
到達目標 B1402 1. 看護における日常生活援助の意義について述べるができる。 2. 基礎的な生活援助技術が科学的根拠に基づき、安全・安楽、自立を目指して、かつ効率的に実施できる。 3. 活動と休息に関する基礎知識について述べるができる。 4. 移動・移乗・移送の援助方法を修得できる。 5. 食事と栄養に関する基礎知識について述べるができる。 6. 食事摂取の援助方法、口腔ケアの基本技術を修得できる。 7. 排泄援助の基礎知識について述べるができる。 8. 排泄行動をとれない人への援助方法を修得できる。 9. 清潔援助の基礎知識について述べるができる。 10. 清潔を維持するための援助方法を修得できる。 11. 活動・休息、食事、排泄、清潔援助技術の実施前、実施中、実施後のアセスメントができる。 12. 看護技術を支える態度を養うことができる。 13. 学修の成果について、グループで意見交換することができる。			成績評価方法 技術試験、定期（筆記）試験、課題レポート、小テスト、演習での姿勢や態度（身だしなみ、言葉遣い）で総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					5
宿題、授業外レポート	○	○					5
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		
演習	○	○	○	○	○		35
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 日常生活援助技術とは、活動・休息援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】車イス/ストレッチャーでの移動・移乗・移送（30分） 担当：礪村由美	
2) 食事援助技術（講義） 【予習】基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】食事援助の基礎知識、食事介助、口腔ケア（30分） 担当：礪村由美	
3) 活動・休息援助技術（演習） 【予習】事前レポート（車イス/ストレッチャーでの移動）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
4) 3)に同じ	グループワーク
5) 食事援助技術（演習） 【予習】事前レポート（食事介助、口腔ケア）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
6) 5)に同じ	グループワーク
7) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】清潔援助の基礎知識、入浴、シャワー浴（30分） 担当：礪村由美	
8) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】全身清拭、寝衣交換（30分） 担当：礪村由美	
9) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（全身清拭、寝衣交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
10) 9)に同じ	グループワーク
11) 排泄援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】自然排尿/排便の基礎知識、排泄援助、陰部洗浄（30分） 担当：礪村由美	
12) 排泄援助技術（演習） 【予習】事前レポート（排泄援助：尿器/便器、おむつ交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
13) 12)に同じ	グループワーク
14) 排泄・清潔援助技術（演習） 【予習】事前レポート（陰部洗浄）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
15) 14)に同じ	グループワーク
16) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】洗髪、整容、洗面、手浴、足浴（30分） 担当：礪村由美	
17) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（洗髪、整容）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
18) 17)に同じ	グループワーク
19) 排泄・清潔援助技術（演習） 【予習】事前レポート（全身清拭・寝衣交換、陰部洗浄）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
20) 19)に同じ	グループワーク

21) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（手浴、足浴）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
22) 21)と同じ	グループワーク
23) 日常生活援助技術のまとめ（演習） 【予習】事前レポート（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

看護技術を身につけることは看護者の責務であり、クラスメイトと協力しあい、個々の能力を高める努力をすること。
 事前・事後の課題レポートは、人体の構造と機能などの学修と並行する。専門用語などが分からない時は調べる。
 演習前の課題レポートでは、講義や動画視聴による知識をまとめ、各看護技術が実践できるようにイメージ化する。
 演習後の課題レポートでは、看護技術の実施内容・評価を記載し、自己の課題を明らかにすることで、技術修得につなげる。
 演習では専門職としての自覚を持ち、身だしなみを整えて臨むこと。
 演習後に国家試験問題を解き、学修への意欲をもつようにする。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1. 任 和子他：系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学 3 医学書院 2. 茂野香る他：系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学 2 医学書院 3. 竹尾恵子監修：看護技術プラクティス第4版 学研メディカル秀潤社	看護学概論 基礎看護援助論 ・ ・ 臨床看護総論 基礎看護学実習 基礎看護学実習

課題に対するフィードバック

事前・事後課題レポートはコメントを入れて返却する。

備考

--

科目名	基礎看護援助論（診療補助技術）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	前期
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美	関連する資格	看護師	

授業概要

診療の補助技術として、安全確保の技術、感染防止の技術、創傷管理の技術、栄養摂取の援助技術、診察・検査・処置の介助、症状・生体機能管理技術について学ぶ。対象の身体に侵襲を伴う看護技術について、科学的思考に基づいた安全で安楽な技術修得を図る。原則として、授業は対面形式で行う。

金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。

福岡泰子・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習について指導を行う。

到達目標

B2401y

1. 感染防止の基本技術について説明できる。
2. 起こりやすい医療事故と安全確保のための方法を説明できる。
3. 創傷管理の基礎知識を学び、創傷管理および褥瘡予防の援助を説明できる。
4. 無菌操作の基礎知識を学び正しく実施できる。
5. 非経口的栄養摂取の援助の実際を学ぶ。
6. 診察・検査・処置時の看護師の役割と援助方法を説明できる。
7. 生体情報のモニタリングの方法と援助の実際について説明できる。
8. 診療の補助技術における対象者の安全確保、安楽への配慮、対象者を尊重する倫理的行動がとれる。

成績評価方法

中間試験、期末定期試験、小テスト、授業への意欲・態度より総合的に評価します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)			○	○	○		55
小テスト、授業内レポート			○				10
宿題、授業外レポート					○		30
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 授業ガイダンス、感染防止の技術 講義（感染管理・針刺し防止策、無菌操作）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分）【復習】事後レポート（感染経路別予防策、無菌操作）（30分）担当：金子真弓	
2) 安全確保の技術 講義（誤薬・チューブ類の事故・誤認・転倒転落防止、薬剤・放射線曝露防止）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分）【復習】事後レポート（チューブ類の事故防止）（30分）担当：金子真弓	
3) 創傷管理技術 講義（創傷管理の基礎知識、創傷処置、褥瘡予防）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分）【復習】事後レポート（創傷治療過程と看護）（30分）担当：金子真弓	
4) 感染防止技術の実際 演習（滅菌手袋着脱、ガウンテクニック、包帯法）【予習】動画視聴・事前レポート（滅菌手袋着脱、ガウンテクニック）（30分）【復習】演習事後レポート（30分）（金子真弓、福岡泰子、磯村由美）	グループワーク
5) 4)に同じ	グループワーク
6) 診察・検査・処置における技術（1） 講義（診察・検査・処置の介助、画像検査、心電図検査）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分）【復習】事後レポート（心電図検査）（30分）担当：金子真弓	小テスト
7) 感染防止技術の実際 演習（無菌操作、創傷処置）【予習】動画視聴・事前レポート（無菌操作、創傷処置）（30分）【復習】演習事後レポート（30分）（金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名）	グループワーク
8) 7)に同じ	グループワーク
9) 診察・検査・処置における技術（2） 講義（肺機能検査、核医学検査、穿刺）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分）【復習】事後レポート（胸腔穿刺・腰椎穿刺・骨髄穿刺）（30分）担当：金子真弓	
10) 症状・生体機能管理技術 講義（検体検査、生体情報のモニタリング）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分）【復習】事後レポート（検査と評価）（30分）担当：金子真弓	小テスト
11) 食事援助技術 講義（非経口的栄養摂取の援助：経管栄養法、中心静脈栄養法）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分）【復習】事後レポート（中心静脈栄養法）（30分）担当：金子真弓	
12) 検査・処置、症状・生体機能管理技術の実際 演習（穿刺、心電図、フィジカルアセスメント）【予習】動画視聴・事前レポート（心電図）（30分）【復習】事後レポート（30分）（金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名）	グループワーク
13) 12)に同じ	グループワーク
14) 食事援助技術の実際 演習（経管栄養法）【予習】動画視聴・事前レポート（経管栄養法）（30分）【復習】事後レポート（30分）（金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名）	グループワーク
15) 14)に同じ	グループワーク
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきて下さい。</p> <p>演習では、事前課題レポートと事後課題レポートがあります。演習前後の学習を丁寧に行うことで演習の達成度が上がります。事後レポートは、出来た事、出来なかった事、その理由と改善点を記述してください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [2] 基礎看護技術 第18版 医学書院 任 和子：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 第18版 医学書院 竹尾恵子：看護技術プラクティス第4版 学研	看護学概論、基礎看護援助論、人体の構造と機能、薬理・薬剤学、基礎看護学実習（看護導入実習）他

課題に対するフィードバック

事前・事後レポートへのコメントを入れて返却する。

備考

中間試験として、滅菌手袋着脱の実技試験を行う。
本科目の単位修得が基礎看護学実習（看護展開実習）の履修要件となる。

科目名	基礎看護援助論（診療補助技術）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美	関連する資格	看護師	

授業概要

身体に侵襲を伴う診療補助技術について、講義および演習をとおして学ぶ。患者・看護師の安全を確保するために必要な知識、確認行動や観察の仕方、実施の技術を学習する。また、演習での患者役の体験やグループワークをとおして、検査・治療を受ける患者の心理面や生活への影響を考え、看護師の役割を学ぶ。主に、無菌操作を要する導尿・静脈血採血・注射法の技術を繰り返し練習し、技術修得を図る。原則として授業は対面形式で行う。

金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。

福岡泰子・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習について指導を行う。

到達目標

B2402

1. 身体侵襲を伴う診療補助技術の方法・留意点・観察内容について、人体の構造と機能をふまえて説明できる。
2. 身体侵襲を伴う診療補助技術を行ううえでの事故防止の方法を説明できる。
3. 身体侵襲を伴う看護技術を行う際の患者の心理面・生活への影響と援助を説明できる。
4. モデルを用いて、導尿・浣腸・酸素療法・吸引・静脈血採血・注射法の実施ができる。
5. 看護における学習支援の方法を説明できる。

成績評価方法

実技試験、筆記試験、事前・事後レポート、小テスト、授業参加度より総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							55
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、排泄の援助技術 講義（導尿・浣腸・摘便） 【予習】腎泌尿器系の構造と機能の復習・基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】事後レポート（排泄援助）（30分）担当：金子真弓	
2) 呼吸を整える技術 講義（酸素療法、吸入、排痰ケア、吸引） 【予習】呼吸器系の構造と機能復習、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】酸素療法中の生活と管理、酸素ボンベの残量計算(30分)担当：金子真弓	
3) 症状・生体機能管理技術 与薬の技術 講義（採血、与薬の基礎知識、経口与薬、外用薬） 【予習】血液の成分と機能の復習、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】採血・与薬における事故防止策（30分） 担当：金子真弓	
4) 与薬の技術 講義、（注射の基礎知識、皮内注射、皮下注射、筋肉内注射） 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】皮内・皮下・筋肉内注射における事故防止（30分） 担当：金子真弓	小テスト
5) 排泄の援助技術 演習（一時的導尿） 【予習】動画視聴・事前レポート（一時的導尿の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク
6) 5)に同じ	グループワーク
7) 排泄の援助技術 演習（浣腸） 【予習】動画視聴・事前レポート（グリセリン浣腸）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分）担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
8) 排泄の援助技術 演習（持続的導尿） 【予習】動画視聴・事前レポート（持続的導尿）（30分）【復習】演習事後レポート（30分）担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名	グループワーク
9) 8)に同じ	グループワーク
10) 与薬の技術 講義（静脈内注射、点滴静脈内注射、側管注射） 【予習】点滴静脈内注射部位の構造、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】点滴静脈内注射における生活への影響と看護（30分） 担当：金子真弓	
11) 呼吸を整える技術 演習（酸素療法、吸入、吸引）【予習】動画視聴・事前レポート（酸素療法・吸入・吸引の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分）担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名	グループワーク
12) 12)に同じ	グループワーク
13) 与薬の技術 講義（輸血管理） 【予習】血液の成分と機能、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】輸血用血液製剤の管理と副作用(30分) 担当：金子真弓	
14) 救命救急処置技術・死の看取りの援助 講義 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】看取りの援助レポート（30分） 担当：金子真弓	
15) 看護における学習支援 講義 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事例を用いた学習支援レポート（30分） 担当：金子真弓	小テスト
16) 症状・生体機能管理技術 演習（静脈血採血演習）【予習】動画視聴・事前レポート（静脈血採血の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク
17) 16)に同じ	グループワーク
18) 与薬の技術 演習（皮下注射・筋肉内注射）【予習】動画視聴・事前レポート（皮下・筋肉内注射の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク
19) 18)に同じ	グループワーク
20) 与薬の技術 演習（点滴静脈内注射）【予習】動画視聴・事前レポート（点滴静脈内注射の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク

21) 20) に同じ	グループワーク
22) 与薬の技術演習（静脈内注射・側管注射）【予習】事前レポート（静脈内注射の方法と観察）（30分）【復習】事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク
23) 22) に同じ	グループワーク
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

各演習項目について、事前課題、演習事後レポートがある。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
任和子：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（3）基礎看護技術 第18版,医学書院 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（2）基礎看護技術 第18版,医学書院 竹尾恵子：看護技術プラクティス第4版，学研	看護学概論、基礎看護援助論・・・、基礎看護学実習（看護導入実習）、人体の構造と機能、薬理・薬剤学、疾病論・・・、臨床看護総論、他

課題に対するフィードバック

事前・事後レポートへのコメントを入れて返却する。

備考

中間試験として、一時的導尿の実技試験を行う。
本科目の単位修得が、基礎看護学実習（看護展開実習）の履修要件となる。

科目名	看護過程論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	後期
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美	関連する資格	看護師	

授業概要

看護を計画的・系統的に実践するための思考過程を学修する。看護の対象である個人を生活者として総合的に理解するためのアセスメント・看護問題の明確化（看護診断）、問題解決のための計画立案・実施・評価の方法を学ぶ。その際、人間・健康・環境・看護の概念、看護理論や看護技術等の看護学の知識と、疾病・治療に関する医学的な知識を統合することが必要となる。

また、紙上事例における看護過程の展開をグループで検討し、論理的な思考力を養うとともに、課題の遂行に必要な協調性を養う。科目の履修をとおして、対象の健康問題とそれに伴う反応や生活について、相互影響的なものの見方を身につけ、自分自身の看護観および人間観の構築につなげていく。

原則として、授業は対面形式で行う。

金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。

福岡泰子・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習について指導を行う。

到達目標

B2210

1. 看護過程とは何か、および看護過程の意義を説明できる
2. 看護過程の構成要素とその内容を説明できる。
3. 看護に必要な情報と情報収集の方法を説明できる。
4. 看護に必要な情報の分析と統合の方法を説明できる。
5. 看護診断の方法と表記の仕方を説明できる。
6. アセスメント・看護診断に基づく看護計画立案の方法を説明できる。
7. 看護過程における評価の方法を説明できる。
8. 看護記録の目的・構成・記載と管理上の留意点を説明できる。
9. 紙上事例におけるアセスメント・診断・計画立案ができる。
10. 演習をとおして看護における情報収集の仕方を学ぶ。

成績評価方法

定期試験、小テスト、課題、グループワーク、授業参加状況によって、総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)			○		○		40
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							35
授業態度・授業参加度	○	○					5
プレゼンテーション			○	○	○		5
グループワーク			○	○	○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ガイダンス、看護過程の概要 担当者：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読(30分) 【復習】テキストや授業資料のまとめ(30分)	
2)	アセスメント（情報収集、情報の分析） 担当者：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読(30分) 【復習】テキストや授業資料のまとめ(30分)、事例の疾患学習(30分)	授業外レポート
3)	アセスメント（関連図と統合） 担当者：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読(30分) 【復習】テキストや授業資料のまとめ(30分)	
4)	看護診断 担当者：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読(30分) 【復習】NANDA-I「看護診断の活用」の章を熟読する(30分)	
5)	看護診断と共同問題 担当者：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読(30分) 【復習】テキストや授業資料のまとめ(30分)	
6)	計画立案 担当者：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読(30分) 【復習】テキストや授業資料のまとめ(30分)	
7)	計画立案の実際、看護過程演習ガイダンス 担当者：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読(30分) 【復習】演習事例の病態・治療・看護の学習(60分)	授業外レポート
8)	実施・評価（看護介入の実施と記録、看護要約）、看護記録 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読(30分) 【復習】演習事例のアセスメント(30分)	
9)	事例演習（事例のアセスメント） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例のアセスメント(60分) 【復習】演習事例の関連図(30分)	授業外レポート グループワーク
10)	事例演習（事例の全体像の理解） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例の関連図(60分) 【復習】演習事例のア関連図の修正(30分)	授業外レポート グループワーク
11)	事例演習（看護診断） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例の看護診断(30分) 【復習】演習事例のアセスメント・診断過程の修正(30分)	授業外レポート グループワーク
12)	事例演習の発表（看護診断までの過程） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例のアセスメント・診断過程発表準備(60分) 【復習】演習事例の看護計画(30分)	グループワーク
13)	事例演習（計画立案） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例の看護計画(30分) 【復習】演習事例の看護計画修正(30分)	授業外レポート グループワーク
14)	事例演習（情報収集の実際） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例に必要な観察・測定・コミュニケーション技術の復習(30分) 【復習】得られた情報の分析(30分)	授業外レポート グループワーク
15)	事例演習（援助の実際）、まとめ 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例の援助計画と援助技術の復習(30分) 【復習】援助後の実施記録と評価(30分)	授業外レポート グループワーク
授業外学習		
事例を用いながら、看護過程を展開する基礎的な力を養っていきます。そのため、事例の疾患について、病態生理・症状・治療・看護の学習が欠かせません。さらに、看護過程の全ての段階で、考え、表現する力が必要です。個人での課題に取り組んだうえで、グループワークを行います。活発なグループワークを行うためにも、事前の個人ワークを充実させてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座専門 基礎看護技術 第17版、医学書院 NANDA-I看護診断定義と分類2021-2023、医学書院		看護学概論、基礎看護援助論、臨床看護総論、看護理論、ヘルスアセスメント、人体の構造と機能 . .、疾病論 . .、薬理・薬剤学、基礎看護学実習 . . 等

課題に対するフィードバック

提出された課題は、教員が確認しコメントを入れて返却します。また、グループワークで検討しながら理解を深め、グループ発表を行います。

備考

授業は受け身でなく、自らが質問をするなど積極的に学ぶ姿勢で臨んでください。
課題や討議を通して、看護過程展開の基礎を学んでいきます。
本科目の単位修得が基礎看護学実習（看護展開実習）の要件となります。

科目名	家族論・家族関係論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	前期
担当者名	安成 智子	関連する資格	看護師 保健師	

授業概要

本授業は対面で実施する。

家族の定義、機能について学び、現代の家族が抱える問題について考察する。さらに、家族を看護の対象とすることの意義・役割を考え、家族看護の実践方法について理解を深める。

安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、家族を含めた対象の捉え方やその看護について授業を行う。

到達目標

B2301h

1. 家族とは何か、家族の機能とは何かについて理解する。
2. 現代の家族が抱える問題について、その背景や要因について探求する。
3. 家族を看護の対象として捉える必要性を理解し、得られた情報からアセスメントすることができる。

成績評価方法

定期試験(70点)、授業内レポート(ワークシート)(30点)を総合して評価する。科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験・追加レポートは実施しない。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「家族とは」「家族看護とは」「家族の形態(国民生活基礎調査から読み取る世帯構造別の特徴と年次推移)」(安成) 【予習】シラバスを見ておくこと(10分) 【復習】講義内容の復習(20分)	
2) 「民法における家族」「家族周期」「家族看護のニーズ」(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	小テスト
3) 家族を理解するためのポイント(ジェノグラム、エコマップ)(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】ワークシート記載(30分)	ワークシート(自分自身のジェノグラムとエコマップを描く)
4) 家族アセスメントモデルの理解(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
5) 家族アセスメントモデルを用いた事例の分析 (安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
6) 家族アセスメントモデルを用いた事例の分析 (安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】ワークシート記載(30分)	ワークシート(モデルに基づき、事例の分析を行う)
7) 家族に関する看護過程の展開 (安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】ワークシート記載(60分)	
8) 家族に関する看護過程の展開 (安成) 【予習】ワークシート記載(30分) 【復習】ワークシート記載(60分)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業前後に、関連する白書や統計資料を提示することがあります。予習・復習に活用してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜配布します。 1) 鈴木和子・渡辺裕子著、家族看護学 理論と実践、日本看護協会出版会 2) 山崎あけみ・原礼子編、家族看護学 改訂第3版 臨床場面と事例から考える 南江堂	

課題に対するフィードバック

ワークシートは、採点后返却します。

備考

科目名	臨床看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	前期
担当者名	福岡 泰子、金子 真弓、磯村 由美	関連する資格	看護師	

授業概要

健康障害を持つ対象を理解し、状態に応じた看護について学ぶ。看護の基本として、多様な健康上のニーズを持つあらゆる発達段階・健康段階にある人を生活者、家族の視点から捉え、基本的な看護学の知識や技術を統合し、実践で活用するためのプロセスを学ぶ。

福岡泰子は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を対面で行う。

金子真弓・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目の一部の授業を対面で行う。

到達目標

B2214

1. 臨床看護の場や看護の対象となる人々の特徴を説明することが出来る。
2. 健康障害のレベルと経過に応じた看護について説明することが出来る。
3. 主要な症状と看護について説明することが出来る。
4. 主要な治療と看護について説明することが出来る。
5. 臨床看護に臨む上での心得、看護の役割について説明することが出来る。
6. 主要な症状を示す対象者を考慮した日常生活援助技術を実施できる。

成績評価方法

期末定期試験60%
小テスト15%
レポート・宿題15%
グループ学習への参加度10%

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)			○	○	○		60
小テスト、授業内レポート			○	○	○		15
宿題、授業外レポート				○	○		15
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 臨床看護総論ガイダンス 健康上のニーズを持つ対象者と家族への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
2) 家族の機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ 生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
3) 健康状態の経過に基づく看護 *健康の維持・増進を目指す看護 *急性期における看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
4) *慢性期における看護 *リハビリテーション期における看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】レポート作成（60分）（担当：福岡泰子）	
5) *終末期における看護 *コーピングに関連する症状を示す対象者への看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：磯村由美）	授業内レポート
6) 主要な症状を示す対象者への看護 *呼吸に関連する症状および循環に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	小テスト（個人・家族・場・健康状態に基づく看護）
7) *栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護 *排泄に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：金子真弓）	
8) *活動や休息に関連する症状を示す対象者への看護 *認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
9) *安全や生体防御機能に関連する症状を示す対象者への看護 *安楽に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
10) 主要な症状を示す対象者への日常生活援助技術【予習】教科書に該当する箇所を読む・グループワークの事前課題（60分）【復習】グループ課題の復習（60分）（担当：福岡泰子）	小テスト（症状を示す対象者への看護）、宿題、グループワーク
11) 主要な症状を示す対象者への日常生活援助技術【予習】教科書に該当する箇所を読む・グループワークの事前課題（60分）【復習】レポート作成（60分）（担当：福岡泰子）	グループワーク、授業外レポート
12) 治療・処置を受ける対象者への看護 *輸液療法および化学療法を受ける対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
13) *放射線療法を受ける対象者への看護 *手術療法を受ける対象者への看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
14) *集中治療を受ける対象者への看護 *創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
15) 身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護 測定用・治療用医療機器の原理と実際と使用時の看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	小テスト（検査・治療を受ける対象者への看護）
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください(30分程度の予習時間)。授業計画に沿って、レポート・小テストを行います。小テストは返却しませんので、終了後必ず自分でテスト内容について調べてください。毎回の授業内容は、講義資料、テキストを復習して下さい(60分程度の復習時間)。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
香春知永他編集：系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 基礎看護学 医学書院 2022	基礎看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、在宅看護学、精神看護学、他

課題に対するフィードバック

出席カードのコメント欄に授業の感想や質問など記入してください。またレポートや試験についても解説が必要なものも同様に学生が共有できるよう、授業の冒頭で紹介します。

備考

本科目の修得により、臨地実習に必要な知識の土台を習得することが出来ます。

科目名	看護情報学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	後期
担当者名	福岡 泰子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

看護活動に必要な看護情報に焦点を当て、看護情報とは何か、看護と情報科学の関連や医療情報システムおよび看護情報システムの概要、看護過程や看護記録との関連について学ぶ。また看護記録などからの看護情報の検索・蓄積・伝達について基本的な事柄を学び、医療情報システムのあり方を知る。
(福岡泰子は看護師としての経験に基づいて対面で授業を行う)

到達目標

【B2101】

1. 看護情報学の概念を説明できる
2. 看護情報における倫理と法、情報リテラシーの意義を説明できる
3. 医療情報システムについて活用方法を説明できる
4. 医療・看護用語の標準化の意義を説明できる
5. 医療・看護においての情報技術の革新について考察できる

成績評価方法

定期試験と中間試験（小テスト）、レポートやグループワーク、授業における積極的な態度を基に総合的に評価します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート	○	○			○		10
宿題、授業外レポート	○	○			○		10
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		5
プレゼンテーション	○			○	○		5
グループワーク	○			○	○		
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護情報学の概要と看護におけるデータ・情報の特徴 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）	
2) コンピュータリテラシーと情報リテラシー 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）	
3) 情報倫理と法 情報倫理、プライバシーと守秘義務 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）	
4) 情報倫理と法 個人情報保護、患者情報の取り扱い 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）	
5) 医療情報システム 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）	中間試験
6) 医療・看護用語の標準化 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）	レポート
7) 看護における情報システム：遠隔看護（GW） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】次回のGWを円滑に行うためにテーマについて調べる（60分）	グループワーク
8) 看護における情報システムの活用例（GW） 【予習】GWを円滑に行うためにテーマについて調べる（30分）【復習】他のグループのテーマについて分らなかったことを調べる（60分）	グループワーク
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
出席カードのコメント欄に授業の感想や質問など記入してください。またレポートや試験についても解説が必要なものも同様に学生が共有できるよう、授業の冒頭で紹介します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
太田勝正、前田樹海：エッセンシャル看護情報学2024年度版、医歯薬出版株式会社	情報処理演習、倫理学、看護学概論、医療安全管理学、看護過程論、その他各実習に含む

課題に対するフィードバック

試験は返却しません。各自で復習を行ってください。

備考

科目名	医療安全管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	後期
担当者名	福岡 泰子、立川 美香	関連する資格		

授業概要

医療安全(リスクマネジメント)および感染制御(インフェクションコントロール)は、医療関連施設での最重要事項であり、チーム医療が必須である。本講座では、多職種からの講義により、医療安全および感染制御に対する基本的知識・技術を身につける。

福岡、立川は看護師実務経験をもとに、尾家は薬剤師経験をもとに講義・演習を対面で行う。

到達目標

【B2403】

1. 医療安全の原理・原則を述べることができる。
2. KYT(危険予知トレーニング)から危険ストーリーを考えられる。
3. 医療事事故例の分析の演習を通して、事故の背景要因や対策をグループで討論することができる。

成績評価方法

1. 定期試験(60%)
2. 小テスト、授業内レポート(20%)
2. 授業中の討議の発言や積極性・授業態度(10%)
3. グループワーク(10%)

評価項目	評価基準						評価割合(%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)				○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、事故防止の考え方、医療事故とヒヤリハット（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	
2) 医療安全対策の制度、組織的な安全管理体制（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	
3) 診療の補助業務における医療事故（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	
4) 療養上の世話における医療事故（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む30分）	テスト
5) 危険予知トレーニング（福岡・立川） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む30分）	グループワーク・レポート
6) 医療関連感染とその予防、労働安全上の事故防止（尾家） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む30分）	
7) 看護学生のインシデント、医療安全とコミュニケーション（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	
8) インシデント事例を用いた事故分析：RCA（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	グループワーク・レポート
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>授業資料のファイルを毎回持ってきてください。 第1回目は教材の序章を読んでください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 統合分野、看護の統合と実践 [2]、医療安全、川村治子 著 医学書院	看護学概論、人間関係論、微生物学、コミュニケーション論、看護情報学

課題に対するフィードバック

出席カードのコメント欄に授業の感想や質問など記入してください。またレポートや試験についても解説が必要なものも同様に学生が共有できるよう、授業の冒頭で紹介します。

備考

授業の出欠席は出席確認カードでチェックします。
試験の受験資格に伴う欠席回数について教員からお知らせや注意はしませんので、各自で管理してください。

科目名	基礎看護学実習（看護導入実習）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	1	1年	後期
担当者名	磯村 由美、福岡 泰子、金子 真弓	関連する資格	看護師	

授業概要

< 実習目的 >
 患者の生活や治療の場である病院とその機能を理解するとともに、対象の日常生活の理解を深め、看護の機能と役割について学ぶ。また、対象とコミュニケーションを図る能力を養うとともに、看護師としての基礎的能力を養う。病院にて1週間の実習を行う。
 磯村由美・福岡泰子・金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに、本科目の実習指導を行う。

到達目標	成績評価方法
B1403ay 1. 看護実践の場である病院・病棟・病室の概要について述べるができる。 2. 臨床の場における看護師の業務や役割について述べるができる。 3. 患者の療養生活について知ることができる。 4. 臨床の場における患者との円滑なコミュニケーション方法について述べるができる。 5. 看護師に必要な態度を身につけることができる。 6. 実習体験をとおして、看護学生としての学びを深めることができる。 7. カンファレンスをとおして、学びを振り返り、グループメンバーと共有できる。	・基礎看護学実習 評価表（別紙）に基づき、実習内容・実習記録内容などを総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート					○		15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○						
グループワーク	○						
演習	○	○	○	○	○		
実習							85

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1. 実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学内事前オリエンテーションにより、実習の目的・目標を明確化する。 2) 病院・病棟オリエンテーションにより、病院・病棟の構造と機能について学ぶ。 また、臨床の場における看護師の業務や役割について学ぶ。 3) 病院実習をとおして入院患者の療養生活について知る。 4) 患者との円滑なコミュニケーション方法を学ぶ。 5) 看護師に必要な態度を身につける。 6) まとめの会をとおして、学びを振り返り、グループメンバーで学びを共有する。 <p>2. 実習方法</p> <p>前半・後半のクラスに分かれて履修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学内オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・実習目的・方法の説明、実習心得、身だしなみ、記録物、事前課題の説明。 ・感染予防対策・コミュニケーション技法の復習。 2) 病院・病棟オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・実習病院の機能や看護の概要について説明をうける。 ・病院・病棟の構造、物品場所、入院患者の特徴、看護体制、週間予定、日課などについて説明を受ける。 3) 看護活動の見学 <p>方法...看護師に同行しながら看護活動の見学を行う。</p> <p>内容...実施されている日常生活援助及び診療の補助に関する援助を見学する。 事前学習をして臨み、実際の援助場面の見学をとおして、実施されている看護援助の意義について理解を深める。</p> <p>留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたい視点を明確にし、根拠を考えながら見学する。 ・疑問等は調べる・確認する・聞くなどの積極的な行動をとる。 ・プライバシーの保護・倫理的配慮を遵守する。 4) 患者とのコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者と看護師とのコミュニケーション場面の見学をとおして、円滑なコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・学習したコミュニケーション技術を基に、実際に入院患者とコミュニケーションを図る。 ・入院患者の療養生活の状況、生活上の支障やそれらに伴う思いについて知る。 5) 実習最終日にまとめの会を行い、他学生と学びを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護実践の場に立つことの責任を自覚し、事前学修（知識・技術）を十分に行って実習に臨むこと。 ・大学で学んだことを活用しながら、現象を多面的に捉える能力・思考する能力・伝える能力を養うようにグループワークや実習に臨むこと。
授業外学習	
<p>実習は前半・後半のクラスに分けて行う。自分が該当しない週は、自己学修時間として有効に活用すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習ガイドブック、その他関連配布資料 ・教科書（基礎看護技術 ・ 、看護技術プラクティス） ・看護学概論、基礎看護援助論 の配布資料、参考書 	<p>看護学概論、基礎看護援助論 . . .</p>

課題に対するフィードバック

事前課題、実習記録、実習後レポートはコメントをつけて返却する。修正が必要な場合は再提出を求める。

備考

実習前に指示された抗体価検査を実施し、必要に応じてワクチンの接種を受けること。

科目名	基礎看護学実習（看護展開実習）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	2年	後期
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美	関連する資格	看護師	

授業概要

援助の人間関係をとおして、対象の健康問題を総合的に把握し、問題解決できる基礎的能力を養う。また、看護実践を通して自己を見つめ、看護観を深める。病院にて2週間の実習を行う。

<実習目的>

患者とのコミュニケーションや観察、診療記録等からの情報収集の実際を学び、患者理解を図る。患者の問題解決にむけた計画立案・実践を行いながら看護のプロセスを学ぶ。

金子真弓・磯村由美・福岡泰子は、看護師としての実務経験をもとに、本科目の実習指導を行う。

到達目標

B2403ay

1. 患者との関係を築くコミュニケーションを図ることができる。
2. 患者の健康維持・回復を促すために必要な情報収集ができる。
3. 得た情報を解釈し、原因・誘因や推論を含めた分析ができる。
4. 解決すべき看護問題を明確にすることができる。
5. アセスメント・診断の過程を活かした看護計画を立案できる。
6. 立案した看護計画をもとに患者に応じた援助を実施し、評価できる。
7. 看護学生として誠実な態度がとれる。
8. 看護実践をもとに、看護について考えることができる。

成績評価方法

実習目標の達成状況、レポート、実習態度を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1. 患者との関係を築くコミュニケーションを図ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の病状や心理面を考慮しながら患者・家族と関わる。 表情、声の大きさ・トーン、顔つき、態度など、コミュニケーション技術を活用する。 自己の言語的・非言語的コミュニケーションを考察する。 <p>2. 患者の健康維持・回復を促すために必要な情報収集ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療記録、患者・家族とのコミュニケーション、観察、測定、医療チームからの情報収集を行う。 主観的情報と客観的情報の双方を含めて情報を得る。 患者の意思や希望、サポートや強みも含めて情報を得る。 得た情報を分類・整理して報告する。 <p>3. 得た情報を解釈し、原因・誘因や推論を含めて分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準値や理論、安寧や個人の習慣や希望の観点を含めて情報を解釈する。情報をその原因や誘因の観点を含めて分析する。今後起こり得る状況を推測する。 病態・治療・生活行動・心理社会面・問題を含めて患者の全体像の理解を図る。 <p>4. 解決すべき看護問題を明確にすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護上の問題と優先順位を決定する。 <p>5. アセスメント・診断の過程を活かした看護計画を立案できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題の解決にむけ、具体的で達成可能な目標を検討する。 問題の解決、目標達成のための観察計画・治療計画・教育計画を検討する。 援助の具体的な計画を記載する。 <p>6. 立案した看護計画をもとに患者に応じた援助を実施し、評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画通りに実施して良いか事前の観察を行い、説明と同意を得て行う。 プライバシーの保護、患者の安全に留意して援助を行う。 コミュニケーションや観察をしながら援助を行う。 <p>7. 看護学生として誠実な態度がとれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康管理を徹底し、感染防止対策を遵守する。 意思表示をはっきり行い、曖昧なまま行動せず確認する。 学生同士や指導者との情報共有を行う。 実習中に知り得た個人情報、実習中・後も漏洩しない。 <p>8. 看護実践をもとに、看護について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の理解や看護の実践について、自らの体験を踏まえてテーマを決めて考察する。 文献を用いながら自分の考えを意味づけする。 	<p>実習前のグループ演習 実習中のグループカンファレンス 実習後のグループカンファレンス</p>
授業外学習	
<p>実習前に、看護過程論の授業の復習を再度行う。また、実際の実習場所における代表的な健康障害と看護について理解する。バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント技術、日常生活援助技術の復習を行い、対象を想定した技術練習を行う。実習期間中は、患者の情報の分析・診断、計画の立案を具体的にを行い、また実施した援助の考察をとおして看護実践の基礎的能力を養う。実習後は、看護の実践過程や看護の役割について考察しレポートとしてまとめる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>T. ヘザー・ハードマン, 上鶴重美編, 日本看護診断学会監訳 : NANDA-I看護診断定義と分類, 医学書院. 茂野香おる, 系統看護学講座専門分野 基礎看護学[2]基礎看護技術, 医学書院.</p>	<p>看護学概論、基礎看護学援助論 . . . 、看護理論、臨床看護総論、看護過程論、ヘルスアセスメント、医療安全管理学、基礎看護学実習（看護導入実習）、人体の構造と機能、疾病論 . . . 、薬理・薬剤学 他</p>

課題に対するフィードバック

実習前の課題、実習中の記録物、実習後レポートについてはコメントをつけて返却する。追加修正が必要な場合は、再提出を求め、実習到達目標の達成を図る。

備考

科目名	公衆衛生看護学概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	前期			
担当者名	立川 美香、山崎 千鶴代、新開 奏 恵、山本 博美		関連する資格	看護師 保健師			
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・授業は対面でおこなう ・公衆衛生看護活動を理解するため、公衆衛生看護およびヘルスプロモーションの概念に基づいた活動原則と方法を学ぶ。 ・公衆衛生看護の対象となるすべてのライフステージにおける個人・家族・集団・地域社会の視点からの看護活動の意義、目的、役割を探究する。 ・授業内容により、学生相互でディスカッションやグループ学習を通して、公衆衛生看護活動の理解を深める。 <p>『実務経験』立川美香・山崎千鶴代・山本博美・滝川洋子は保健師実務経験をもとに、公衆衛生看護活動全般の授業を行う。 新開奏恵は養護教諭実務経験をもとに、学校保健の授業を行う。</p>							
到達目標 『B2501h』 1. 公衆衛生看護の基本的な考え方（エビデンス含む）と活動の場、役割・活動方法を理解し説明できる。			成績評価方法 授業態度・授業参加度 レポート内容 定期試験結果 上記を基準として総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート				○			10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	保健師と公衆衛生看護活動 立川美香 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
2)	公衆衛生看護の理念 立川美香 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
3)	公衆衛生看護学の歴史 立川美香 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
4)	社会の変化と健康課題 立川美香 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング 授業内レポート
5)	公衆衛生看護活動の展開の基盤 立川美香 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
6)	公衆衛生看護活動の展開方法 立川美香 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
7)	公衆衛生看護の対象と場 山本博美 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
8)	行政（保健センター）における公衆衛生看護活動 山本博美 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
9)	行政（保健所）における公衆衛生看護活動 山崎千鶴代 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
10)	学校（学校保健）における公衆衛生看護活動 新開奏恵 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
11)	職域（産業保健）における公衆衛生看護活動 立川美香 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング 授業内レポート
12)	健康危機管理 山崎千鶴代 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
13)	保健施策の計画・実施・施策化 滝川 洋子 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
14)	公衆衛生看護管理 滝川 洋子 「予習」テキスト第8章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
15)	公衆衛生看護活動の実際 まとめ 滝川 洋子 「予習」今までのテキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分） 「復習」レポート作成(60分)	アクティブラーニング
授業外学習		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。 ・ レポートは提示された形式に沿ってまとめ、提出日時は守ること。 ・ 地域のボランティア活動に積極的に参加すること。 		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
公衆衛生看護学概論 医学書院		コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、家族論・家族関係論、在宅看護総論、在宅看護援助論、ターミナルケア論、総合ゼミナール、災害看護論、チーム医療論、保健医療福祉行政論

課題に対するフィードバック

備考

授業の出欠は出席カード等で確認します。欠席した場合は資料は後日研究室に取りに来てください。
出席日数は各自で管理してください。欠席日数等の問い合わせには応じることはできません。
授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席とします。
授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。

科目名	在宅看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。在宅看護論の総論として、在宅看護援助論および在宅看護論実習の基礎となる理念や問題を学習する。ここでは、在宅看護を支える法律やシステム・理論を理解し、それらを使用して看護師として在宅で暮らす療養者とその家族を支援していく方法を理解する。疾病や障害、虚弱のために看護ニーズをもつ在宅療養者とその家族の特徴について理解し、療養者や家族を支える方法を学習するとともに、社会情勢の変化に即した在宅看護のあり方について学習する。清水佑子は、介護老人保健施設の実務経験をもとに、在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険、他職種との連携とケアマネジメントについて授業を行う。

到達目標

B2502hy

1. 在宅看護の歴史、背景、目的、対象について述べることができる。
2. 在宅看護における活動の場の特徴について述べるができる。
3. 在宅療養を支える他職種や他機関の連携、ケアマネジメントの必要性について述べるができる。
4. 在宅療養を支える制度、ケアシステム、社会資源および保健・医療・福祉専門職の役割について述べるができる。
5. 在宅看護の課題と展望について自己の意見を述べ、グループで協力して発表できる。

成績評価方法

期末定期試験
小テスト
授業内レポート
授業態度・授業参加度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅看護の概念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
2) 在宅看護の倫理と基本理念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
3) 在宅療養者と家族の支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	小テスト 出席カード
4) 訪問看護の特徴、役割と機能（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
5) 在宅ケアを支える訪問看護ステーション（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
6) 訪問看護の実際（学外講師）【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	出席カード
7) 在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
8) 地域包括ケアシステムと在宅ケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
9) 他職種との連携とケアマネジメント（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
10) 在宅ケアシステムの実際（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
11) 病院と家庭をつなぐ退院支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
12) 高齢者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
13) 要介護高齢者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
14) 障害者の在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
15) 障害者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
16) 在宅難病療養者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
17) 難病療養者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
18) 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
19) 子どもに対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
20) 在宅看護の対象者の理解（学外講師）【予習】これまでの療養者に対する制度と看護を振り返っておく。30分【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	出席カード

21)	在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
22)	認知症に対する在宅看護と高齢者虐待（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
23)	在宅療養における住宅改修・福祉機器の活用（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
24)	在宅リハビリテーション（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
25)	在宅ターミナルケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
26)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】在宅看護の課題と展望について調べてくる。30分【復習】テーマに沿って内容を調べる。30分	授業内レポート課題
27)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	小テスト グループワーク
28)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	グループワーク
29)	在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分	プレゼンテーション
30)	在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分 講義のまとめ（清水）	プレゼンテーション

授業外学習

授業計画に沿って、教科書を熟読してきてください。

奇数回の授業開始時、小テスト（前回講義内容）があります。講義資料、教科書を復習してください。

在宅看護の展望と課題について個人で調べ、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア 株式会社メディカ出版</p> <p><参考書> ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術、メディカ出版。</p>	<p>公衆衛生看護学概論，社会保障論，社会福祉論，看護学概論，看護理論，家族論・家族関係論，成人看護総論，小児看護総論，老年看護総論，精神看護総論</p>

課題に対するフィードバック

小テストは採点后返却します。

プレゼンテーション後は、内容について講義中にコメントします。

出席カードに記載されていた質問についてや書かれていた内容に対しては、翌週の講義の際にコメントします。

備考

科目名	在宅看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

対面にて授業を行う。在宅療養者とその家族に対する看護実践のために必要な生活ケアと医療的ケアについて、知識・技術を理解する。

在宅看護論実習の基盤となる科目として、技術内容とその根拠を理解する。また在宅療養者を援助する方法をイメージできるように、事例を通して療養者と家族の問題をアセスメントし、問題を抽出し、問題解決のために必要と考えられる方法、社会資源を考える。

清水佑子は、介護老人保健施設の実務経験をもとに、在宅における生活ケア、医療的ケアについて授業を行う。

到達目標

B3501h

- 療養者や家族と信頼関係を形成するための方法について述べるができる。
- 在宅における生活ケアについて具体的に述べるができる。
- 在宅における医療的ケアについて具体的に述べるができる。
- 在宅におけるリスクマネジメントの必要性について理解できる。
- 在宅看護過程を展開し、事例に応じた対象の問題や課題を明確にできる。

成績評価方法

小テスト
授業内レポート
授業・グループワークへの意欲・態度

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅におけるコミュニケーション（清水）【予習】基礎・老年看護学で学んだコミュニケーションに関する資料を見る。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。ロールプレイングの準備。30分	出席カード
2) 初回訪問時の面接技術（清水）映像の視聴をふまえて、在宅へ訪問する際の留意点をまとめる。30分	ロールプレイ 出席カード
3) 在宅における生活ケアと医療的ケア/在宅における援助技術 食と栄養のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
4) 在宅における援助技術 排泄のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。30分	小テスト 出席カード
5) 在宅における援助技術 清潔 移動のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
6) 在宅における援助技術 呼吸のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
7) 在宅における援助技術 服薬管理（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
8) 在宅における援助技術 感染予防の援助（清水）【予習】基礎看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
9) 在宅における援助技術 良肢位の保持と褥瘡予防（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
10) 在宅看護過程の考え方（清水）【予習】基礎看護学で学んだ看護過程の方法の振り返り。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
11) 看護過程の展開(1)在宅看護過程の考え方（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
12) 看護過程の展開(2)（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
13) 看護過程の展開(3)（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク・グループワーク
14) 看護過程の展開(4)（清水）【予習】グループワークで発言できるよう準備する。30分【復習】グループワークで行った看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 グループワーク
15) 看護過程の展開(5)まとめ（清水）【予習】グループでプレゼンテーションの準備をする。30分【復習】プレゼンテーションをふまえて事例の療養の課題を明確にし、全授業の振り返りをする。30分	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストを熟読してきてください。 小テストがあります。講義資料、教科書を復習してください。 13)までにレポートを作成し、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア 株式会社メディカ出版 <参考書> ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術，メディカ出版・正野逸子他編；在宅看護過程第2版，メヂカルフレンド社。</p>	<p>在宅看護総論，家族論・家族関係論・看護過程論，基礎看護援助論，成人看護学総論・援助論・老年看護総論・援助論</p>

課題に対するフィードバック

小テストは、採点后返却します。
出席カードの内容については、翌週の講義の際にコメントします。
授業内レポート課題については、コメントを記載して返却します。

備考

科目名	成人看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	原田 博子	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

対面授業：臨床看護の実践に必要な理論を概観し、成人期（青年期・壮年期・向老期）の特徴、ライフスタイルと健康問題を学ぶ。成人保健の歴史と動向、成人期にみられる主要な健康障害とその要因、健康レベルに応じた看護活動の特徴など成人看護学の総論を学ぶ。原田博子は、看護師・看護管理者としての実務経験をもとに、成人看護学総論について授業を行う。

到達目標

B2404

1. 成人期のある人、すなわち成人/大人の定義・考え方を説明できる。
2. 成人期にある人の生活と健康、健康問題の特徴、健康をはぐくむ保健・医療・福祉システムを説明できる。
3. 成人看護の概要・方針・役割、基本的な看護アプローチを記述できる。
4. 成人期にある人の看護の概要・特徴・役割を言語化し、記述できる。

成績評価方法

- ・ 出欠票・リアクションペーパーを必ず提出してください。
- ・ 授業出席時間が全授業時間の3分の2以上あることが評価の対象です。
- ・ 課題、プレゼンテーション、ノートの内容を評価します。
- ・ 中間・定期試験を実施します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート	○		○				10
宿題、授業外レポート	○	○		○		課題含む	10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション			○	○			5
グループワーク							5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1部 第1章 成人と生活 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	成人の生活について話し合う
2) 第2章 成人の生活と健康A 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	図2 - 12を参照して、健康寿命と平均寿命の差を縮めるための取り組みについて話し合う 小テスト
3) 第2章 成人の生活と健康B 【予習】【復習】これまでと同じ	図2 24を参照して、今後求められる看護師の役割について話し合う
4) 第2部 3章成人への看護アプローチの基本 A～E 【予習】【復習】これまでと同じ	症状マネジメントのために必要な知識や技術について話し合う
5) 第2部 3章成人への看護アプローチの基本 F～I 【予習】【復習】これまでと同じ	意思決定支援における患者・家族に対する看護師の役割について話し合い、発表する
6) 第3部成人の健康レベルや状態に対応した看護 第4章 ヘルスプロモーションと看護 【予習】【復習】これまでと同じ	健康増進の取り組み内容と自分の生活を比較して今後の課題を話し合う
7) 第5章 健康を脅かす要因と看護 【予習】【復習】これまでと同じ	テキスト内容以外にある生活環境の問題には他にどのようなことがあるか話し合う
8) 第6章 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 A B 【予習】【復習】これまでと同じ	急性期の人を受ける医療を自分のこととしてとらえ、どのようなことが課題として挙がるか話し合う
9) 第6章 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 急性期の治療過程にある患者の看護 B 【予習】【復習】これまでと同じ	早期離床の必要性について話し合い、構造化する。レポート課題次回提出
10) 第7章 慢性病とともに生きる人を支える看護 A 【予習】【復習】これまでと同じ	慢性病にはどのような疾患があるか調べて一つの疾患を選び成人への生活についての影響を話し合う
11) 第7章 慢性病とともに生きる人を支える看護 B 【予習】【復習】これまでと同じ	慢性病の人への教育的アプローチの内容から看護師として留意することを話し合う
12) 第8章 障害がある人の生活とリハビリテーション 第9章 人生の最期の時を支える看護A 【予習】【復習】これまでと同じ	人生の最期の人の事例から考えたことを話し合う
13) 第9章 人生の最期の時を支える看護 B 【予習】【復習】これまでと同じ	人生の最期のひとを支えるためのチームアプローチをグループで考え話し合う
14) 第10章 様々な健康レベルにある人の継続的な移行支援 【予習】【復習】これまでと同じ	継続的な移行を支えるために必要な看護について話し合う
15) 第11章 新たな治療法、先端医療と看護 【予習】【復習】これまでと同じ	先端医療を受ける患者・家族の気持ちについて話し合う 第13回で話し合った内容について発表する
授業外学習	
<p>・予習・復習を十分に行ってください。予習は、テキストを事前に読んで重要だと考えた部分にラインを引いてきてください。図や表については、内容を把握してきてください。次回アクティブラーニングの内容を参考に準備してきてください。復習時は授業中に説明したことを踏まえてノートを作成してください。</p> <p>テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。</p> <p>・課題提出、個人/グループでの発表があります。授業外で資料の作成をしてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト:小松浩子他.成人看護学総論16版 医学書院 2023</p> <p>参考文献:・高齢者と成人の周手術期看護 1～5</p>	<p>成人看護学、成人看護学、成人看護学、成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習</p>

課題に対するフィードバック

- ・課題・プレゼンテーション、ノートの内容に適時コメントします。
- ・出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

備考

- ・初回授業で科目のガイダンスを行います。必ず出席してください。
- ・授業の出欠席は、出席票・リアクションペーパーで確認します。
- ・授業開始後の遅刻・早退・途中退室は時間を記載し、記録に残します。その時間を合算し、全授業時間の3分の2以上の出席を満たしているかを確認します。
- ・試験の受験資格は、全授業時間数の3分の2以上の出席です。出欠席管理は、各自、責任をもって行ってください。

- ・本科目は可能な限り事例とともに授業をします。授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	ヘルスアセスメント			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	後期
担当者名	加藤 かすみ、梁元 陽子	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

本授業は対面で実施する。

成人期にある対象の健康状態をアセスメントするためには、身体機能の正常・異常を診るためのヘルスアセスメントの知識と技術が必要である。この授業ではヘルスアセスメントを行うために必要な視点とヘルスアセスメントに必要なフィジカルイグザミネーションの技術を教授する。

加藤かすみ、梁元陽子は、看護師としての実務経験をもとに授業を実施する。

到達目標

【B2405】

- 1.看護におけるヘルスアセスメントの意義について説明できる。
- 2.ヘルスアセスメントに必要な視点を述べるができる。
- 3.ヘルスアセスメントに必要なフィジカルイグザミネーションの技術を修得することができる。

成績評価方法

小テスト、演習、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							16
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							4
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	講義概要の説明 ヘルスアセスメントの意義 情報を得る手段（加藤） 【予習】テキストの序章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
2)	頭部・顔面・頸部、眼・耳・鼻・口腔、皮膚のアセスメント（加藤） 【予習】テキストの第2章、3章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
3)	胸部・呼吸器系のアセスメント（加藤） 【予習】テキストの第4章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
4)	胸部・呼吸器系のアセスメント（加藤） 【予習】テキストの第4章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
5)	心臓・循環器系のアセスメント（梁元） 【予習】テキストの第5章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
6)	心臓・循環器系のアセスメント（梁元） 【予習】テキストの第5章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
7)	腹部・消化器系のアセスメント（加藤） 【予習】テキストの第6章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
8)	腹部・消化器系のアセスメント（加藤） 【予習】テキストの第6章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
9)	筋・骨格系のアセスメント（加藤） 【予習】テキストの第7章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
10)	脳・神経系のアセスメント（加藤） 【予習】テキストの第8章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
11)	心理社会的なアセスメント（梁元） 【予習】心理社会的なアセスメントについて考えてくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
12)	フィジカルイグザミネーションの実際 技術演習（加藤・梁元） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
13)	フィジカルイグザミネーションの実際 技術演習（加藤・梁元） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
14)	フィジカルイグザミネーションの実際 技術演習（加藤・梁元） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
15)	フィジカルイグザミネーションの実際 技術演習（加藤・梁元） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
授業外学習		
授業前は予習としてテキストの指定範囲を読み、授業後は復習として講義のまとめのノート作成を必ず実施して、講義に出席する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：はじめてのフィジカルアセスメント第2版 メヂカルフレンド社		成人看護総論、成人看護援助論、成人看護援助論 成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

小テストの正答はフィードバックする。
リアクションペーパーに記載された内容について、必要時、フィードバックする。

備考

科目名	成人看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	梁元 陽子、加藤 かすみ	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

本授業は対面で実施する。

成人期における疾病の治療総論と疾病を機能形態別にとらえ、その病態を踏まえたアセスメントと患者・家族への看護について教授する。がん、感染症、周手術期、リハビリテーション、集中治療、救急看護等を学ぶ。

梁元陽子、加藤かすみは、看護師としての実務経験をもとに授業を実施する。

到達目標

【B3401】

1. 急性期にある患者と家族の看護について説明できる。
2. 周手術期にある患者と家族の看護について述べるができる。
3. 集中治療を受ける患者と家族の看護について述べるができる。
4. リハビリテーションの特徴と看護について述べるができる。
5. 救急看護について述べるができる。
6. 感染症を持つ患者と家族の看護について述べるができる。
7. がん患者と家族の看護について述べるができる。
8. 手術直後に必要な看護技術が修得できる。
9. 心肺蘇生法が修得できる。
10. 機能障害のある患者の看護について述べるができる。

成績評価方法

小テスト、演習、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							18
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							2
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義概要の説明 急性期にある患者と家族の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
2) 周手術期にある患者と家族の看護 術前の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
3) 周手術期にある患者と家族の看護 術前の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
4) 周手術期にある患者と家族の看護 術中の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
5) 周手術期にある患者と家族の看護 術後の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
6) 周手術期にある患者と家族の看護 術後の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
7) 周手術期にある患者と家族の看護 術後の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
8) 集中治療を受ける患者と家族の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
9) 集中治療を受ける患者と家族の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
10) 救急看護の基礎（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
11) 救急看護の基礎（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
12) 感染症を持つ患者と家族の看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
13) 手術直後の看護、心肺蘇生法の実際 技術演習（梁元・加藤） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
14) 手術直後の看護、心肺蘇生法の実際 技術演習（梁元・加藤） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
15) 感染症を持つ患者と家族の看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
16) 感染症を持つ患者と家族の看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
17) がん患者と家族の看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
18) がん患者と家族の看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
19) 消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
20) 消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト

21) 消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
22) 消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
23) 消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
24) 循環機能障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
25) 循環機能障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
26) 循環機能障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
27) 循環機能障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
28) 運動機能障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
29) 運動機能障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
30) 運動機能障害のある患者の看護 (梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト

授業外学習

授業前は予習としてテキストの指定範囲を読み、授業後は復習として講義のまとめのノート作成を必ず実施して、講義に出席する。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：系統看護学講座 成人看護学 医学書院 [1]成人看護学総論 [3]循環器 [5]消化器 [10]運動器 [11]アレルギー・膠原病 感染症 系統看護学講座 別巻 医学書院 臨床外科看護総論 臨床外科看護各論	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論 成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

小テストの正答はフィードバックする。
リアクションペーパーに記載された内容について、必要時、フィードバックする。

備考

科目名	成人看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	加藤 かすみ、梁元 陽子	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

本授業は対面で実施する。

成人期における疾病を機能障害別にとらえ、その病態を踏まえたアセスメントと患者・家族への看護について教授する。機能別に発症から急性期、回復期、慢性期あるいは終末期までの健康レベルに応じた看護を学ぶ。

加藤かすみ、梁元陽子は、看護師としての実務経験をもとに授業を行う。

到達目標

【B3402y】

- 慢性疾患がある患者と家族の看護について説明できる。
- 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への援助について説明できる。
- 各機能障害の原因と障害の程度のアセスメントについて説明できる。
- 各機能障害における検査・処置を受ける患者の看護について述べることができる。
- 各機能障害における治療を受ける患者・家族の看護について述べることができる。
- 病期や各機能障害に応じた患者・家族への看護について述べるができる。
- 患者のセルフケア・自己管理への支援について説明できる。
- 自己血糖測定技術を修得できる。

成績評価方法

小テスト、グループワーク、プレゼンテーション、演習、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							2
グループワーク							1
演習							2
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義概要の説明 慢性疾患がある患者と家族の看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
2) 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
3) リハビリテーションの特徴と看護 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	ディスカッション 小テスト
4) 呼吸機能障害のある患者の看護 原因と障害の程度のアセスメントと看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
5) 呼吸機能障害のある患者の看護 検査・処置・治療を受ける患者への看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
6) 呼吸機能障害のある患者の看護 治療を受ける患者への看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
7) 呼吸機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
8) 内部環境調節機能障害のある患者の看護 原因と障害の程度のアセスメントと看護 検査・処置を受ける患者への看護（梁元） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
9) 内部環境調節機能障害のある患者の看護 検査・処置を受ける患者への看護 治療を受ける患者への看護（梁元） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
10) 内部環境調節機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
11) 内分泌機能障害のある患者の看護 原因と障害の程度のアセスメントと看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
12) 内分泌機能障害のある患者の看護 検査・処置・治療を受ける患者への看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
13) 内分泌機能障害のある患者の看護 治療を受ける患者への看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
14) 内分泌機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
15) 身体防御機能障害のある患者の看護 原因と障害の程度のアセスメントと看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
16) 身体防御機能障害のある患者の看護 検査・処置・治療を受ける患者への看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
17) 身体防御機能障害のある患者の看護 治療を受ける患者への看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
18) 身体防御機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
19) 脳・神経機能障害のある患者の看護 原因と障害の程度のアセスメントと看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト
20) 脳・神経機能障害のある患者の看護 検査・処置・治療を受ける患者への看護（加藤） 【予習】同様に実施（45分）【復習】同様に実施（45分）	小テスト

21) 脳・神経機能障害のある患者の看護 治療を受ける患者への看護 病期や機能に応じた看護(加藤) 【予習】同様に実施(45分) 【復習】同様に実施(45分)	小テスト
22) 脳・神経機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護(加藤) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
23) 感覚機能障害のある患者の看護 (加藤) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
24) 感覚機能障害のある患者の看護 (加藤) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
25) 排尿機能障害のある患者の看護(加藤) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
26) 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護(梁元) 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	小テスト
27) 患者のセルフケア・自己管理への支援 (加藤・梁元) 【予習】患者のセルフケア・自己管理への支援について考えてくる(45分) 【復習】グループワークでの意見をまとめる(45分)	ディスカッション
28) 患者のセルフケア・自己管理への支援 (加藤・梁元) 【予習】グループワークに向けて自分の考えをまとめる(45分) 【復習】グループワークでの意見をまとめる(45分)	ディスカッション
29) 患者のセルフケア・自己管理への支援 (加藤・梁元) 【予習】プレゼンテーションに向けて準備する(45分) 【復習】プレゼンテーションでの学びをノートに整理する(45分)	プレゼンテーション
30) 自己血糖測定の実際 技術演習(加藤・梁元) 【予習】テキストの該当箇所・資料を再確認してくる(45分) 【復習】講義のまとめのノート作成(45分)	演習

授業外学習

授業前は予習としてテキストの指定範囲を読み、授業後は復習として講義のまとめのノート作成を必ず実施して講義に出席する。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：系統看護学講座 成人看護学 医学書院 [1]成人看護学総論 [2]呼吸器 [4]血液・造血器 [6]内分泌・代謝 [7]脳・神経 [8]腎・泌尿器 [9]女性生殖器 [11]アレルギー・膠原病 感染症 [12]皮膚 [13]眼 [14]耳鼻咽喉 [15]歯・口腔	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論 成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

小テストの正答はフィードバックする。
リアクションペーパーに記載された内容について、必要時、フィードバックする。

備考

科目名	緩和ケア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	江口 恵里	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 緩和ケアの基本的な概念や実践について学ぶ。生と死に関する倫理、心理学、医学、そして社会的側面に焦点を当て、緩和ケアの提供者としての役割を理解することを目指す。

(江口は臨床での看護師としての実務経験をもとに概念的な内容を実践と結びつけながら講義をする)

到達目標

【B3403】

- 1) 緩和ケアの歴史、哲学、現代の実践についてわかる
- 2) 死の受容に至るプロセスを理解し、その支援方法を説明することができる
- 3) 真実を伝えることの重要性や倫理的な考慮事項についてわかる
- 4) コミュニケーションスキルを発展させ、患者やその家族との対話における効果的なアプローチを習得することができる。
- 5) 患者の身体的、精神的、社会的そして霊的な苦痛を緩和する能力を身につけることができる

成績評価方法

- 定期試験 (40%)
 宿題・授業外レポート (40%)
 授業態度・授業参加度 (20%)

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				40
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				40
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 緩和ケアの概要（江口） 事前学習（60分）第4章の1節「緩和ケアとは何か」A・Bを読んで疑問を整理する 事後学習（60分）新聞記事を読み考えをまとめる（緩和ケア開始時期）	ディスカッション
2) 死とは何か（江口） 事前学習（60分）第1章「死を考える」の1節、2節を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）新聞記事を読み考えをまとめる（2500人をみとった医師）	ディスカッション
3) 真実の伝え方と支え（江口） 事前学習（60分）第3章「真実の伝え方と支え」を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）事例検討	ロールプレイ ディスカッション
4) 死に直面した人間の現実（江口） 事前学習（60分）第2章「死に直面した人間の現実」を読んで疑問を整理する 事後課題（60分）新聞記事を読み考えをまとめる（訪問看護の現場から）	ディスカッション
5) 緩和ケアの基本的な方法（江口） 事前課題（60分）第4章の3節「緩和ケアの方法」を読んで疑問を整理する 事後課題（60分）事例検討	ロールプレイ ディスカッション
6) 死の見取りとケア（江口） 事前課題（60分）第4章「緩和ケアの進め方」の4節、5節を読んで疑問を整理する 事後課題（60分）新聞記事を読み考えをまとめる（グリーンケアのボランティア）	ロールプレイ ディスカッション
7) 緩和ケアの実践（江口） 事前課題（60分）第4章の2節のA・B、6節を読んで疑問を整理する 事後課題（60分）新聞記事を読み考えをまとめる（英独のホスピス）	ディスカッション
8) 現代医療の課題と将来の展望（江口） 事前課題（60分）第5章「死をめぐる現代医療の課題」を読んで疑問を整理する 事後課題（60分）新聞記事を読み考えをまとめる（家族の声から）	ディスカッション
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】 平山正実 他 新体系看護学全書 別巻 生と死の看護論 第2版 メヂカルフレンド社	基礎看護学 地域在宅看護論 成人看護学 小児看護学 母性看護学 老年看護学 精神看護学

課題に対するフィードバック

質問や疑問に関しては全員に回答をする
提出物に関しては添削・コメントを入れて返却する

備考

この授業では学習内容の理解と実践に焦点を当てつつ、実際のケーススタディや役割演技などを通じて、緩和ケアの提供者として必要なスキルを発展させる機会を提供する。

科目名	リハビリテーション看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。リハビリテーションを必要としているのは疾病や外傷、加齢などにより、身体の構造や生理的機能・生活機能に障害を持っている人たちである。そうした疾病や傷害をかかえていても生活行動拡大・社会参加を行い、生き生きと生活を送ることを目指すのがリハビリテーションである。発症当初から将来を見通した医療において、医師を中心とするリハビリテーションチームの中で看護職の果たす役割を学習する。
清水佑子は、急性期病院の救急、整形外科病棟、内科病棟の看護師の実務経験をもとに、各障害と障害におけるリハビリテーション看護についての授業を行う。

到達目標

- 【B3403】
1. リハビリテーションの理念を述べるができる。
 2. 機能回復について何が必要であるかを学ぶことで、健康障害を持つ人のADLやQOLの向上について述べるができる。
 3. リハビリテーションチームにおける看護職の果たす役割や多職種連携について説明できる。
 4. 代表的な機能障害の特徴的な課題とそれに対する援助方法を説明できる。

成績評価方法

講義ごとに行う小テスト、定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) リハビリテーション概論（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	
2) 多職種連携のあり方（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
3) 運動器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
4) 脳血管系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
5) 脊髄損傷とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
6) 呼吸器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
7) 循環器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
8) 感覚器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（60分）	小テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>・ 授業日は変更となる可能性がありますので、掲示板、グーグルクラスルームで確認してください。</p> <p>・ 予習として、教科書の該当する箇所を読んでおいてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト・系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院</p> <p>参考図書・医学書院 専門分野 運動器 ・医学書院 専門分野 脳・神経 ・医学書院 専門分野 呼吸器 ・医学書院 専門分野 循環器</p>	<p>人体の構造と機能、疾病論 ・ 保健医療福祉行政論 成人看護学 ・ ・ 老年看護学 ・</p>

課題に対するフィードバック

・小テストは採点をしたのち返却します。

備考

・人体の構造と機能と疾病論（病態・診断・治療）の授業内容を理解していることを前提に授業を行います。当該授業の看護に必要な人体の構造と機能、疾病論の資料内容を確認しておいてください。

科目名	小児看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	金川 真理	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

- ・本授業は対面で実施する。
- ・子どもの成長発達、子どもとその家族の生活、子どもに関する統計や法律・政策について学ぶ。
また、現在の子どもと家族が抱える問題を知り、小児看護の役割を考える。
- ・金川真理・谷川和子は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、小児看護総論について授業を行う

到達目標

B2406y

- 1) 子どもの成長発達を理解する。
- 2) 子どもの成長発達に応じた生活とその家族を理解する。
- 3) 子どもに関する統計および現在の子どもと家族の抱える問題、子どもの健康や擁護に関する法律・政策を知り、小児看護の役割を考える。
- 4) 病気・障害をもつ子どもと家族を理解し、必要な看護を考える。
- 5) 症状を示す子どもや検査処置を受ける子どもに対する必要な看護技術を修得する。

成績評価方法

課題(10点)、小テスト(10点)・中間試験(20点)
・期末試験(60点)を総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験は1回に限り行う。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、小児看護学概論 第1章 小児看護の特徴と理念 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	課題
2)	第2章 子どもの成長・発達 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	小テスト
3)	第3章 新生児・乳児 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	課題
4)	第4章 幼児・学童 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	小テスト
5)	第5章 思春期・青年期の子ども 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	課題
6)	第6章 家族の特徴とアセスメント 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	小テスト
7)	第7章 子どもと家族を取り巻く社会 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】谷川	
8)	小児臨床看護総論 第1章 病気・障害をもつ子どもと家族の看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	中間テスト
9)	第2章 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	課題
10)	第4章 子どものアセスメント 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	事前課題
11)	演習 バイタルサインの測定、身体計測 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	事後課題
12)	第3章 子どもにおける疾病の経過と看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	小テスト
13)	第7章 障害のある子どもと家族の看護、第8章 子どもの虐待と看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】谷川	
14)	第5章 症状を示す子どもの看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	小テスト
15)	第6章 検査・処置を受ける子どもの看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	課題
授業外学習		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に記載されている教科書の該当単元の予習をした上で講義に臨んで下さい。 ・ 小テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。 		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
1) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学1、医学書院		母性看護総論、公衆衛生学、学校保健

課題に対するフィードバック

- ・ 課題内容に適時コメントします。
- ・ 小テスト、中間試験は採点して返却する。全体に向けた講評の中で理解が不十分な点や間違いやすい点等は、授業中にフィードバックします。

備考

- ・ 授業の出欠席は、出席カード・課題等で確認します。
- ・ 試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認して下さい。
- ・ 授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	小児看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	金川 真理	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

- ・本授業は対面で実施する。
- ・一人一人の子どもの権利を擁護し、子どもに安全で安楽なケアを提供するために、科学的根拠に基づいた看護実践能力を修得する。小児に多い疾患および小児期特有の疾患の病態、診断、治療、予後、看護について系統別に学習し、臨床実習に応用できるようにする。
- ・金川真理は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、砂川新平は、臨床での小児科医としての実務経験をもち、小児看護援助論について授業を行う。

到達目標

B3405y

- 1) あらゆる年齢、健康レベルにある子供が主体となって、治療、検査、処置に取り組むための看護援助ができる。
- 2) 子どもの最善の利益を目指した看護を実践することができる。
- 3) 子どもの権利条約と倫理的配慮に基づいた看護実践ができる。
- 4) 子どもの成長発達を理解し発達段階に応じた看護実践ができる。
- 5) 子どもを育む家族とパートナーシップを形成し、子どもにとって最善のケアを提供することができる
- 6) 生態機能に影響をおよぼす要因を理解し、異常や障害が起こるメカニズムについて理解する。
- 7) 主要疾患の要因、病態、検査、治療、看護が理解できる。
- 8) 患児の自覚症状や身体所見と関連した病態生理学的知識を理解する。

成績評価方法

- ・課題(11点)、小テスト(9点)・中間テスト(20点)・期末試験(60点)を総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験は1回に限り行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					9
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			11
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、第19章 事故・外傷と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
2) オリエンテーション、第19章 事故・外傷と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
3) 第1章 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常、第2章 新生児疾患、第7章 呼吸器疾患、第9章 消化器疾患 【担当】砂川医師 【予習】教科書該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）	
4) 第1章 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常、第2章 新生児疾患、第7章 呼吸器疾患、第9章 消化器疾患 【担当】砂川医師 【予習】教科書該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）	
5) 第8章 循環器疾患、第18章 精神疾患 【担当】砂川医師 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
6) 第8章 循環器疾患、第18章 精神疾患 【担当】砂川医師 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
7) 第4章 内分泌疾患、第5章 免疫疾患・アレルギー疾患、第6章 感染症 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【担当】砂川医師 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
8) 第4章 内分泌疾患、第5章 免疫疾患・アレルギー疾患、第6章 感染症 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【担当】砂川医師 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
9) 第1章 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常、第2章 新生児疾患、第7章 呼吸器疾患を持った子どもの看護 【担当】金川【予習】教科書該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）	小テスト
10) 第1章 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常、第2章 新生児疾患、第7章 呼吸器疾患を持った子どもの看護【担当】金川【予習】教科書該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）	
11) 第3章代謝性疾患を持った子どもの看護、第9章 消化器疾患を持った子どもの看護、第4章 内分泌疾患と看護【担当】金川【予習】教科書該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）	課題ノート
12) 第3章代謝性疾患を持った子どもの看護、第9章 消化器疾患を持った子どもの看護、第4章 内分泌疾患と看護【担当】金川 【予習】教科書該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）	
13) 第5章 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護、第8章 循環器疾患、第18章 精神疾患を持った子どもの看護【担当】金川【予習】教科書該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）	中間テスト
14) 第5章 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護、第8章 循環器疾患、第18章 精神疾患を持った子どもの看護【担当】金川【予習】教科書該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）	
15) 第6章 感染症と看護、第15章 皮膚疾患と看護、第16章 眼疾患と看護、第17章 耳鼻咽喉疾患と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	事前課題、課題ノート
16) 第6章 感染症と看護、第15章 皮膚疾患と看護、第16章 眼疾患と看護、第17章 耳鼻咽喉疾患と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページ（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
17) 演習 日常生活援助技術（食事・オムツ交換・清潔・衣生活・移動） 【予習】教科書の該当ページ（60分）【担当】金川 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	事後課題、事前課題
18) 演習 日常生活援助技術（食事・オムツ交換・清潔・衣生活・移動） 【予習】教科書の該当ページ（60分）【担当】金川 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	
19) 演習 診療・処置・検査時の看護技術 【予習】教科書の該当ページ（60分）【担当】金川 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	事後課題
20) 演習 診療・処置・検査時の看護技術 【予習】教科書の該当ページ（60分）【担当】金川 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）	

21)	第10章 血液・造血器疾患と看護、第11章 悪性新生物と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる(60分)	小テスト、事前課題
22)	第10章 血液・造血器疾患と看護、第11章 悪性新生物と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる(60分)	
23)	第12章 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる(60分)	課題ノート
24)	第12章 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる(60分)	
25)	第13章 神経疾患と看護、第14章 運動器疾患と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる(60分)	小テスト
26)	第13章 神経疾患と看護、第14章 運動器疾患と看護 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる(60分)	
27)	演習 付章 事例による看護過程の展開1 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し(60分)	事後課題、事前課題
28)	演習 付章 事例による看護過程の展開1 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し(60分)	
29)	演習 付章 事例による看護過程の展開2 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し(60分)	事後課題
30)	演習 付章 事例による看護過程の展開2 【担当】金川 【予習】教科書の該当ページを読むこと(60分) 【復習】教科書と配布資料の見直し(60分)	

授業外学習

- ・授業計画に記載されている教科書の該当単元の予習をした上で講義に臨んで下さい。
- ・小テスト、中間テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学2、医学書院 2) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学1、医学書院	小児看護総論、母性看護援助論、小児看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・課題内容に適時コメントします。
- ・小テスト、中間テストは採点して返却する。全体に向けた講評の中で理解が不十分な点や間違いやすい点等は、授業中にフィードバックします。

備考

- ・授業の出欠席は、出席カード・課題で確認します。
- ・試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認して下さい。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	母性看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	安成 智子	関連する資格	看護師 養護教諭	

授業概要

本授業は対面で実施する。

母性意識の意義と発達、母子関係の成り立ちを理解し、母性を対象とした援助に必要な知識の基礎を学ぶ。

また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から女性の生涯を通じての健康を考え、理解を深める。

安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、女性の健康に関する事柄、母子保健に関する事柄について講義を行う。

到達目標

B2407y

1. 女性および母子の心身における健康について、性と生殖を通して理解し、説明することができる。
2. 女性および母子の健康増進に關与する社会の在り方を理解し、関係づけることができる。
3. 女性のライフサイクル各期の特徴的な健康問題と看護を理解し、問題点を判断することができる。

成績評価方法

Google class roomに投稿する小テスト(20点)・授業外レポート(10点)・筆記試験(70点)により総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。
科目得点が60未満の場合は1回のみ再試験(筆記試験)を行い、再試験の素点が60点以上の場合に単位取得を認める。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○			○		20
宿題、授業外レポート		○	○		○		10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 母性看護の概念の理解：母性の定義・愛着・母子相互作用・母性の発達/成熟/継承(安成) 【予習】シラバスを確認する(10分) 【復習】講義内容の復習(30分)	授業オリエンテーション
2) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状：歴史・母子保健統計(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】ワークシートを完成させる(30分)	反転学習(母性保護規定に関連する法律)
3) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状：母性保護規程(安成) 【予習】事例に適用される母性保護規定の確認(30分) 【復習】ワークシートを完成させる(30分)	反転学習(母性保護規定に関連する法律)
4) リプロダクティブヘルスケア：セクシュアリティ・家族計画・性感染症(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】配布資料の空欄を完成させる(30分)	各種避妊具を見学する。 配布資料の空欄を完成させる。
5) リプロダクティブヘルスケア：人工妊娠中絶・喫煙・性暴力・児童虐待(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読んでおく(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	小テスト
6) 母性看護における対象理解：女性生殖器の形態/機能(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】ワークシートを完成させる(30分)	ワークシート(生殖器の解剖)
7) 母性看護における対象理解：妊娠と胎児の性分化・月経周期(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】月経周期のホルモン動態等を説明できるように学習する(60分)	ワークシート(女性の月経周期)
8) 女性のライフステージ各期における看護：思春期(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	小テスト
9) 女性のライフステージ各期における看護：成熟期(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
10) 女性のライフステージ各期における看護：更年期・老年期(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	小テスト
11) 母性看護に必要な看護技術：ヘルスプロモーション・事故予防・女性の意思決定・家族適応・周産期の死(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分)【復習】講義内容の復習(30分)	
12) 出生前からのリプロダクティブヘルスケア：出生前診断を受ける人の看護・不妊症の人の看護・出生前診断・母性看護における倫理(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分)【復習】講義内容の復習(30分)	ニュース記事を読み、自分の意見を述べる。
13) 妊娠期における看護：妊娠期の身体的特性・心理社会的特性(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	「妊娠による変化」のワークシートを作成する。
14) 妊娠期における看護：妊婦と胎児のアセスメント(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
15) 妊娠期における看護：妊婦と胎児のアセスメント(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
授業外学習	
社会における女性・母子・家族を取り巻く問題に普段から関心を持ち、ニュースにも目を通しておきましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学 1、医学書院 母性看護学各論 母性看護学 2、医学書院 * 第1～11回の講義では「概論」、第12～15回の講義では「各論」のテキストを使用します。	人体の構造と機能 看護過程論 母性看護援助論 母性看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・ Google class roomの課題や小テストに対して採点・コメントをします。

備考

- ・ 質問等はGoogle class roomよりメールでお願いします。
- ・ 講義順を変更することがあります。
- ・ 対面授業の際、座席を指定しますが、板書が見えない学生は移動可能ですので申し出てください。

科目名	母性看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	安成 智子	関連する資格	看護師	

授業概要

本授業は対面で実施する。

母性看護の対象となる人々の健康状態を系統的にアセスメントし、科学的な根拠に基づいて援助する方法を学ぶ。特に、母性としての営みの顕著な妊娠・分娩・産褥期にある母性と胎児及び新生児について理解し、母性機能の健全な発達や母子の安全を守る看護の在り方を、事例の展開や技術演習などを通して学ぶ。

安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、妊産褥婦・胎児及び新生児の健康に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な対象者の理解と看護ケアの選択を促す。

到達目標

B3406

1. 妊娠期・分娩期・産褥期の女性および胎児・新生児に生じる変化を理解することができる。
2. 対象者のヘルスアセスメントに必要な知識と技術および、母子の成長・発達を促し安全を守る援助技術を修得することができる。
3. 周産期のウェルネス型看護過程を理解し、事例を用いた看護展開ができる。
4. 周産期に予測される正常からの逸脱と、その際の看護援助を理解することができる。

成績評価方法

Google class roomに投稿する小テスト及び演習時のワークシート(20点)・授業外レポート(10点)・筆記試験(70点)を総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。科目得点が60未満の場合は1回のみ再試験(筆記試験)を行い、再試験の素点が60点以上の場合に単位取得を認める。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)		○					70
小テスト、授業内レポート				○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○			○			
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義オリエンテーション 妊娠期の看護(母性看護総論の復習) (安成) 【予習】シラバスを読んでおくこと (10分) 【復習】妊婦体験(ジャケット装着またはレポート) (20分)	妊婦体験演習(希望者のみ)
2) 妊娠期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】妊婦体験(ジャケット装着またはレポート) (20分)	妊婦体験演習(希望者のみ)
3) 妊娠期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
4) 妊娠期の異常と看護(安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	小テスト
5) 演習：妊婦健康診査で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
6) 演習：妊婦健康診査で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
7) 分娩期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
8) 分娩期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
9) 分娩期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
10) 分娩期の異常と看護(安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	小テスト
11) 演習：分娩期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
12) 演習：分娩期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
13) 産褥期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
14) 産褥期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
15) 産褥期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
16) 産褥期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
17) 産褥期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
18) 産褥期の異常と看護(安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	小テスト
19) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
20) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	

21) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
22) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
23) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
24) 新生児期の異常と看護(安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	小テスト
25) 演習：産褥期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
26) 演習：産褥期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
27) 演習：母性看護における看護過程 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
28) 演習：母性看護における看護過程 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
29) 演習：新生児期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
30) 演習：新生児期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート

授業外学習

1. 授業計画に記載されているテキストの該当単元の予習をして下さい。
2. 小テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学2 医学書院	人体の構造と機能 ・ 看護過程論 家族論・家族関係論 小児看護総論・援助論 母性看護総論 母性看護学実習

課題に対するフィードバック

ワークシートは採点して返却する。
 Googl class roomに投稿する小テストでは正解を提示する。
 授業内資料として用いる国家試験問題集では授業内に正解を提示する。
 理解が不十分な点や間違いやすい点への追加説明を行う。

備考

科目名	老年看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	江口 恵里、和氣 さち	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。

高齢者の身体的・精神的・社会的特徴及び症状、疾患等による生活への影響、生きてきた時代背景等をふまえ全人的に高齢者を理解し、老いて生活していくことを支えるために必要な理論、看護活動について学ぶ。また、高齢社会の統計的輪郭、保健・医療・福祉の動向など高齢化が地域社会へ及ぼす影響について考察し、老年看護の必要性及び保健医療福祉チームとしての看護職の役割を学ぶ。

(江口・和氣は、臨床での看護師としての実務経験をもとに概念的な内容を実践と結びつけながら講義をする)

到達目標

【B2408】

- 1) 加齢変化と培われてきた生活と健康についてについて説明できる
- 2) 超高齢社会の現状と保健医療福祉の動向と課題を説明できる
- 3) 高齢者の権利擁護や主たる理論について検討し、高齢者看護のあり方について考察できる
- 4) 高齢者の生活する場に応じたケアと多職種連携、看護の専門性について意見を述べられる

成績評価方法

- 定期試験 (60%)
宿題、授業外レポート (30%)
グループワーク (10%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 老年期の理解（江口） 高齢者の理解（高齢者の特徴、社会的位置づけ、高齢者にとっての健康やQOLの意義）	シンク・ペア・シェア
2) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 18-85、p 354） 事後学習（60分）高齢者のインタビューに向けての準備をする	
3) 認知症について（江口） 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」、看護の基本姿勢、高齢者と家族の支援	グループワーク
4) 同上 事前学習（60分）地域の認知症対策について調べる 事後学習（60分）認知症への理解・啓発にむけて地域の現状を考える	
5) 老年期の理解（江口） 高齢者のサポート体制（法律、制度、社会資源）	シンク・ペア・シェア
6) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 88-139） 事後学習（60分）高齢者ケアにおけるテクノロジー活用の実際を調べる	
7) 老年期の理解（江口） 地域包括ケアシステム（切れ目のない医療ケアサービス、多様な生活の場における高齢者看護）	シンク・ペア・シェア
8) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 142-183） 事後学習（60分）宿題（事例 最善の生活の場を考える）	
9) 高齢看護の基本（江口） 高齢看護の特性（理論、アセスメント、疾患）	シンク・ペア・シェア
10) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 186-207 p 221-265） 事後学習（60分）まとめ	
11) 高齢看護の基本（江口） 高齢看護の特性（倫理）	シンク・ペア・シェア
12) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 209-220） 事後学習（60分）宿題（事例）	
13) 地域の課題解決を考える（江口） 認知症にやさしいまちづくり ・認知症の方と共生できる街づくりの実現につながるアイデアを発表	グループワーク
14) 同上 事前学習（60分）発表準備 事後学習（60分）アイデアをさらに練り上げる	
15) ヘルスプロモーション（江口） 高齢者の健康づくり（生活習慣予防、健康寿命をのばす）	シンク・ペア・シェア
16) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 282-302） 事後学習（60分）まとめ	
17) 基本生活の支援（江口） セクシュアリティ、社会参加	シンク・ペア・シェア
18) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 209-220） 事後学習（60分）宿題（文献のまとめ）	
19) 老年看護の展開における考え方（和氣） 生活行動モデル、「病態・生活機能関連図」、目標志向型思考、6つの生活行動	シンク・ペア・シェア
20) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p - p 2-51） 事後学習（60分）宿題（事例）	

21)	看護過程の展開（和氣） 事例検討	シンク・ペア・シェア
22)	同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p - p2-51） 事後学習（60分）まとめ	
23)	災害時の高齢者看護（江口） 災害時の高齢者と備えの実態、避難所、福祉避難所、仮設住宅における高齢者の生活、復興後を見据えた支援の方向性	シンク・ペア・シェア
24)	同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（272-287） 事後学習（60分）能登半島地震で高齢者のおかれた状況について調べる	
25)	演習（Aチーム：高齢者体験、Bチーム：介助技術）（江口・和氣） 事前学習（30分）80歳になった私を考える、グループ同士で援助技術を教え合うことができるようにしておく 事後学習（30分）演習後の学び、感想	グループワーク 発表
26)	演習（Aチーム：介助技術、Bチーム：高齢者体験）（江口・和氣） 事前学習（60分）80歳になった私を考える、グループ同士で援助技術を教え合うことができるようにしておく 事後学習（60分）演習後の学び、感想	
27)	演習のまとめ（江口） 事前課題（60分）演習後の宿題 事後課題（60分）レポート（倫理的側面の考察）	グループワーク
28)	アクティビティケアについて（江口） 事前課題（60分）4事例の対象者ができるレクリエーションそれぞれ企画する 事後課題（60分）4事例の対象者が共にできるレクリエーションの企画をする	グループワーク
29)	演習 レクリエーション（江口・和氣）	グループワーク 発表
30)	同上 事前課題（60分）レクリエーション企画 事後課題（60分）レクリエーション企画を練り上げる	

授業外学習

高齢者施設（グループホーム）、認知症カフェなどで高齢者と触れ合う場を設ける

テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】 1) 堀内ふき 他 ナーシング・グラフィカ老年看護 高齢者の健康と障害 メディカ出版 2) 山田律子 他 生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図 医学書院	老年看護学 地域体験実習 老年看護学実習

課題に対するフィードバック

質問や疑問に関しては全員に回答をする
提出物に関しては添削・コメント入れて返却する

備考

- 2コマ続きの授業
- 高齢者と触れ合う場を設けたり視聴覚教材を活用しイメージがしやすいように授業を展開していく。

科目名	老年看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	和氣 さち、江口 恵里	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

本授業は対面で実施する

老年看護学 の学びをふまえ、高齢者特有の健康問題（症状・疾患）、生活機能障害について理解を深め、QOLの向上を主眼に高齢者の健康レベルに応じた看護のアプローチについて、事例を通して学ぶ。また、また、倫理的課題をふまえ、高齢者のおかれている状況を総合的にアセスメントし、高齢者及びその家族を対象とした看護活動を習得し、実践へつなげていく。和氣、江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学について授業を行う。

到達目標

B3407

1. 老年期におこりやすい疾患や症状の病態生理と生活機能の変化が説明できる。
 2. 健康障害や生活障害をもつ高齢者への看護に必要な知識を説明できる。
 3. 加齢と疾患の影響による生活の障害を、事例をもとにアセスメントし、看護の方向性を導くことができる。
- 高齢者の生理的老化と病的老化、老年期に特徴的な疾患の病態生理、それに伴う生活機能の変化をふまえて、健康障害・生活障害をもつ高齢者の病態とアセスメント、高齢患者のリスクマネジメント等を網羅的に学ぶ。

成績評価方法

授業態度、グループワークの参加度、課題（提出物）を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 老年看護学 ガイダンスと老年看護学 の復習と看護の展開について（和氣） 予習：テキスト ~XIVまでを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
2) 加齢にともなう変化（循環器系）（江口） 予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
3) 加齢にともなう変化（消化器系）（江口） 予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
4) 認知症とコミュニケーション（江口） 予習：テキストp56～71までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
5) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について学習を深める（60分）	グループワーク
6) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について学習を深める（60分）	宿題・授業外レポート グループワーク
7) 脳神経系疾患（パーキンソン病）（和氣） 予習：テキストp73～90までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
8) 運動器疾患（大腿骨頸部骨折）（和氣） 予習：テキストp111～124までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
9) 呼吸器疾患（誤嚥性肺炎）、循環器系疾患（心不全）（和氣） 予習：テキストp129～142、p164～179までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク 小テスト
10) 皮膚疾患（老人性皮膚掻痒症）・眼疾患（白内障）（和氣） 予習：テキストp215～227、p259～271までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
11) 高齢者と薬（和氣） 予習：「老年看護学」p321～326までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
12) 人生の最終段階を見据えた高齢者のとらえ方と意思決定支援（和氣） 予習：テキストp xi, 「老年看護学」p353～358を読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク 授業外レポート
13) 高齢者特有のリスクマネジメント（和氣） 予習：「老年看護学」p388～406までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
14) 老年看護学の倫理的な課題（和氣） 予習：実習のときにあった倫理問題について考えてくる（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク 小テスト
15) 高齢者（認知症）の住みやすい環境（和氣） 予習：配布した授業資料より、高齢者の生活環境について考えてくる（30分） 復習：テキスト・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク

授業外学習

授業計画に沿って学習目標を提示します。テキストの単元を熟読して学習目標の習得に取り組んで下さい。
小テストを2回行います。復習を兼ねて自己学習をして下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：「生活機能からみた老年看護過程」（医学書院第4版）、「高齢者の健康と障害」（メディカ出版） 参考書：最新老年看護学（日本看護協会出版会）、高齢者の健康と障害（メディカ出版）、高齢者の実践（メディカ出版）、終末期看護エンドオブライフケア（メヂカルフレンド社）、看護倫理（医学書院）老年看護学（医歯薬出版株式会社）	基礎看護学、成人看護学、老年看護学、老年看護学実習・総合看護学実習、疾病論、

課題に対するフィードバック

レポートは、確認後返却し、各自にコメントもしくは次回の授業時にコメントする

備考

課題の提出は指定日時を厳守すること

科目名	精神看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

精神看護の対象と目的、精神の健康概念について学ぶとともに、精神保健福祉の現状と課題について理解する。また、精神症状および精神疾患と治療法およびその看護に対する知識を習得する。リエゾン精神看護についての概要と実践、他職種との連携について理解する。

授業は対面で行う。

(佐藤、柿並は看護師としての実務経験をもとに授業を行う。)

到達目標

B2409y

- ・精神看護の対象と目的が言える
- ・人のライフサイクルにおける発達課題とそこに生じる心の問題を述べる
ことができる
- ・精神医療保健福祉の歴史的背景が理解できる
- ・精神障害者を取り巻く法律の概要が説明できる
- ・精神症状、主な精神疾患と治療法について説明できる
- ・精神科の倫理的な問題と看護師の役割について説明できる
- ・精神科リハビリテーションと地域保健福祉活動について説明できる
- ・リエゾン精神看護の概要とリエゾンナースの活動について述べる
ことができる

成績評価方法

期末試験(60%)、授業内小テスト(20%)
レポート(20%)

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 精神看護学で学ぶこと（佐藤） p2-25 【予習】 教科書の序章を読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
2) 「精神（心）」の捉え方（佐藤） p28-70 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
3) 精神（心）の発達に関する主要な考え方（佐藤） p72-97 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
4) 家族と精神（心）の健康（柿並） p100-120 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
5) 暮らしの場と精神の健康（柿並） p122-147 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
6) 精神（心）の危機状況と精神保健（柿並） p150-170 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
7) 現代社会と精神（心）の健康（柿並） p172 - 224 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
8) 現代社会と精神（心）の健康（柿並） p172 - 224 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
9) 精神保健医療福祉の歴史（佐藤） p226-245 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	小テスト
10) 精神保健福祉法と患者の処遇（佐藤） p245-273 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
11) 精神障害者の抱える症状の理解1（佐藤） p22-42 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
12) 精神障害者の抱える症状の理解2（佐藤） p22-42 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
13) 精神科的診察（佐藤） p42-58 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	小テスト 事前課題
14) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	事前課題
15) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	事前課題
16) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	事前課題
17) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	事前課題
18) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	事前課題
19) 精神科における主な治療と看護（佐藤） p148-162 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	事前課題
20) 精神科における主な治療と看護（佐藤） p163-187 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	小テスト 事前課題

21)	精神障害をもつ人との関わり方 (柿並) p190-219 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(30分)	
22)	精神障害を持つ人とのコミュニケーション (柿並) p190-219 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(30分)	
23)	精神障害を持つ人の地域における生活への支援 (柿並) p352-421 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(30分)	
24)	精神障害を持つ人の地域における生活への支援 (柿並) p352-421 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(30分)	
25)	精神(心)を病むということ (柿並) p2-20 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 課題レポートを作成する(60分)	課題レポート(26回と共通)
26)	精神(心)を病むということ (柿並) p2-20 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 課題レポートを作成する(60分)	課題レポート(25回と共通)
27)	司法精神看護(佐藤) p440-458 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(30分)	小テスト
28)	災害看護 (佐藤) p459-471 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(30分)	
29)	リエゾン精神看護 (早川昌子:非常勤) 424-438 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 課題レポートを作成する(60分)	課題レポート(30回と共通)
30)	リエゾン精神看護 (早川昌子:非常期) 424-438 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 課題レポートを作成する(60分)	課題レポート(29回と共通)

授業外学習

教科書の該当ページは必ず読んで来て下さい(予習)。
小テストを4回行います。小テストはテストの前の週のところまでが範囲です。復習を兼ねて自己学習して下さい。
事前課題のところは、事前に配布された資料(ワーク)をもとに教科書をよく読んでワークを行ってきてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社	既習科目すべて 精神看護学 精神看護学実習

課題に対するフィードバック

小テストは終了後にまとめて全ての問題の振り返り、解説を行う。
レポートは、全体でコメントする。

備考

--

科目名	精神看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	柿並 洋子、佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

精神看護総論で学習した知識をもとに、精神障害者に焦点をあて、それらの人々へ精神看護を実践していくための知識と技術を学ぶ。症状のアセスメントとアプローチの基本、日常生活援助技術、社会復帰に向けての援助等、患者・看護師関係を活用しながら、事例を通して学習する。

授業は対面で行う。

柿並洋子・佐藤美幸は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、精神看護援助論について授業を行う。

到達目標

B3408

- ・精神に障害を抱える人への看護援助について説明できる
- ・精神疾患・障害をもつ人への看護の要点を述べることができる
- ・精神科における治療環境と安全管理、倫理的配慮について述べるができる。
- ・他職種との連携について述べるができる

成績評価方法

定期試験 80%
小テスト 20%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○				
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 精神症状と看護（柿並） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
2) 精神症状と看護（柿並） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		グループワーク
3) 精神障害を持つ人へのセルフケアの援助（柿並） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
4) 事故防止・安全管理と倫理的配慮（柿並） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
5) 事故防止・安全管理と倫理的配慮（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		グループワーク
6) 精神障害を持つ人へのセルフケアの援助（佐藤） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		小テスト
7) 看護援助の基本構造（佐藤） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
8) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 双極性障害、うつ病（柿並） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		グループワーク
9) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症（急性期）（佐藤） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
10) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症（慢性期）（佐藤） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
11) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 自閉症スペクトラム障害、AD/HD（柿並） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
12) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 アルコール依存症（佐藤） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
13) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 強迫性障害、パーソナリティ障害（柿並） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
14) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 神経性やせ症摂食制限型（佐藤） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
15) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 身体合併症（がん・肺炎・骨折）（佐藤） 【予習】精神看護総論の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）		
授業外学習		
精神看護総論の学習内容は必ず復習しておき、授業に臨むこと。 予定表に示された教科書の該当ページ、配布されたプリント類は必ず熟読しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 新体系看護学全書 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社		精神看護総論 精神看護学実習

課題に対するフィードバック

小テスト終了後、後日、講義内で小テストの解説を行う。

備考

私語・携帯電話等の使用は厳禁

科目名	在宅看護論実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	4年	前期			
担当者名	清水 佑子		関連する資格				
授業概要 何らかの支援を必要とする人に向けた在宅ケアシステムの概要を学ぶとともに、在宅で療養している対象者とその家族に対して、生活を尊重しながら生活の質(QOL)向上の視点から看護援助が実践できる基礎的能力を養う。							
到達目標 B4502a 1. 在宅療養者とその家族について、生活状況をふまえた療養上の課題について説明できる。 2. 在宅療養者とその家族がもつ療養上の課題に対する訪問看護師の役割と、その活動について説明できる。 3. 保健・医療・福祉に携わる関連職種との連携・協働について理解できる。 4. 私生活の場に第三者が介入することの意味を考え、療養者および家族に配慮した行動がとれる。 5. 療養者が在宅で生活し続けるための在宅看護のあり方と在宅ケアシステムや社会資源について考察できる。			成績評価方法 提出物 実習記録 授業外レポート				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>2週間のうち訪問看護ステーション4日，地域連携室半日，居宅介護支援事業所半日，通所リハビリテーション・デイサービス1日の実習を行う。</p>	<p>知識確認テスト 関連図を基にした事例検討</p>
<p>授業外学習</p>	
<p>実習開始前に知識確認テストがあります。講義資料、テキストを復習してください。 実習事前準備として学習をし、積極的に実習に取り組んでください。 課題に沿ってレポートを作成し、実習の振り返りを行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習ガイドブック在宅看護論実習2024年度</p>	<p>在宅看護論、在宅看護論</p>

課題に対するフィードバック

記録物に対しては必要時その場で指導を行います。

備考

科目名	成人看護学実習（周手術期）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	梁元 陽子、加藤 かすみ	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

周手術期にある患者・家族を理解し、手術療法による侵襲から生活機能の回復、社会復帰に向けた看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに患者・家族の健康問題解決に向けた社会資源の活用や看護の継続性ならびに多職種との連携について学ぶ。
梁元陽子、加藤かすみは、看護師として実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標

- 【B3409a】
- 1.周手術期にある患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。
 - 2.周手術期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。
 - 3.手術療法の必要性、術式、麻酔法、手術侵襲による身体への影響について説明できる。
 - 4.手術療法が術後回復に及ぼす影響について説明できる。
 - 5.手術療法を受けた患者の全身状態を把握し、回復の促進、術後合併症・二次障害の予防、苦痛緩和、生活適応に向けた看護を実践できる。
 - 6.周手術期における看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。
 - 7.カンファレンスを通じて、多角的・総合的な視点から看護を考察できる。
 - 8.看護学生として自らの課題を明らかにし、医療チームの一員であり且つ専門職者としてとるべき態度を考察できる。
 - 9.自己が実践した看護についてプレゼンテーションできる。

成績評価方法

事前学習、実習内容・態度・意欲・取り組み、実習記録・最終レポート、プレゼンテーションについて、「成人看護学実習（周手術期）評価表」に基づき評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に沿って実習を行う。 ・実習では、オリエンテーション、臨地実習、学内実習を実施する。 ・患者を受け持ち看護過程を展開する。 ・実習において経験した看護技術は、「基礎看護技術項目の履修領域と到達度」に記録し、経験できていない看護技術を明確にし、積極的に経験する。 	実習 ディスカッション プレゼンテーション
授業外学習	
バイタルサイン測定や周手術期における基本となる看護技術は、実習前までに練習しておく。 提示された事前学習を実施する。 受け持ち患者の情報提供後、すぐに病態関連図を作成する。 受け持ち患者の全体像をとらえた後、アセスメント、看護計画立案を実施する。 指導者や患者に質問されたことは、必ず翌日までに調べる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1]～[15] 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2][3] 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 医学書院 NANDA-I看護診断 定義と分類 2021～2023 原書12版 医学書院 参考書：看護診断ハンドブック 第12版 医学書院 基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論 成人看護援助論、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

実習記録等に必要時コメントを記入し指導する。

備考

「看護学臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」をよく読んで内容を理解して実習に臨む。

科目名	成人看護学実習（慢性期）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	加藤 かすみ、梁元 陽子	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

慢性期にある患者・家族を理解し、生活機能の回復、健康の維持・増進、生活適応に向けた看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに、患者・家族の健康問題解決に向けた社会資源の活用や看護の継続性ならびに多職種との連携について学ぶ。

加藤かすみ、梁元陽子は、看護師として実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標

【B3410a】

- 慢性期にある患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。
- 慢性期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。
- 治療を受けている患者の全身状態を把握し、生活機能の回復、二次障害の予防、苦痛緩和、健康の維持・増進、生活適応に向けた看護を実践できる。
- 慢性期にある患者・家族のセルフケア能力をアセスメントし、疾病および生活が自己管理できるような看護を実践できる。
- 慢性期における看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。
- カンファレンスを通じて、多角的・総合的な視点から看護を考察できる。
- 看護学生として自ら課題を明らかにし、医療チームの一員であり且つ専門職としてとるべき態度を考察できる。
- 自己が実践した看護についてプレゼンテーションできる。

成績評価方法

事前学習、実習内容・態度・意欲・取り組み、実習記録・最終レポート、プレゼンテーションについて、「成人看護学実習（慢性期）評価表」に基づき評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に沿って実習を行う。 ・実習では、オリエンテーション、臨地実習、学内実習を実施する。 ・患者を受け持ち看護過程を展開する。 ・実習において経験した看護技術は、「基礎看護技術項目の履修領域と到達度」に記録し、経験できていない看護技術を明確にし、積極的に経験する。 	実習 ディスカッション プレゼンテーション
授業外学習	
<p>バイタルサイン測定や基礎的な看護技術は実習前までに練習しておく。 提示された事前学習を実施する。 受け持ち患者の情報提供後、すぐに病態関連図を作成する。 受け持ち患者の全体像をとらえた後、アセスメント、看護計画立案を実施する。 指導者や患者に質問されたことは、必ず翌日までに調べる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1]～[15] 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2][3] 医学書院 NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版 医学書院 参考書：看護診断ハンドブック 第12版 医学書院 基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論、成人看護援助論、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

実習記録等に必要時コメントを記入し指導する。

備考

「看護学臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習」「看護学臨地実習 成人看護学実習 記録用紙及び評価表」をよく読んで内容を理解して実習に臨む。

科目名	成人看護学実習（成人統合）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	加藤 かすみ、梁元 陽子	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要
 成人期における患者・家族の苦悩・体験を理解し、急性・慢性期にある患者・家族に対し、疾患・治療の特徴を踏まえた患者・家族の成長を促進し、病気を自己の人生の中で統合できるような関わりを通して全人的な看護を実践する能力を習得する。加藤かすみ、梁元陽子は、看護師として実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標	成績評価方法
【B3411a】 1.成人期における患者・家族の苦悩・体験を理解する。 2.成人期における患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。 3.成人期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。 4.治療を受けている患者の全身状態を把握し、生活機能の回復、二次障害の予防、苦痛緩和、健康の維持・増進、生活適応に向けた看護を患者の視点に立って実践できる。 5.成人期における患者・家族のセルフケア能力をアセスメントし、患者・家族が疾病および生活が自己管理でき、その成長を促進するような看護を実践できる。 6.成人期における患者・家族の実存的側面を理解し、患者・家族が病気を自己の人生の中で統合できるような関わりができる。 7.看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。 8.カンファレンスを通じて、多角的・総合的な視点から看護を考察できる。 9.看護学生として自ら課題を明らかにし、医療チームの一員であり且つ専門職者としてとるべき態度を考察できる。 10.患者・家族がどのように成長し、病気を自己の人生の中で統合できるような関わりができたかについて実践した看護のプレゼンテーションができる。	事前学習、実習内容・態度・意欲・取り組み、実習記録・最終レポート、プレゼンテーションについて、「成人看護学実習（成人統合）評価表」に基づき評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション時に配布する「看護臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に沿って実習を行う。 ・実習では、臨地実習、学内実習を行う。 ・実習において経験した看護技術は、「基礎看護技術項目の履修領域と到達度」に記録し、経験できていない看護技術を明確にし、積極的に経験する。 	実習 ディスカッション グループワーク プレゼンテーション
授業外学習	
提示された事前学習を実施する。 テーマに基づくディスカッションやプレゼンテーションの準備を行う。 指導者に質問されたことは、必ず翌日までに調べる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1]～[15] 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 医学書院 はじめてのフィジカルアセスメント メヂカルフレンド社 NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版 医学書院 参考書：看護診断ハンドブック 第12版 医学書院 基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論、成人看護援助論、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

実習記録、課題学習、課題レポート等については、必要時コメントを記入し指導する。

備考

「看護臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」「看護臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」をよく読んで内容を理解して実習に臨む。

科目名	小児看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	金川 真理	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

- ・本授業は対面で実施する。
- ・小児の成長発達過程とさまざまな健康レベルにある小児を理解するとともに、健康障害をきたした小児とその家族への看護実践方法について学ぶ。小児科病棟、小児科外来、幼稚園にて2週間の実習を行う。
- ・金川真理は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、小児看護学実習について授業を行う。

到達目標

B3412a

- 1)小児とその家族を理解し、良好な関係形成ができる。
- 2)疾病や障害をもつ小児に対して、成長発達の促進、健康維持増進に向けた援助が実施できる。
- 3)受け持ち患児の看護過程を展開し、適切な援助を理解するとともに、その一部が実施できる。
- 4)小児看護に必要な基本的看護技術を習得する。
- 5)実習を通して、小児看護の役割を考えることができる。
- 6)外来を訪れる患児とその家族に対する援助と看護の役割を述べることができる。
- 7)健康な幼児の成長発達の特徴が理解できる。
- 8)基本的な生活習慣の状況と自立を促すための関わり方が理解できる。
- 9)年齢に応じた遊びの特徴が理解できる。
- 10)子どもに多い事故を理解し、安全と健康の管理の方法が理解できる。

成績評価方法

事前課題、提出記録物、レポート等から総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		85

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーション時に配布する「2024年度看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習」に沿って実習を行う。 	実習前の事前課題、実習前・実習中 ・まとめの会（学内）のグループ演習やグループカンファレンス
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習課題を必ず行って臨むこと ・既習科目はすべて復習して臨むこと ・事後の振り返り・まとめ・助言・指導を受けての記録の修正ができること 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ol style="list-style-type: none"> 1. 奈良間美保、他：医学書院 系統看護学講座専門分野 小児看護学概論・小児臨床看護総論 1 2. 奈良間美保、他：医学書院 系統看護学講座専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学2 	小児看護総論・小児看護援助論・母性看護総論・母性看護援助論・看護過程論

課題に対するフィードバック

- ・実習前の課題、実習中の記録物、実習後レポートについてはコメントをつけて返却する。追加修正が必要な場合は、再提出を求め、実習到達目標の達成を図る。

備考

- ・実習オリエンテーション時に配布する「2024年度看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習」の内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名	母性看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	安成 智子	関連する資格	看護師	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 妊産褥婦および胎児/新生児とその家族の特徴を包括的に理解し、援助するための看護実践方法について学ぶ。
 臨地実習と学内実習を組み合わせで行う。
 安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、学生の技術習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標	成績評価方法
B3413a 1. 妊婦/胎児とその家族のアセスメントを通して、対象者の全体像を理解することができる。 2. 産褥期の母子のよりよい適応や成長発達を促すようなウェルネス型の看護過程を展開することができる。 3. 地域における妊婦・母子および家族の生活と、対象者に必要な看護を理解することができる。 4. 母子保健医療チームの一員としての看護師の役割や、他職種との連携について理解することができる。	知識・技術を用いて対象を理解し、看護を展開しようとする能力を、意欲・態度を含め、本人の行動と記録から総合的に評価する。 実習記録60%・授業態度20%・プレゼンテーション(事例発表/検討)20%とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○	○				60
授業態度・授業参加度			○	○	○		20
プレゼンテーション	○	○		○			20
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>看護学臨地実習ガイドブック参照 担当教員が各担当施設での臨地実習を指導する。</p>	<p>学内演習では、DVD視聴、ロールプレイ、モデルを用いた技術練習等を通して模擬患者への看護実践を予習する。 臨地実習では、受持ち母子および妊婦に対するアセスメントをはじめとする看護過程の展開を行う。事例検討会ではグループディスカッションを行う。</p>
授業外学習	
<p>社会における女性・母子・家族を取り巻く問題に普段から関心を持ち、ニュースにも目を通しておきましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>各自でテキスト「母性看護学各論」・授業配布資料を活用すること。その他、教員が参考書・DVD教材を準備する。</p>	<p>看護過程論 母性看護総論 母性看護援助論</p>

課題に対するフィードバック

臨地・学内実習のいずれにおいても、課題は指定された日に提出すること。教員は必要部分について指導ならびに再提出を指示し、口頭と記録用紙のコメントにてフィードバックを行う。

備考

実習の基盤となる知識として、テキスト「母性看護学各論」の内容は非常に重要である。事前学習を十分にしておくこと。

科目名	看護管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	3年	後期
担当者名	加藤 かすみ、和氣 さち	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

授業は対面で実施する。

質の高い看護サービスを提供するために、看護管理においては、患者に対する看護師の1つひとつの「ケア」を組織的な看護サービスとしてマネジメントすることの必要性について理解する。また、看護専門職としての責務の視点から、看護の組織に属するメンバー1人ひとりが看護管理の知識を持ち、あらゆる場でそれらの知識を活用し看護管理を実践することの必要性を学ぶ。さらに、根拠をふまえた看護業務を行うために、看護を取り巻く諸制度、関連する組織や仕組みについて学ぶ。加藤かすみ、和氣さちは、看護師、看護管理の実務経験をもとに講義を実施する。

到達目標

B3101

1. 看護管理とは何か述べることができる。
2. 看護ケアの提供者に必要な機能について述べるができる。
3. 看護専門職に必要なセルフマネジメントについて説明できる。
4. 看護サービスにおけるマネジメントの内容を説明できる。
5. マネジメントに必要な知識、技術について述べるができる。
6. 看護を取り巻く諸制度について説明できる。

成績評価方法

小テスト、グループワーク、定期試験より総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	シラバスの説明 第1章 看護におけるマネジメント（加藤） 【予習】第1章を読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
2)	第2章 看護ケアのマネジメントA・B（和氣） 【予習】第2章A・Bを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
3)	第2章 看護ケアのマネジメントC（和氣） 【予習】第2章Cを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
4)	第2章 看護ケアのマネジメントD・E（加藤） 【予習】第2章D・Eを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
5)	第3章 看護職としてのセルフマネジメント（加藤） 【予習】第3章を読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
6)	第4章 看護サービスのマネジメントA・B・C-（加藤） 【予習】第4章A・B・C- を読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	小テスト
7)	第4章 看護サービスのマネジメントC- ・D（加藤） 【予習】第4章C- ・Dを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
8)	第4章 看護サービスのマネジメントE・F・G（加藤） 【予習】第4章E・F・Gを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
9)	第4章 看護サービスのマネジメントH・I・J（加藤） 【予習】第4章H・I・Jを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
10)	第4章 看護サービスのマネジメントK 第5章 マネジメントに必要な知識と技術A・B（加藤）【予習】第4章H・I・J、第5章A・Bを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
11)	第5章 マネジメントに必要な知識と技術C・D（加藤） 【予習】第5章C・Dを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
12)	第6章 看護を取り巻く制度A（加藤） 【予習】第6章Aを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	小テスト
13)	第6章 看護を取り巻く制度B・C（加藤） 【予習】第6章B・Cを読んでくる（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
14)	「質のよい看護とは何か、そのために実践することは何か」意見交換（加藤） 【予習】意見交換に向けて自分の考えをまとめる（30分） 【復習】発表内容の確認・検討（60分）	グループワーク
15)	「質のよい看護とは何か、そのために実践することは何か」発表（加藤） 【予習】発表準備、質問対応（30分） 【復習】講義のまとめのノート最終確認（60分）	プレゼンテーション
授業外学習		
授業前は予習としてテキストの指定範囲を読み、授業後は復習として講義のまとめのノート作成を必ず実施して、講義に出席する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：系統看護学講座 専門分野 看護管理 看護の統合と実践1 医学書院 参考書：ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践 看護管理 MCメディカ出版		看護学概論、看護情報学、医療安全管理学 総合看護実習

課題に対するフィードバック

小テスト の解答は講義の中で説明する。

備考

科目名	身体コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	前期
担当者名	佐藤 美幸、和氣 さち、弘中 陽子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

コミュニケーションの重要性をふまえて、様々な看護場面において対象に応じた方法を用いて対象者と接することができるよう、知識と技術を実践的に学ぶ。具体的には、コミュニケーションスキル、レクリエーション、アロマセラピー、タッチングなどの技術を通して、それらを実践に活用するための基礎的能力を養う。
本講義は、対面授業を行う。

(佐藤、和氣は看護師としての実務経験をもとに、授業を行う。)

到達目標

B2410

1. 医療現場におけるコミュニケーションの重要性について理解できる
2. 様々なコミュニケーション技法について知ることができる
3. 音楽療法、レクリエーション、アロマセラピーの看護への応用の方法が理解できる
4. 対象に応じたレクリエーションの企画・運営ができる
5. コミュニケーションの技術を用いて対象との良好な関係を持つことができる

成績評価方法

最終課題レポート、授業内レポート、グループワーク、演習等にて評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○				70
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション		○	○	○	○		5
グループワーク	○	○	○		○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 医療の現場におけるコミュニケーション1 コミュニケーションとは（佐藤） 【予習】シラバスを確認する（15分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	演習
2) 医療の現場におけるコミュニケーション2 コミュニケーションのズレ（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	演習
3) 医療の現場におけるコミュニケーション3 多様性を理解する（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	グループワーク
4) アロマセラピーの看護への活用1（和氣） 【予習】アロマセラピーについて調べておく（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	アロマセラピーを体験する(演習)
5) アロマセラピーの看護への活用2（和氣） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	ハンドマッサージを体験する（演習）
6) 身体を使ったコミュニケーションスキル（レクリエーション）（弘中） 【予習】レクリエーションについて調べておく（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	レクリエーションの体験をする（演習）
7) レクリエーションを考えてみよう1 （佐藤） 【予習】グループワークのための材料を集める（60分） 【復習】グループで考えたレクリエーションが行えるよう準備する（30分）	グループワーク
8) レクリエーションを考えてみよう2 （佐藤） 【予習】グループワークの発表のための準備を行う（60分） 【復習】実際に行ったレクリエーションについて、振り返る（30分）	グループワーク、レクリエーションを実施するとともに他のグループのレクに参加する
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>時間外での学習は主に復習を中心に行って下さい。 連続している授業は、授業前に前回の資料に目を通して復習しておいて下さい。、</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	看護学概論 コミュニケーション論 精神看護総論、精神看護援助論

課題に対するフィードバック

授業内でコメントする。
グループワークでシェアを行う。

備考

演習・グループワークが多い科目です。自ら学ぶ姿勢で臨んで下さい。
コミュニケーション演習では、学生にペアになって様々な話をしてもらいます。
演習で知り得たことは他者に話したりしないで下さい。

科目名	国際看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	金川 真理、梁元 陽子	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

授業概要

本授業は対面で実施する。

看護の対象は「人間」であり、看護という概念には、国境も人種も、文化も超えた国際看護という考え方が備わっている。本講義では、すべての看護職者に必要な国際看護に関する知識の基礎を学ぶ。

金川真理・梁元陽子は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、国際看護論について授業を行う。

到達目標

B3502

1. 国際的視野を広げることができる。
2. 異文化・多文化を理解することができる。
3. 世界や在日外国人の現状・課題・支援について理解できる。

成績評価方法

成績評価方法

科目の評価は、定期試験（レポート試験50点）、中間テスト（20点）、小テスト（3点）、授業内レポート（8点）、授業外課題レポート（4点）、プレゼンテーション（15点）の合計で行う。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				11
宿題、授業外レポート	○	○	○				4
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○			15
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 国際看護のすすめ、日本の国際協力（金川真理） 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習（30分）	授業内課題レポート
2) 「人間の安全保障」と国際機関（金川真理） 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）	授業内課題レポート グループワーク
3) 異文化の理解、異文化コミュニケーション（梁元陽子） 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、課題レポートの作成（60分）	授業外課題レポート、 小テスト
4) 国際移動する看護師、性の多様性（梁元陽子） 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習（60分）	授業外課題レポート
5) 健康格差と世界の貧困、プライマリヘルスケア（金川真理） 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）	授業内課題レポート、 グループワーク
6) 災害と看護（金川真理） 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）	授業内課題レポート、 グループワーク
7) 感染症とスティグマ、紛争と難民（金川真理） 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）	中間テスト、 グループワーク
8) 国際協力への理解を深める（金川真理） 【予習】プレゼンテーションの準備（60分） 【復習】講義内容の復習、レポート試験の準備（60分）	プレゼンテーション、 レポート試験課題提示
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
1. 小テストおよび中間テストは講義済の内容から出題します。復習を欠かさずに行ってください。 2. 授業内課題レポートおよび授業外課題レポートは講義内容に即したテーマです。 3. 予習は、看護師国家試験過去問題の関連分野を行ってください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト なし 参考図書 講義内で提示します。	看護学概論、災害看護論

課題に対するフィードバック

- ・ 課題内容に適時コメントします。
- ・ 中間テストは採点して返却する。全体に向けた好評の中で理解が不十分な点や間違いやすい点等は、授業中にフィードバックします。

備考

- ・ 試験の受験資格は全講義の3分の2以上の出席で付与されます。出席・欠席の管理は各自で行ってください。教員より欠席回数の通知はありません。

科目名	地域体験実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	2年	後期
担当者名	立川 美香、山本 博美、柿並 洋子、和氣 さち、江口 恵里	関連する資格	看護師 保健師	

授業概要

地域で生活している様々な発達段階にある人々との直接的な関わりを通して、看護の対象者としての人々の日常生活の営みやそれを取り巻く環境を理解する。また人の発達段階における身体的・心理的・社会的特徴を捉え、発達段階に応じた関わり方を学ぶ。実習は社会福祉協議会とその関連事業、デイサービス、デイケア、グループホーム、介護老人保健施設等で行う。

到達目標 ナンバリング(B2503ah)	成績評価方法
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で生活する高齢者や母子と関わり、健康な地域住民の生活状況を把握する。 2. 地域で生活する人々の健康段階、発達段階の身体的・心理的・社会的特徴を述べることができる。 3. 地域で生活する人々の発達段階に応じた関わり方ができる。 4. 他世代とのコミュニケーションが円滑にとれる。 5. 地域で生活する人々を支援するための看護職の役割を考える。 6. 看護職者と協働する他職種について、その種類と支援の特徴および連携の重要性がわかる。 	実習記録 授業外レポート グループワークでの成果物

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							80

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
1. 宇部市社会福祉協議会の子育て支援事業、高齢者向け事業で実習を行う（3日間）、学内の実習（1日） 2. 高齢者のデイサービス、デイケア、高齢者福祉施設およびグループホームでの実習を行う（4日間） 3. 施設見学（1日） 4. 1～3を踏まえて地域で生活する人々の発達段階・健康段階についてまとめる（1日）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に必要な知識をテキスト等で予習してきてください。 ・ 実習先の地域の概要について事前に調べてください。 ・ 授業後は実習で学んだ事をテキスト等で復習してください。 ・ グループワークに必要な知識の強化と資料収集をしてください。 ・ グループワークの時間内に円滑な学習経過が辿れない場合は、次回のグループワークまでに遅延を取り戻してください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
実習ガイドブック	基礎看護学実習、老年看護学実習、成人看護学実習 老年看護学実習、母性看護学実習、小児看護学実習 公衆衛生看護基礎実習、公衆衛生看護学実習

課題に対するフィードバック

実習レポートは評価後学生に返却します。

備考

科目名	看護研究方法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	後期
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、磯村 由美	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

看護における研究の意義、研究の倫理、ならびに研究方法論を習得する。これまでの学習を通して芽生えた問題意識を研究テーマへと発展させる。また課題の究明に求められる研究的な学習の進め方、研究に重要な科学的かつ論理的な思考方法を学ぶ。授業は対面で行う。

(佐藤、磯村は看護師、安成は看護師・助産師、および大学教員としての実務経験に基づいて授業を行う。)

到達目標

B3301h

- 1) 看護における研究の意義、必要性を説明できる。
- 2) 研究を通して、科学的・論理的思考を習得する。
- 3) 研究の展開方法について説明できる。
- 4) 各研究方法論の概要について説明できる。
- 5) 研究論文のクリティークを行うことができる。
- 6) 研究計画書の書き方を習得する。
- 7) 研究における倫理的配慮の重要性について説明できる。

成績評価方法

試験およびレポート、グループワークなどを総合的に評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート			○				30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	全体オリエンテーション/研究とは（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
2)	看護研究のはじめ方 - リサーチクエストをたてる（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
3)	文献レビューとその方法（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	課題（文献レビュー）
4)	研究における倫理的配慮（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
5)	研究デザインとデータの収集 1 研究デザインの選択、整理（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
6)	研究デザインとデータの収集 2 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
7)	研究デザインとデータの収集 3 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
8)	研究デザインとデータの収集 4 量的研究（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
9)	研究デザインとデータの収集 5 量的研究（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
10)	データ分析（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
11)	研究を伝える - 学会発表・論文作成（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
12)	研究計画書の作成（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
13)	文献検討（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	グループワーク 事前課題
14)	文献検討（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	グループワーク 事前課題
15)	まとめ（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（60分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（30分）	
授業外学習		
教科書の該当ページには必ず目を通してから授業に臨んで下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
坂下玲子ほか 系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院		既習科目すべて 研究

課題に対するフィードバック

授業内でコメントするとともに、グループワークを通じて他の学生と学習内容のシェアをおこなう。

備考

科目名	公衆衛生看護支援論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	4	3年	前期			
担当者名	立川 美香、山崎 千鶴代、山本 博美		関連する資格	保健師 看護師			
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・授業は対面でおこなう ・人びとが自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図ること（セルフケア力の向上）を支援するための保健指導方法の基本的考え方と実践方法について演習等を通して学ぶ。 ・集団における教育方法の基本的考え方と実践方法についてグループワーク等を通して学ぶ。 ・地域の人びとや医療、福祉などの他職種、機関との協働のあり方とその実践方法を学ぶ。 【実務経験】 立川美香、山崎千鶴代、山本博美、滝川洋子は、保健師としての実務経験をもとに授業を行う。							
到達目標 【B3503h】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対する個別的指導方法を理解し、説明できる。 ・対象別に必要な集団保健指導方法を理解し、説明できる。 ・対象が必要とする健康教育を実践するためのプロセスを理解し、演習としてグループワークを経てプレゼンテーションができる。 ・地域の人びと、関係者・機関との協働について理解し、説明できる。 			成績評価方法 授業態度・授業参加度（10%） グループワーク・プレゼン（20%） 小テスト・レポート内容（10%） 定期試験結果（60%） 上記を基準として総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 地域で展開される公衆衛生看護活動の実際（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	レポート
2) 健康の概念とプライマリヘルス・ヘルスプロモーション（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
3) 保健指導（目的・対象・技術）（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
4) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
5) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
6) 健康診査の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
7) 家庭訪問の目的・対象・技術・進め方（山本博美） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
8) 家庭訪問における家族の捉え方とエコマップ（山本博美） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	レポート
9) 家庭訪問 演習（山本博美・立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
10) 家庭訪問 演習（山本博美・立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
11) 家庭訪問 演習（山本博美・立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
12) 家庭訪問 演習（山本博美・立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
13) 家庭訪問 演習（山本博美・立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
14) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：エコマップ（山本・立川・山崎） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
15) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：場面（山本・立川・山崎） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
16) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：場面（山本・立川・山崎） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
17) 健康教育の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
18) 健康教育の理論と実践（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
19) 健康教育 演習（立川美香・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
20) 健康教育 演習（立川美香・山本博美・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク

21)	健康教育 演習 (立川美香・山本博美・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
22)	健康教育 演習 (立川美香・山本博美・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
23)	健康教育 演習(中間)(立川美香・山本博美・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
24)	健康教育 演習 (立川美香・山本博美・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
25)	健康教育 演習 (立川美香・山本博美・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
26)	健康教育 演習 (立川美香・山本博美・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
27)	健康教育 プレゼンテーション (立川美香・山本博美・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
28)	健康教育 プレゼンテーション (立川美香・山本博美・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
29)	地域組織活動の展開(滝川洋子) 【予習】テキストを読む(30分) 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分)	
30)	セルフヘルプグループ活動とその支援(滝川洋子) 【予習】テキストを読む(30分) 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分)	

授業外学習

- ・保健師選択科目で使用使用するテキスト以外でも、必要に応じ他の科目のテキストを読むこと。
- ・図書館の本や雑誌、新聞、視聴覚教材など、テキスト以外のものを活用し予習・復習をすること。
- ・復習する際には、授業の内容に該当する保健師国家試験問題を解き、不明な所は授業中必ず質問をすること。

テキスト、参考書、教材

- ・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会
- ・「公衆衛生看護学概論」第6版医学書院
- ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2023/2024

関連する科目

コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、家族論・家族関係論、公衆衛生看護学概論、在宅看護総論、在宅看護援助論、総合ゼミナール、災害看護論、チーム医療論、保健医療福祉行政論

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じコメントを記入したり授業の中で説明します。課題は前期終了までに返却しますので、公衆衛生看護基礎実習に活用できるように整理をしておいてください。

備考

- 保健師ノートについて
- ・自己学習した内容を保健師ノートにファイルしてください。
 - ・このノートは4年生まで活用します。

授業の心得

- ・授業中や演習では積極的に発言・参加すること。
- ・授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。

- ・授業の出席日数は各自で管理してください。
- ・授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。

科目名	公衆衛生看護活動論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	4	3年	前期
担当者名	山崎 千鶴代、立川 美香、新開 奏 恵、山本 博美	関連する資格	保健師	

授業概要

・本授業は対面で実施する。

・ライフサイクル（母子・成人・高齢者）に応じた保健活動や健康問題（精神・感染症・結核・難病・障害児者等）に対する保健活動、社会集団（学校・産業）を対象とした保健活動等の法的根拠や政策をもとに、それぞれの対象への保健指導の基本や実践について講義、グループ学習・プレゼンなどをおして理解する。

・保健師の地域の人々や医療・福祉等の多職種との協働やマネージメントについて、講義やグループ学習をとおして理解する。

『実務経験』 滝川洋子・立川美香・山本博美・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに、公衆衛生看護活動全般の授業を行う。
新開奏恵は養護教諭実務経験をもとに学校保健の授業を行う。

到達目標

『B3504h』

1. 対象別保健の動向・施策や制度を理解し説明できる。
2. 対象別の健康課題と保健指導の内容を理解し説明できる。
3. 産業保健の職域の特徴と対象者の健康課題を理解し説明できる。
4. 産業保健における保健師の職務と役割を理解し説明できる。
5. 学校保健の対象と健康課題を理解し説明できる。
6. 学校保健における養護教諭の職務と役割を理解し説明できる。
7. 保健師の役割及び住民や他職種との連携・協働を理解し説明できる。

成績評価方法

- ・授業態度・授業参加度
プレゼンテーション
グループワーク
演習、
定期試験結果
上記等を総合して評価する。
- ・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。
- ・遅刻3回で1回欠席とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							10
グループワーク							5
演習							5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 母子保健活動；母子保健指導の動向 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
2) 母子保健活動；母性各期の健康課題と保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
3) 母子保健活動；乳幼児期の成長発達と保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
4) 母子保健活動；ハイリスクの母子への保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
5) 成人保健活動；成人保健の動向 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
6) 成人保健活動；成人期の保健活動・保健指導 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
7) 高齢者保健活動；高齢者保健の動向 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
8) 高齢者保健活動；高齢者の生活と保健指導 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
9) 高齢者保健活動；在宅要援護高齢者と家族への保健指導 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
10) 精神保健活動；精神保健の動向 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
11) 精神保健活動；精神障害者の生活上の障害と保健指導 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
12) 精神保健活動；社会病理を背景とする主な疾患 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
13) 障害者（児）保健活動；障害者保健の動向 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
14) 障害者（児）保健活動；障害者保健施策と保健活動 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	グループワーク
15) 難病保健活動；難病対策の動向 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
16) 難病保健活動；難難病患者の生活と保健指導 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	グループワーク
17) 感染症保健活動；感染症保健の動向 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
18) 感染症保健活動；感染症保健施策と保健活動 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
19) 感染症保健活動；疾病管理 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
20) 感染症保健活動；感染症集団発生 「予習」テキスト第12章Bを読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	グループワーク

21)	歯科保健活動；歯科保健の動向と保健活動の実際 「予習」テキスト第8章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	グループワーク
22)	産業保健活動；産業保健の動向 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
23)	産業保健活動；産業保健の制度とシステム 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
24)	産業保健活動；産業保健における健康課題 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
25)	産業保健活動；産業保健の展開 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分）立川美香 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
26)	学校保健活動；学校保健の動向 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏恵	グループワーク
27)	学校保健活動；学校保健の制度とシステム 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏恵	グループワーク
28)	学校保健活動；学校保健・看護の現状と健康課題 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏恵	グループワーク
29)	学校保健活動；養護教諭の職務と保健室の機能 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏恵	グループワーク
30)	総括 代 滝川洋子・立川美香・山本博美・新開奏恵・山崎千鶴	レポート

授業外学習

- ・事業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。
- ・第2回にプレゼンテーションの課題をいくつか提示、その中から自ら選択し、レポート作成すること。レポートに沿って、授業開始時発表、その後発表内容についてグループ討議を行う。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保健師業務要覧」第4版日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学総論」第3版 日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学各論1」第3版 日本看護出版会 「公衆衛生看護学概論」第6版 医学書院 「国民衛生の動向」2024/2025 厚生労働統計協会	公衆衛生学、疫学、保健統計、保健医療福祉行政論、社会保障論、社会福祉論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護支援論、公衆衛生看護管理論、家族・家族関係論、在宅看護総論、在宅看護援助論

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じ説明する。
課題レポートは最終的に返却する。

備考

授業中の携帯電話等の使用は教員の指示がない限り使用禁止する。

担当講師の都合により、授業計画の順番が変更することがあるが、その際は前もって知らせる。

科目名	公衆衛生看護管理論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	4	3年	後期
担当者名	山崎 千鶴代、立川 美香、山本 博美	関連する資格	保健師	

授業概要

・本授業は対面で実施する

・地域に顕在あるいは潜在している健康課題の把握方法、疫学データ及び保健統計等を用いた地域診断および地域診断に基づく活動計画と評価を行い、社会資源の管理/開発・システム化・施策化につながる過程について講義や演習等をおして理解する。

・さまざまな健康危機(予防体制、発生時の対応・回復期の対応)を理解する。
 ・学習手段として、グループワークや学生間での意見交換を積極的に導入する。

『実務経験』滝川洋子・立川美香・山本博美・山崎千鶴代は保健師実務経験にもとに、公衆衛生看護管理活動全般及び地域診断について授業を行う。

到達目標

B3505h

1. 地域診断の方法を理解し、地域の健康課題をアセスメントできる。
2. 公衆衛生看護活動の計画・実践・評価について理解し説明できる。
3. 事業計画の策定、進行管理、評価の方法を理解し説明できる。
4. 公衆衛生看護管理の目的およびその機能を理解し説明できる。
5. 健康危機管理・リスクマネジメントについて理解し説明できる。

成績評価方法

- ・授業態度・授業参加度
グループワーク・プレゼンテーション
レポート、定期試験
上記を基準として総合的に評価する。
- ・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。
- ・遅刻3回で1回欠席とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							15
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公衆衛生看護活動とは 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
2) 公衆衛生看護活動における看護過程 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
3) 地区活動の基本と対象のとらえ方 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
4) 公衆衛生看護活動における地域診断 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
5) 地区活動の展開 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
6) 地区診断の実際 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
7) 地域診断 演習の進め方 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
8) 地域診断 演習 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
9) 地域診断 演習 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	グループワーク
10) 地域診断 演習 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
11) 地域診断 演習 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
12) 地域診断 演習中間プレゼンテーション 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	プレゼンテーション
13) ヘルスケアシステムの概要 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
14) 保健計画と実践（福祉施策を含む） 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
15) 地域診断 演習 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること(30分) 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
16) 地域診断 演習 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
17) 地域診断 演習 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
18) 地域診断 演習 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
19) 地域診断 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク
20) 地域診断 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク

21)	地域診断 演習プレゼンテーション 滝川洋子・立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
22)	地域診断 演習プレゼンテーション 滝川洋子・立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
23)	公衆衛生看護管理の概念・目的・機能 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
24)	公衆衛生看護管理 業務管理と情報管理 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
25)	地区視診 演習プレゼンテーション 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
26)	地区視診 演習プレゼンテーション 立川美香・山本博美・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
27)	公衆衛生看護管理 予算管理・人材管理・人材育成 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	グループワーク
28)	地域看護診断・地区視診のまとめ 山崎千鶴代 「予習」地域看護診断・地区視診の演習の振り返り(30分) 「復習」地域看護診断・地区視診について内容確認(60分)	グループワーク
29)	公衆衛生看護管理 健康危機管理 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
30)	公衆衛生看護管理 健康危機管理 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	

授業外学習

- ・授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読すること。また、授業後はテキスト該当単元を復習すること。
- ・グループワークおよびプレゼンテーションに必要な知識の強化を図ること。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保健師業務要覧」第4版日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学総論」第3版 日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学各論1」第3版 日本看護出版会 「公衆衛生看護学概論」第6版 医学書院 「国民衛生の動向」2024/2025 厚生労働統計協会 「行政看護学」金子仁子	公衆衛生学、疫学、保健統計、保健医療福祉行政論、社会保障論、社会福祉論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学支援論、公衆衛生看護管理論、データの科学的な見方

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じてコメントしたり、授業で説明する。課題は後期終了までに返却する。

備考

授業の心得

- 授業中や演習では積極的に発言・参加すること。
- 授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。
- 授業中の携帯電話の使用は、教員の指示がない限り使用しないこと。

授業日程や担当講師の都合により、授業計画の順番を変更することがあるが、その際は事前に知らせる。

科目名	保健医療福祉行政論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	三輪 直之	関連する資格	保健師国家試験受験資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。

近年のコロナ禍の影響等により、国民の疾病予防に対する関心や健康ニーズは一層高まっている。そのような状況の中で、保健師の主たる活動の場である保健所等の役割も、多様化・複雑化している。また、地域包括ケアシステムの導入等により、保健師が地域包括ケアシステムの一員として地域保健活動に携わることが期待されている。そのため、保健師が国民の健康課題を解決していくうえで、あらかじめ保健医療福祉行政とその役割、他機関との連携について理解しておくことは、意義があると考えられる。

本授業では、上記の実態を踏まえ、保健医療福祉行政の内容と背景、他機関との連携について修得することを目的としている。

到達目標

ナンバリング(B3506h)

保健医療福祉行政の意義、しくみが説明できる。

保健医療福祉行政に関する現状と課題について説明できる。

保健医療福祉行政の職務内容について説明できる。

多職種連携について説明できる。

成績評価方法

定期試験および小レポートの内容で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保健医療福祉行政の根拠（「行政」「行政機関」についての理解） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
2) 保健医療福祉行政の根拠（保健医療福祉行政の活動根拠となる諸規程等） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
3) 保健医療福祉行政のしくみと役割（国、地方公共団体の役割） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
4) 保健医療福祉行政のしくみと役割（公衆衛生行政） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
5) 保健医療福祉財政のしくみ（国、地方公共団体の財政とその役割） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
6) 保健医療福祉財政のしくみ（財源、予算、決算、給付） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
7) 地域保健行政（都道府県、政令市の行政） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
8) 地域保健行政（市町村の行政） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
9) 保健医療福祉行政の制度の変遷（萌芽から1980年代まで） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
10) 保健医療福祉行政の制度の変遷（1990年代以降） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
11) 保健医療福祉の計画と評価（保健医療福祉計画の構造と内容） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
12) 保健医療福祉の計画と評価（地域保健計画の策定プロセス） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
13) 保健医療福祉の計画と評価（地域保健計画の推進と評価） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
14) 保健活動における関係機関との連携（地域、職域、学校等との連携） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
15) 保健活動における関係機関との連携（多職種連携） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分）	
授業外学習	
<p>予習は、テキストの該当ページを読んでおくこと。はじめて見る語句については調べておくことが望ましい。別途、予習の内容を指示することがある。復習は、授業内容に関連する課題を提示するので翌週の授業までに小レポートを提出すること。小レポートはA4で1枚（12ポイント40行程度）にまとめること。小レポートの体裁については第1回の授業内で指示する。学んだ内容が、保健師の国家試験にどのような形式で出題されるのか過去問題集などで確認すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：標準保健師講座・別巻1『保健医療福祉行政論』 医学書院</p>	<p>公衆衛生看護支援論 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護管理論</p>

課題に対するフィードバック

提出された小レポートには、担当教員がコメントをつけて返却する。

備考

科目名	公衆衛生看護基礎実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	3年	後期
担当者名	立川 美香、山本 博美、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師 看護師	

授業概要

- ・ 公衆衛生看護学基礎実習では、市町村保健センターを中心に実習を展開する。
- ・ 既習及び学習中の公衆衛生看護学の知識・技術・態度を統合し、地域における看護の実際を体験する。
- ・ 保健活動を通して行政における看護活動に方法を理解する。

【実務経験】
立川美香、山崎千鶴代、山本博美は保健師としての実務経験のもとに、公衆衛生看護基礎実習の授業を行う。

到達目標 【B3507ah】	成績評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域保健法に基づいた市町村の役割を理解する。 ・ 対象者の健康と生活を多角的にアセスメントし、顕在的・潜在的健康課題を明らかにする。また健康課題解決の為の展開方法を思案する。 ・ 対象者が自尊心、自己効力感、意欲を持ち、持てる力を発揮する支援を理解する。 ・ 公衆衛生看護技術を通して、地域の社会的、文化的特性を踏まえて、地域の看護診断必要性や活用方法を理解する。 ・ 必要な社会資源の理解と利用、関係者・関係機関との連携のあり方を理解する。また、地域保健医療チームの一員としての看護職の役割と機能を理解する。 ・ 実習に関わる多職種や地域で生活する人々の意見を聴き、そのことに対して専門職としての自分の考えを述べることができる。 	<p>宿題、授業外レポート：事前学習への取り組み 小テスト、授業内レポート：実習後のレポート 授業態度・授業参加度：実習前後を含めての積極的な態度 プレゼンテーション：実習前後を含めて、自己を表現する態度 グループワーク：グループへの参加の態度 実習：実習前後を含めての積極的な態度</p> <p>上記を基準として総合的に評価する。</p>

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート	○			○	○		10
授業態度・授業参加度				○			50
プレゼンテーション							10
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護基礎実習ガイドブック参照	実習前後を含めて、グループ全体で協力し合って実習に臨む。その際には、グループでディスカッションをし、自身の課題とグループの課題を抽出し、修正点や不十分な点を明らかにする。課題に対する解決方法を計画し、積極的に実施する。実施した内容については、グループ間で評価しあう。
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に必要な知識をテキスト等で予習してきてください。 ・ 実習先の市の概要について事前に調べてください。 ・ 授業後は実習で学んだ事をテキスト等で復習してください。 ・ グループワークに必要な知識の強化と資料収集をしてください。 ・ グループワークの時間内に円滑な学習経過が辿れない場合は、次回のグループワークまでに遅延を取り戻してください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・ 「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・ 「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・ 「公衆衛生看護学概論」第6版医学書院 ・ 厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2023/2024 ・ 実習ガイドブック 	コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、家族論・家族関係論、公衆衛生看護学概論、在宅看護総論、在宅看護援助論、ターミナルケア論、総合ゼミナール、災害看護論、チーム医療論、保健医療福祉行政論

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する、「看護学臨地実習ガイドブック」および「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み内容を理解し、遵守してください。

科目名	教育社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。

教育社会学の理論および方法、また具体的な研究成果の現状について、受講者によるテキスト概要に関連したトピックの報告と質疑応答により知識の定着をはかる。
 様々な教育活動は社会全体の動きと無関係ではない。本講義では、教育社会学という学問領域の特徴を学ぶことにより、教育と社会の関わりについて考えることのできる素養を養う。受講者が各人の学校体験を無責任に「熱く」語るのではなく、報告の分担を通じて、冷静な事実認識ができるように、社会学的な「目」を培うことを目的とする。

到達目標

D2201y

1. 社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる問題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解できる。
2. 学校と地域の連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解できる。
3. 学校の管理下で起きる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取り組みを理解できる。

成績評価方法

定期試験（40%）、小テスト、授業内レポート（20%）、宿題、授業外レポート（20%）、プレゼンテーション（20%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方（対面授業） 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 変わる学校制度（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 社会の動向とカリキュラム（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 情報化の進展と学校教育（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 学力問題の動向（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 教師教育改革の動向（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 社会の変化と幼児教育（我が国との違い）（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 学校の危機管理と学校安全（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 地域と学校の連携（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 子どもの生活をふまえた学校と家庭の連携（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 子どもの貧困と虐待（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 義務教育と不登校（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) マイノリティと学校教育（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) ジェンダーと教育（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 共生のための教育・総括（授業全体の振り返り、レポート作成）（対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（30分） 復習：最終課題を作成する（180分）対面授業（小テスト）+遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト ・現代社会と教育（酒井朗編著、ミネルヴァ書房） 参考書・参考資料等 ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。	教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談・カウンセリング、教育方法・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、学校体験活動、ボランティアと社会

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	教育原理			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	後期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。

教育の意義と目的を理解し、教育に携わるものとしての基本的な教育学の考え方や態度を身につけるとともに、現代の教育が抱える教育問題について考察し、主体的に問題解決に取り組めるよう深い見識を養う。そのため子どもを見る視点、学力やジェンダーなどの課題、学校の在り方などの多様なトピックを扱う。これらを通して、教育への関心を高め、将来の目指すべき教師像の形成の足掛かりとする。

到達目標

D1101y

1. 教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因との相互関係を理解できる。
2. 教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関りや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解できる。
3. 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関りを理解できる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（20％）、宿題、授業外レポート（20％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション・子どもの発達と教育の目的（対面授業） 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 教育とは何か（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 学校の歴史（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 古代ギリシアの教育思想（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 近代の教育思想（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 近代教育学の成立～新教育運動（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 日本の教育史（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 教育課程と授業の計画（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 教育課程と授業の実践（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 教育評価（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学校・学級の経営（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 学び続ける教師となるために（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 社会教育と生涯学習（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) 地域社会と学校（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（現代日本の教育課題、レポート作成）対面授業 予習：テキストの指定したページを読む（120分） 復習：最終課題を作成する（180分）対面授業（小テスト）+遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
<p>テキストの中に出てくる重要事項について事前に調べておく グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト ・教育原理（木村元・汐見稔幸編著、ミネルヴァ書房） 参考書・参考資料等 ・問いからはじめる教育学（勝野正章・庄井良信著、有斐閣） ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。</p>	<p>教職概論、教育課程論、教育相談・カウンセリング、教育方法 ・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別 支援教育論、生徒指導論、教育社会学、学校体験活動、ボラン ティアと社会</p>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	教職概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	前期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

社会情勢の変化もあって、現代の学校教育においては教職の役割の多様性、重要性の高まりが著しい。そうした中での教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について概説し、それらの基本的な理解をすすめる。また、法令等で定められる「教育職員（教員）」の責務を踏まえ、教職に携わる者に相応しい資質や知識・技能の獲得を図り、教職に携わる者としてふさわしい教育観を有し、力量の形成を行うことができるようになる。そのうえで、教職という職業について、自分の適性、能力等について考え、進路選択について考える。

到達目標

D1201y

" 教育職に就くに際して必要な基本的内容を理解する。
 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。
 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解し、適切な子ども観、教育観を持つ。
 学校内外での連携・協働をすることで現代の学校を取り巻く状況に対応することの重要性を理解する。
 教職に関して得た技能や知識を活用して、教育に関して考えることができる。 "

成績評価方法

提出物、受講態度、試験等を総合して評価する。
 試験60%、提出物20%、ワーク20%を総合して評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：受講に際しての留意事項 / 本講義の目指すところ	
2) 学校教育の位置づけ：公教育としての学校教育	適宜、対話形式ですすめる
3) 職業としての教員：仕事をするということ / 教員の職業的特性	適宜、対話形式ですすめる
4) 教員を取り巻く制度（１）：学校教育の法制度上の位置と教員	適宜、対話形式ですすめる
5) 教員を取り巻く制度（２）：教員に関する法制度	適宜、対話形式ですすめる
6) 教員の職務と服務（１）：教員としての職務の概要 / 服務上・身分上の義務及び身分保障	適宜、対話形式ですすめる
7) 教員の職務と服務（２）：児童・生徒の指導・支援 / 学校組織と職務 / 校務分掌	適宜、対話形式ですすめる
8) 教員としての職能向上：研修の位置づけ・重要性 / 職務階梯と職能	適宜、対話形式ですすめる
9) 子ども理解や教育相談における連携・協働：教員間SCやSSW等の専門家との連携	適宜、対話形式ですすめる
10) 児童生徒の健康・安全への対応：学校運営協議会（コミュニティスクール）やNPO、地域組織等との連携	適宜、対話形式ですすめる
11) 学校現場における養護教諭の職務・役割：ラウンドテーブル 現職養護教諭に聞く	適宜、対話形式ですすめる
12) 教職観と教員の力量（１）：教師文化と倫理 / 使命感・責任感、教育的愛情 / 社会性や対人関係能力 / 生徒理解や学級経営	適宜、対話形式ですすめる
13) 教職観と教員の力量（２）：授業を創る力量 / 教科の理解 / 保健授業案	適宜、対話形式ですすめる
14) 学校教育の現状と教職：学校評価・教員評価の現状 / 教員研修 / 教育改革	適宜、対話形式ですすめる
15) まとめ～教職への道、教職としての道：求められる教員像 / 教員採用と教職としての人生	適宜、対話形式ですすめる
授業外学習	
<p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。（20時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育職の在り方について考えたり、他者と論じたりする時間を持つこと（10時間） ・教職や学校をめぐる最新の法制度について、関係省庁のウェブサイト等で確認しておくこと（15時間） ・適宜、「学習指導要領」、「教育小六法」等の参考図書において、講義と関連する事項について確認すること（15時間） 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト 「教職論ハンドブック [改訂版]」ミネルヴァ書房 参考資料 講義中で配布する資料のほか、適宜紹介する。</p>	<p>教職科目 養護教諭専門科目 教職実践演習</p>

課題に対するフィードバック

課題を出した場合、ピックアップして講義中にコメントする。

備考

外部講師による講義や現場観察等を行う場合もあります。

科目名	子どもの発達と学習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	養護教諭	

授業概要

養護教諭，教師が児童期・思春期の子どもと関わる際に必要な知識の習得を目的とする。幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程と学習の過程を、学習心理学や教育心理学の知見を取り入れながら学ぶ。現場で学習の援助や発達の理解をその発達の背景や環境を踏まえて対処する力を身につける。発達障害、学習障害へ支援の工夫を考えることができるよう、その特徴と対処について学ぶ。

授業は原則、遠隔で行う。質問や相談にはメールと対面、両方に対応する。

到達目標

ナンバリング(C1407sr)

1. 幼児児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。
2. 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。
3. 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。
4. 主体的学習を支える動機づけ・集団作り・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連づけて理解している。
5. 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。
6. 加えて発達障害、学習障害の幼児、及び生徒の発達の特徴を理解し、学校における支援の在り方を考えることができる。

成績評価方法

毎回の授業の最後に提出するレポート（100％）

1回目は授業に対する意欲、2回目～15回目は授業内容の理解と自分なりの考察が求められる。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							20
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							15
プレゼンテーション							5
グループワーク							20
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 発達メカニズムの理解 予習：シラバスについて読んでおく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
2) 知性と認知の発達、知能の発達 予習：知能とは何かについて考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
3) 社会性の発達 予習：「社会性とは何だろう？」というテーマについて考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
4) 児童期の発達 予習：小学生の心の特徴について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	映像を用いた学習
5) 思春期・青年期の発達 予習：思春期の心の特徴について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
6) 認知と学習 予習：学習に必要な人の能力について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
7) 学習の理論 予習：行動の形成と変化について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
8) 教育における学習理論の応用 予習：教育における学習活動の形成について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
9) 動機づけ 予習：学校における動機づけについて考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
10) 教育評価 予習：教育における評価の在り方について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
11) 学校現場で学習障害を背景とした学習の困難さの理解と教育支援 予習：学習の困難さについて考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
12) 学校現場で自閉症スペクトラムを背景とした学習の困難さの理解と教育支援 予習：学校におけるコミュニケーションの問題について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
13) 学校現場で発達障害（ADHD）を背景とした学習に対する理解と教育支援 予習：学校における落ち着いて学ぶ条件について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
14) 学校の集団生活が子どもの心的発達に与える影響 予習：集団で学ぶことの効果について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
15) 教員との関わりが子どもの心的発達に与える影響 予習：教員との関係性について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	
授業外学習	
小児看護学、障害発達心理学等、他の科目との関連を検討しておく。子どもを対象にしたボランティア活動等、子どもと積極的に触れ、子どもと学習支援への関心を高めておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書・参考資料の内容を元に、独自のテキストを作成する。 発達と学習（Next教科書シリーズ）内藤 佳津雄（編集）、北村世都（編集）、市川 優一郎（編集） 弘文堂 発達と学習（教職教養講座）子安 増生（著）、明和 政子（著）、稲垣恭子（監修）、高見茂・田中耕治 協同出版	生涯発達心理学 小児看護学

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週、授業の中でコメントをする。授業外レポートについては、最後の授業で資料配布とコメントを行う。

備考

科目名	特別支援教育論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	脇 貴典	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

多様な障害のある幼児、児童及び生徒について学び、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。

実務経験

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局
 東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー
 埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員
 所沢市教育委員会 就学支援相談員・教育相談員・専門家チーム委員

到達目標

D2203y
 1．発達障害等をはじめとする特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解できる。
 2．発達障害等をはじめとする特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解できる。
 3．障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解できる。

成績評価方法

授業内レポート（60％）、授業態度・授業参加度（30％）、宿題・授業外レポート（10％）

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 【予習】「特別支援教育」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 特別支援教育の制度の理念や仕組み（インクルーシブ教育システムを含む） 【予習】「特別支援教育の理念や仕組み」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 特別支援教育と学校づくり（体制整備と地域資源） 【予習】「特別支援教育の体制整備」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
4) 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性、学習の過程【予習】「特別な支援」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) ASDの理解と指導・支援 【予習】「ASD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) ADHDの理解と指導・支援 【予習】「ADHD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) LDの理解と指導・支援 【予習】「LD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) 知的障害の理解と指導・支援 【予習】「知的障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) 視覚障害・聴覚障害の理解と指導・支援 【予習】「視覚・聴覚障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
10) 肢体不自由・病弱・身体虚弱・重複障害の理解と指導・支援 【予習】「肢体不自由等」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 個別の指導計画と教育支援計画 指導・支援計画作成の意義と方法 【予習】「個別の指導計画」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 個別の指導計画と教育支援計画 作成・活用の実際と配慮 【予習】「支援計画の活用」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
13) 「通級による指導」及び「自立活動」の内容 【予習】「通級による指導等」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
14) 特別な教育的ニーズに対する保護者・家庭との連携 【予習】「保護者のニーズ」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： 必要に応じて資料を配布する 参考書・参考資料等 柘植雅義 はじめての特別支援教育 有斐閣アルマ 2014年 特別支援学校学習指導要領（最新版）小学校学習指導要領（最新版）中学校学習指導要領（最新版）	

課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

1 ~ 5 回分はオンライン授業（授業動画閲覧）
6 ~ 15 回分を対面授業
合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	教育課程論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	後期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解する。また、各学校や地域の実情に合わせて教育課程の編成を含むカリキュラム・マネジメントを行うことの意義・方法について学習する。

到達目標

ナンバリング (D1202y)

学習指導要領を中心として、学校教育の動向を理解し、教育課程の位置づけ、役割、編成の意義について理解する。

教育課程の編成方針を理解し、現代の教育課題に対応した教育課程の編成の実際についての知見を得る。

カリキュラム・マネジメントの重要性・意義を理解し、教育課程の設計・改善ができる。"

成績評価方法

試験70%、提出課題等20%、授業内ワーク等10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション??授業の概要・受講に際する留意事項、教育課程を学ぶ意義	
2) 学習指導要領の性格と教育課程の位置づけ	適宜、対話形式ですすめる
3) 教育課程の意義と社会・生活	適宜、対話形式ですすめる
4) 教育課程の編成原理	適宜、対話形式ですすめる
5) 教育内容の選択と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
6) 教育課程と教育環境	適宜、対話形式ですすめる
7) カリキュラム・マネジメント	適宜、対話形式ですすめる
8) 教育課程と評価	適宜、対話形式ですすめる
9) 各学校種の教育課程	適宜、対話形式ですすめる
10) 効果的な教育活動と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
11) 地域や学校の特性と教育課程の実際	適宜、対話形式ですすめる
12) 教育課程の歴史	適宜、対話形式ですすめる
13) 学習指導要領の変遷	適宜、対話形式ですすめる
14) 教育課程改革の動向	適宜、対話形式ですすめる
15) まとめ これからの教育と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
授業外学習	
<p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。（20時間）</p> <p>【その他】最新の教育制度および施策について、関係省庁のウェブサイト等で確認しておくこと（10時間）</p> <p>学習指導要領及びその解説の類、「教育小六法」等の参考図書において、講義と関連する事項について確認すること（10時間）</p> <p>教育課程の編成について実際に試作したり、他者と論じたりする時間を持つこと（10時間）"</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト>「基礎からわかる教育課程論」大学図書出版</p> <p><参考書>文部科学省「幼稚園教育要領解説（最新版）」「小学校学習指導要領解説（最新版）」「中学校学習指導要領解説（最新版）」「高等学校学習指導要領解説（最新版）」</p> <p>その他 適宜、講義中において紹介する。"</p>	教育方法の研究

課題に対するフィードバック

課題を出した場合、ピックアップして講義中にコメントする。

備考

科目名	特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	吉岡 一志	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

自身の過去の経験を踏まえながら、特別活動と総合的な学習の時間、また道徳教育の意義と内容及びこれらと教科等との関連を理論的に理解し、そのうえで実践に向けた方法的視点を深める。特別活動、総合的な学習の時間、道徳教育を教科との関連を踏まえながら、統合的に理解していくことを目指す。

到達目標

D2204y
特別活動と総合的な学習の時間の意義と内容及びこれらと教科等との関連を理論的に理解するとともに、実践化のための方法的視点や具体的手立てを深める。合わせて、道徳教育について概観し、現代の子どもをめぐる諸課題との関係性について理解する。

成績評価方法

授業態度、レポート、プレゼンテーション等の成績を総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							40
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 ガイダンス、特活の概説 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
2) 現代社会の今日的課題と特別活動（道徳及び総合的な学習を含む） 現代社会の課題から特活の意義を考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
3) 特別活動の内容と方法 学習指導要領から特活の内容と方法を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
4) いじめから考える現代の子どもたち いじめを事例に子ども集団の課題について考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
5) 小括（現代の子どもに求められる力、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
6) 道徳教育の歴史と現在 道徳教育の歴史を振り返り、道徳教育の意義を考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
7) 総合的な学習の時間の意義と原理 学習指導要領から総合学習の意義と原理を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
8) 主体的な学びの意義とその実践 映画を見ながら、主体性に関する理論を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
9) 自己と他者の理解を通じた将来設計 個性形成の理論を踏まえたキャリア教育の方法を検討する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
10) 小括（考えることの意味、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
11) 特別活動（道徳及び総合的な学習を含む）における子どもと教師の関係性 教師が登場する漫画を分析し、あるべき教師像を模索する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
12) 子どもの心と学校生活 漫画題材として、子どもの心に向き合う教師像を模索する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
13) 総合的な学習の時間の事例と学習指導計画の作成（ワーク） 学習指導要領から教育目標を定めて、指導案を作成する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
14) 学習指導計画の発表（プレゼンテーション） 学習の成果を発表し、評価する視点を養う 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク プレゼンテーション
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
授業外学習	
特別活動に関する様々な理論を講義中に紹介する予定です。難解な理論も多いので、必ず復習すること。また、適宜参考文献を紹介するので、興味がある理論については文献を読むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：小学校学習指導要領（最新版）、中学校学習指導要領（最新版） 参考書・参考資料等 小学校学習指導要領解説・特別活動編（最新版）、中学校学習指導要領解説・特別活動編（最新版） 必要に応じて資料を配布予定	

課題に対するフィードバック

授業内に個別にコメントを行う。

備考

科目名	教育方法・技術論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。

子どもや学校を取巻く環境の大きな変化にともない、学校教育の内容・方法も問われている。これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付けるために、学校教育における教える・学ぶ活動を中心に据え、そこで展開されるさまざまな形態や方法・技術・手法について事例紹介とワークを踏まえて学んでいく。さらに、今日における教育目的・内容と教育方法を考察し、アクティブラーニング、学習環境のデザイン、ICTの活用、教育の質的評価などといった小中学校から大学まで、今日の教育者に必要とされる最新の教育技術を理解する。

到達目標

D2205y

1. これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解できる。
2. 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けることができる。
3. 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付けることができる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（20％）、宿題、授業外レポート（20％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：これから子どもたちに育みたい資質・能力（対面） 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 教師に求められる授業力とは（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 授業をつくるということ（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 評価をデザインする（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 学習環境のデザインとデジタル化（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 授業を支える指導技術（教師編）（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 学びを引き出す指導技術（児童・生徒編）（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 学習目標の設定（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 深い学びを導く教材研究（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 主体的・対話的な学習過程（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学びが見える評価方法（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) ICT・デジタル教材を活用した学習活動（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 教科を横断した情報活用能力の育成（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) テクノロジーによる授業の拡張と校務の情報化（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（模擬授業・研究授業の実施と改善、レポート作成）（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（30分） 復習：最終課題を作成する（180分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲垣忠 編著『教育の方法と技術Ver.2』北大路書房、2022年 参考書・参考資料等 ・稲垣忠ほか著『授業設計マニュアルVer.2』北大路書房 ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） <p>その他講義中において適宜紹介する。</p>	<p>教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談・カウンセリング、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、教育社会学、学校体験活動、ボランティアと社会</p>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	生徒指導論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	脇 貴典	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

学校では、いじめや不登校など多様な問題が起こっており、学校教育において生徒指導の果たす役割の重要性が増している。生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われ、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。生徒指導の意義、原理、方法についての理解を深め、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることを目的とする。

実務経験

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 コーディネーター
 東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー
 埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員
 所沢市教育委員会 就学支援相談員・教育相談員・専門家チーム委員

到達目標

D2206y

生徒指導の意義や原理を理解する。
 すべての児童生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解する。
 児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題の形態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。

成績評価方法

小テスト、授業内レポート（60%）、宿題、授業外レポート（10%）、授業態度・授業参加度（30%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方・生徒指導とは 【予習】「生徒指導」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 生徒指導の基本的な考え方とその意義 【予習】「生徒指導の意義」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 生徒指導の方法・原理（法令） 【予習】「生徒指導の関連法令」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
4) 生徒指導体制の確立と運営（スクールワイドPBSによる取り組み） 【予習】「スクールワイドPBS」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) 児童生徒理解・教育相談の考え方と方法 【予習】「スクールワイドPBSの実践」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) 生徒指導における指導と相談（カウンセリング）の実際 【予習】「生徒指導の実践・相談」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) 「いじめ」問題の理解 【予習】「いじめ問題」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) 「いじめ」問題への取り組み 【予習】「いじめへの対応・実践」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) 「いじめ」への対応 【予習】「いじめへの対応方法」についての発表準備（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
10) 「不登校」問題の理解 【予習】「不登校問題」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 「不登校」問題への取り組み 【予習】「不登校への対応・実践」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 「不登校」への対応 【予習】「不登校への対応方法」についての発表準備（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
13) 児童生徒の問題行動の理解 【予習】「生徒指導と問題行動」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
14) 児童生徒の問題行動への対応 【予習】「校内の問題行動への対応」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
15) 総括 他機関との連携 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト 必要に応じて資料を配布する。 参考書・参考資料等 石黒康夫・三田地真実 参画型マネジメントで生徒指導が変わる 図書文化 2015年 文部科学省 生徒指導提要 2010年	

課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

1 ~ 5 回分はオンライン授業（授業動画閲覧）
6 ~ 15 回分を対面授業
合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	教育相談・カウンセリング			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	後期
担当者名	脇 貴典	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。

幼児、児童及び生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせて学習する。

実務経験

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局

東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー

埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員

所沢市教育委員会 就学支援相談員・教育相談員・専門家チーム委員

到達目標

D1203y

- ・学校における教育相談の意義と理論を理解する。
- ・教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。
- ・教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。
- ・専門職としてかかわる中で必要なコミュニケーション技術とカウンセリングの基本がわかる。

成績評価方法

小テスト、授業内レポート（60%）、宿題、授業外レポート（10%）、授業態度・授業参加度（30%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方・教育相談とは 【予習】「教育相談」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 教育相談の基本的な考え方とその意義 【予習】「教育相談の意義」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 教育相談に関わる基礎的な理論 【予習】「教育相談の理論」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
4) 教育相談活動に必要なカウンセリングマインド 【予習】「カウンセリングマインド」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) 児童生徒への支援 見立てから対応 【予習】「見立て・アセスメント」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) 児童生徒への支援 心理教育プログラム 【予習】「心理教育」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 受容 【予習】「カウンセリングと受容」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 傾聴 【予習】「カウンセリングと傾聴」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 共感的理解 【予習】「共感的理解」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
10) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 問題解決 【予習】「相談における問題解決」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 校内連携による教育相談的対応（コンサルテーション） 【予習】「学校コンサルテーション」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 児童生徒の諸問題への対応（危機介入） 【予習】「学校での危機介入」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
13) 教育相談システムの構築と組織的取り組み 【予習】「教育相談システム」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
14) 地域における専門家との連携による相談体制と教師のメンタルヘルス 【予習】「教師のメンタルヘルス」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
15) 統括（学校における教育相談活動の在り方） 【復習】授業内容についてふりかえり、まとめる（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト 大石幸二 監修 先生のための保護者相談ハンドブック 学苑社 2020年 参考書・参考資料等 岩壁 茂 編集 カウンセリングテクニック入門 金剛出版 2015年	

課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

1 ~ 5 回分はオンライン授業（授業動画閲覧）
6 ~ 15 回分を対面授業
合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	健康相談活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で行う。

子どもたちの現代的な健康課題を理解し、学校教育の現場で起こっている児童・生徒の抱えるストレスや悩み等から起こる心身の健康問題、不登校等の現状について理解し、その対応について理論と事例検討を通して習得する。

養護教諭の実務経験をもとに、健康相談活動について授業を行う。

到達目標

D2401y

1. 養護教諭が行う健康相談の意義について理解し、説明することができる。
2. 養護教諭の職務の特質と保健室の機能を生かした健康相談を考え、述べるることができる。
3. 健康相談を進めていくための具体的な方法・技能を習得する。

成績評価方法

- 定期試験(20%)
- レポート(50%)
- 授業態度(10%)
- グループワーク(20%)

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	5	15					20
小テスト、授業内レポート	10	20					30
宿題、授業外レポート	10	10					20
授業態度・授業参加度			10				10
プレゼンテーション							0
グループワーク			5	5	10		20
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 健康相談の目的と意義(新開奏恵) 【予習】配布した文献を読んでおく。(15分) 【復習】健康相談の目的についてまとめる。(10分)	グループワーク
2) 社会の変化と子どもの健康問題の変遷(新開奏恵) 【予習】子どものヘルスニーズについて文献を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題について整理する。(10分)	グループワーク
3) 心身の健康問題における発達段階別の特徴(新開奏恵) 【予習】健康相談の実践事例を読んでおく。(15分) 【復習】実践記録を読み養護教諭の対応をまとめる。(60分)	グループワーク
4) 頭痛・腹痛に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】頭痛・腹痛のアセスメントについて確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
5) 体調不良による頻回来室に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
6) 喘息に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】喘息の症状やアセスメントについて確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
7) けがやスポーツ障害に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】スポーツ障害について確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
8) 友だち関係のトラブルやいじめに対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
9) 保健室登校に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読み養護教諭の対応をまとめておく。(60分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
10) 障がいをもつ子どもに対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
11) アレルギーや慢性疾患に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
12) 摂食障害や自傷行為に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
13) 虐待に対する健康相談(古川かおる) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
14) 性の問題に対する健康相談(今田真樹) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	レポート
15) 履修カルテへの記録・授業の振り返り(新開奏恵) 【予習】健康相談活動での配布資料を整理しておく。(15分) 【復習】健康相談における養護教諭の役割について整理する。(15分)	
授業外学習	
予習として授業で使用する資料を読み、内容を理解する。 復習として配布資料を整理し健康相談活動における養護教諭の役割について振り返りをする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書: 文部科学省 「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引き」 教材: 本の泉社 機関誌「保健室」	学校保健、養護概論、精神保健、小児看護学、教職科目

課題に対するフィードバック

毎回の授業の気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生の気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	学校保健			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。

学校教育における学校保健の目的、意義、実際の活動について学習し「学校保健安全法」等に定められる学校保健管理及び学校環境衛生の概略を理解する。児童・生徒及び教職員の健康と安全の保持増進を図るため、また、児童・生徒の健康に生きる力を育むための保健管理、保健教育における保健実践活動の進め方や実際について、主としてグループワークを通して習得する。

養護教諭の実務経験をもとに、学校保健について授業を行う。

到達目標

D2402y

1. 学校教育における学校保健の概略を理解し、説明することができる。
2. 学校保健活動を実践していくうえで必要な各論的知識を身につける。

成績評価方法

- 定期試験(50%)
- レポート(10%)
- 授業態度(10%)
- プレゼンテーション(20%)
- グループワーク(10%)

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	50						50
小テスト、授業内レポート	5	5					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			10				10
プレゼンテーション	5	5	5	5			20
グループワーク			5		5		10
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 学校保健の活動（事項・内容・方法等）（新開奏恵） 【予習】学校体験活動の資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
2) わが国の学校保健制度（新開奏恵） 【予習】学校保健制度・学校看護婦制度について調べておく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
3) 「学校保健安全法」（新開奏恵） 【予習】学校保健安全法について調べておく。（30分） 【復習】学校保健安全法の確認問題を復習する。（15分）	小テスト
4) 児童生徒に多い疾病異常、事故傷害、体力の実態（新開奏恵） 【予習】学校保健統計資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク プレゼンテーション
5) 児童生徒の心身の健康状態の把握と対応（新開奏恵） 【予習】学校保健統計資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
6) 学校環境衛生活動の内容と方法（新開奏恵） 【予習】学校環境衛生に関する資料を読んでおく。（10分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
7) 学校における安全管理（新開奏恵） 【予習】学校での事件や事故に関する記事を準備する。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
8) 「学習指導要領」に基づく保健教育（学外講師） 【予習】小学校、中学校、高等学校の保健体育の教科書を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	レポート
9) 養護教諭の専門性を生かした保健教育（新開奏恵） 【予習】「養護実習の学び2022」を読んでおく。（15分） 【復習】指導案を作成する。（30分）	グループワーク
10) 養護教諭の専門性を生かした保健教育（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】指導案を修正する。（30分）	グループワーク
11) 子どもの健康、発達の現状に対する学校保健における取組（新開奏恵） 【予習】実践記録資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
12) 模擬授業の実施と評価（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】指導案を修正する。（30分）	プレゼンテーション
13) 模擬授業の実施と評価（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】教材を検討する。（30分）	プレゼンテーション
14) 学校保健組織活動・多職種連携（新開奏恵） 【予習】ほけんだよりを準備しておく。（30分） 【復習】ほけんだよりを作成する。（30分）	グループワーク 小テスト
15) 履修カルテの記録・授業の振り返り（新開奏恵） 【予習】学校保健での配布資料を整理しておく。（15分） 【復習】学校保健に関する確認問題を行う。（20分）	ディスカッション
授業外学習	
授業外学習は、予習として学校保健に関する法令や学校保健活動についての資料を読みワークシートに整理する。復習では、配布資料を整理し学習の振り返りを行う。また、法令等は確認問題で定着させる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：新訂版「学校保健実務必携」 「養護実習の学び2023」 プリント資料	小児看護学、養護概論、養護実習指導、教職実践演習

課題に対するフィードバック

確認問題については、授業で解答とポイントの解説をする。
毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	養護概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。

児童・生徒の心身の健康を保持増進させるために求められる、養護教諭の専門性と役割及び保健室の機能について学ぶ。また、学校保健活動においては、学校内外の関係者や関係機関との連携、ネットワークづくりが重要であるため、関係職員、関係機関の特性と役割について正しく理解し、養護教諭の専門性について深く考える。さらに養護教諭の職務内容を学び、資質・能力を向上するために必要な知識や理論、実践的な力量の内容について明らかにする。

養護教諭の実務経験をもとに養護概論について授業を行う。

到達目標

D2403y

1. 養護教諭の職務の特質について法的根拠を踏まえて説明することができる。
2. 養護教諭の専門性を理解した上で、実際の養護活動場面を想定した指導計画を立案することができる。
3. 「養護とは何か」「養護教諭の役割」を考察し、表現することができる。

成績評価方法

- 定期試験(20%)
- レポート(20%)
- 授業態度(20%)
- プレゼンテーション(20%)
- グループワーク(20%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	15	5					20
小テスト、授業内レポート	5	5					10
宿題、授業外レポート	5	5					10
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション	10			10			20
グループワーク			10		10		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 「養護教諭とは」(新開奏恵) 【予習】学校保健における養護教諭の職務についての資料を読んでおく。(15分) 【復習】「養護教諭観」をまとめる。(15分)	グループワーク
2) オリエンテーション 「養護教諭観」「養護教諭の歴史」(新開奏恵) 【予習】「養護教諭観」の発表練習をしておく。(15分) 【復習】教員として求められる資質についてまとめる。(15分)	プレゼンテーション
3) 救急処置 (新開奏恵) 【予習】学校で起こるけがの処置方法について調べておく。(15分) 【復習】救急処置方法について整理する。(15分)	グループワーク
4) 救急処置 (新開奏恵) 【予習】学校で起こるけがの処置方法について調べておく。(15分) 【復習】救急処置方法について整理する。(15分)	グループワーク
5) 健康診断(新開奏恵) 【予習】法的根拠、目的、内容について調べておく。(15分) 【復習】健康診断計画をグループで完成する。(20分)	グループワーク
6) 保健室実践(学外講師) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題解決のための取組についてレポートを書く。(60分)	レポート
7) 健康診断(新開奏恵) 【予習】測定や検査方法について調べておく。(15分) 【復習】健康診断実施の際の留意点について確認する。(15分)	グループワーク 健康診断実施計画作成
8) 学校環境衛生活動(新開奏恵) 【予習】法的根拠、目的、内容、方法等を調べておく。(20分) 【復習】環境衛生活動における留意点について確認する。(15分)	グループワーク
9) 感染症の予防(新開奏恵) 【予習】児童生徒が罹患しやすい病気について調べておく。(20分) 【復習】感染症対策についてまとめる。(15分)	グループワーク
10) 保健教育(新開奏恵) 【予習】保健教育の題材を調べておく。(20分) 【復習】養護教諭の行う保健教育の意義をまとめる。(15分)	グループワーク 指導案作成
11) 保健教育(新開奏恵) 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】指導案を修正する。(15分)	プレゼンテーション 指導案説明
12) 保健教育・教職ガイダンス(新開奏恵) 【予習】保健教育で行いたいテーマを決め、教材を準備しておく。(30分) 【復習】指導案を修正する。(15分)	グループワーク
13) 保健室実践(古川かおる) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題解決のための取組についてレポートを書く。(60分)	レポート
14) 保健教育(新開奏恵) 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】指導案を修正する。(15分)	プレゼンテーション
15) 保健室経営計画立案(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】保健室経営計画をグループで完成させる。(20分)	グループワーク 保健室経営計画作成
授業外学習	
予習として授業内容に関する法令や内容について、実務必携を参考に調べておく。(事前ワークシート) 復習として配布資料を整理し授業内容の振り返りを行う。法令等は確認問題で定着させる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書:「学校保健実務必携」 教材:中村富美子編著「養護教諭のスキルラダー」 「養護実習の学び2023」	小児看護学 教職科目

課題に対するフィードバック

確認問題については、授業で解答とポイントの解説をする。
毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	養護実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	自由	1	3年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で行う。
 養護実習の目的、意義の理解を深めるとともに、実習に必要な知識、技術を習得する。
 また、子どもの健康問題について考え、そこから課題を明らかにし、課題解決に向けてどのように取り組むか、学校現場の取組から学ぶと共に、授業づくりの実践力を身につける。
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、養護実習指導を行う。

到達目標

- D3401y
 1. 養護実習の目的や意義を理解し、実習に必要な技術を習得する。
 2. 実習目標、実習計画を立案する。
 3. 演習や模擬授業を通して、相互に学び合うことができる。

成績評価方法

- 小テスト・レポート(30%)
 授業態度(20%)
 プレゼンテーション(30%)
 演習(20%)

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート	20	10					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション	10	10		10			30
グループワーク							
演習		10		10			20
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 養護実習の目的・意義(新開奏恵) 【予習】実習生調査書の下書きをしておく。(60分) 【復習】実習のガイドブックを読む。(30分)	グループワーク
2) 保健室における養護教諭の執務(新開奏恵) 【予習】実習調査書の下書きをする。(30分) 【復習】実習のガイドブックを読み必要物品を準備する。(30分)	グループワーク
3) 保健室における養護教諭の執務(新開奏恵) 【予習】実習調査書の清書をする。(30分) 【復習】実習のガイドブックを読み実習における課題を明確にする。(30分)	グループワーク
4) 外科的な救急処置(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
5) 内科的な救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
6) 緊急性の高い救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
7) 健康診断(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)	演習
8) 保健教育(新開奏恵) 【予習】養護概論で作成した保健指導の修正をしておく。(30分) 【復習】指導の流れを覚える。(30分)	指導案作成
9) 環境衛生検査(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)	演習
10) 実習記録(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)	グループワーク 小テスト
11) 保健教育(新開奏恵) 【予習】9月に配布するほけんだよりの資料を準備しておく。(30分) 【復習】ほけんだよりを完成する。(30分)	プレゼンテーション
12) 保健教育(佐伯里英子) 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】他者評価を参考に指導案や教材を改善する。(30分)	プレゼンテーション
13) 統計処理・ICTの活用(新開奏恵) 【予習】実習校との連絡調整についてガイドブックを読んでおく。(30分) 【復習】法令に関する小テストの学習をする。(30分)	演習
14) 保健室経営(新開奏恵) 【予習】法令に関する小テストの学習をしておく。(30分) 【復習】授業に関する疑問点を整理する。(30分)	グループワーク
15) 実習の振り返り(新開奏恵) 【予習】実習日誌や資料を整理しておく。(30分) 【復習】他の学生の発表を聞いて学んだ内容をまとめる。(30分)	プレゼンテーション
授業外学習	
予習として養護概論・健康相談活動で学んだ養護教諭の執務内容を確認する。 復習として演習を振り返り、養護実習で正確に実践できるように練習する。指導案や教材を作成する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト: 本学作成「実習のガイドブック」 「養護実習の学び2023」報告集 参考書: 第一法規「学校保健実務必携」 山口県養護教諭会「養護教諭の職務ハンドブック2022」	養護実習、小児看護学 教職科目

課題に対するフィードバック

毎回の授業の自己評価については、一人一人コメントをつけて次の授業時に返却する。
学生の気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	養護実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	4	3年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

小・中・高のいずれかの学校において、養護教諭の指導のもとに、実際に学校での児童・生徒の保健管理や保健教育を行い、養護教諭としての実践力を養うことを目的とする。具体的には、児童・生徒の実態への理解を深めるとともに、保健室の実習を中心として、学級運営や学習指導の観察・参加、保健教育なども体験する。このことを通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ応用できる能力を養い、養護教諭としての自覚を高める。事前、事後指導も行う。養護教諭の実務経験のもとに、養護実習を行う。

到達目標

D3402ay
 1. 児童・生徒の学校生活の実態や心身の健康問題・発達課題を理解する。
 2. 養護教諭として場面に応じた適切な判断・処置・指導を行うことができる。

成績評価方法

実習評価表(50%)
 実習日誌・レポート(50%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習校で作成した「実習計画」にしたがって実施する。 予習として、指導案及び教材を作成する。 復習として、実習記録や資料の整理を行い、実習の振り返りを作成する。 実習報告としてPPTを作成する。</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習校で作成された実習計画を確認する。保健教育の指導案作成や教材づくりについて事前準備を行う。学校保健安全法に基づく養護教諭の職務内容について確認する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト: 本学作成「実習のガイドブック」 「養護実習の学び2023」 参考書: 第一法規「学校保健実務必携」 山口県養護教諭会 「養護教諭の職務ハンドブック2023」</p>	<p>養護実習指導、学校保健、養護概論、健康相談活動、小児看護学、教職科目</p>

課題に対するフィードバック

養護実習の学び報告集を作成し、報告会を開催して学びを共有する。報告会に実習校指導養護教諭、講師を招聘し、指導を受ける。報告会には2年次学生も参加させる。

備考

科目名	学校体験活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	1	1年	通年(前期)
担当者名	白石 義孝、新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 教職員の姿から教師としての姿勢や職務を学び、児童・生徒の理解を深める。学級運営や学習指導の観察・参加等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、教員(養護教諭)としての自覚を高める。
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、学校体験活動について授業を行う。

到達目標

- D1401ay
 1. 児童・生徒の学校生活の実態に即した、学校運営や教員の資質を理解する。
 2. 教員としての適切な判断・指導について理解を深める。
 3. 教員を目指す上での自分の課題を知る。

成績評価方法

- レポート(20%)
 授業態度(20%)
 プレゼンテーション(20%)
 グループワーク(10%)
 学校体験活動(30%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10				10
演習							0
実習		10	10	10			30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
事前指導計画 1. 教員としての資質 2. 養護教諭の仕事 3. 社会人としてのマナー 4. 学校体験の目的		グループワーク
授業外学習		
「教職を目指す学生の学校体験制度」「山口県教育推進の手引き」を山口県教育委員会ホームページで確認する。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
養護実習ガイドブック	学校保健、養護概論、健康相談活動、養護実習指導、養護実習、小児看護、教職科目	

課題に対するフィードバック

コメントを付け返却する。

備考

学校での実習は5日間を基本とするが、4日間以上あれば認定する。
実習期間が4日間に満たない場合は、不足日数分ボランティア活動に参加するなどして代替する。

科目名	学校体験活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	1	1年	通年(後期)
担当者名	白石 義孝、新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 教職員の姿から教師としての姿勢や職務を学び、児童・生徒の理解を深める。学級運営や学習指導の観察・参加等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、応用できる能力を養い、教員(養護教諭)としての自覚を高める。
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、学校体験活動について授業を行う。

到達目標	成績評価方法
D1401ay 1. 児童・生徒の学校生活の実態に即した、学校運営や教員の資質を理解する。 2. 教員としての適切な判断・指導について理解を深める。 3. 教員を目指す上での自分の課題を知る。	レポート(20%) 授業態度(20%) プレゼンテーション(20%) グループワーク(10%) 学校体験活動(30%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10				10
演習							0
実習		10	10	10			30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
事後指導計画 1. 学校体験活動の振り返り 学校体験活動報告 2. 教員（養護教諭）に求められる資質能力	グループワーク
授業外学習	
「教職を目指す学生の学校体験制度」報告書を作成する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	学校保健、養護概論、健康相談活動、養護実習指導、養護実習、小児看護、教職科目

課題に対するフィードバック

コメントを付け返却する。

備考

学校での実習は5日間を基本とするが、4日間以上あれば認定する。
実習期間が4日間に満たない場合は、不足日数分ボランティア活動に参加するなどして代替する。

科目名	生物学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	祐村 稔子		関連する資格	

授業概要

細胞から人体まで、その構造と機能に関する基礎的な知識を再確認し、確実に習得することを目指す。

到達目標

B1221

看護に関連する生物学の基礎学力を身につける。

成績評価方法

期末試験結果に加え、宿題、演習問題の学習状況を加点して総合評価を行います。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 人体のなりたち（細胞・組織） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
2) 人体のしくみ（循環器系・呼吸器系） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
3) 人体のしくみ（排出器系） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
4) 人体のしくみ（消化器系と代謝） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
5) 人体のしくみ（感覚器官と神経系） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
6) 人体のしくみ（骨格・筋肉） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
7) 人体のしくみ（内分泌、免疫） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
8) 遺伝、生化学の基礎 復習】演習問題（30分）	【演習問題
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
講義で扱った項目に関する演習問題を宿題とします。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリント配布	生物学、人体の構造と機能

課題に対するフィードバック

演習問題の採点結果を返却

備考

科目名	化学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	山城 安啓	関連する資格		

授業概要

日常生活に関する物質や様々な現象を取り上げ説明し、理解させることで化学に親しみを持たせることから始める。また、この知識を発展させ生化学を学ぶ上での基礎となる化学の知識を身に付けさせる。原子・元素の構造と機能など無機化学を中心に学習し、有機化学・教養教育の化学へと結びつけるとともに、生化学、薬理学等の講義に備える。

到達目標

B1222

化学の基礎知識を習得する

- 1) 元素記号と分子の構造の表し方が説明できる。
- 2) 浸透圧、沸点上昇、凝固点降下等の現象を説明できる。
- 3) 酸・塩基の違いを説明できる。
- 4) 酸化還元を説明できる。
- 5) 化学反応式が書ける。
- 6) 様々な濃度の計算ができる。

成績評価方法

出席回数を満たし、と期末試験で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 身のまわりの化学、化学の単位と元素 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
2) 原子の構造、化学式 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
3) 物質の三態 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
4) 液体・溶液の性質 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
5) 化学反応 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
6) 酸塩基平衡、酸と塩基 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
7) 化学結合 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
8) 総括 【復習】過去の小テストを復習しておいてください(90分)。	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業計画に沿って、講義を進めて行きます。 授業開始時、毎回小テスト(前回講義内容)を行います。講義資料や参考書等を利用して復習しておいてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
PowerPointで作成した講義資料 参考書 高校の化学の教科書 「系統看護学講座 基礎 化学 医学書院」	化学や生化学

課題に対するフィードバック

各人が授業内課題で作成した問題は、次の週の小テストに活用し、試験後に解説を行う。

備考

科目名	物理学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布をします。
後期の「物理学」の授業を理解するために必要な基本的な物理の事柄を学ぶ。
特に、看護の物理で最も必要となる「圧力」「てこの原理」を重点的に学ぶ。
グループ討議を設定。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B1223
看護師、保健師で必要となる物理の基本的な事柄がわかる。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その1 予習；物理の基礎の資料全体を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その2 予習；運動全般を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その3 と小テスト 予習；運動全般を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 熱と気体の運動、比熱計算 予習；熱と気体の運動について調べておく（30分）。復習；熱、比熱などの計算問題を解いてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 圧力 その1 予習；圧力全般について調べておく（30分）。復習；圧力の基本単位を理解する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 圧力 その2 予習；動圧、静圧について調べておく（30分）。復習；表面張力と濡れ現象について確認すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 濃度計算と音 予習；濃度と音について調べておくこと（30分）。復習；濃度計算をやってみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 確認テストと解答の解説 予習；物理の基礎資料の全体を読み返して、計算問題が解けるようになっておくこと（1時間）。	確認テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業計画に沿って、テキスト・資料の該当単元を熟読してきてください。 テキスト・講義資料を復習して下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
看護に必要な 「やりなおし数学・物理」照林社。 資料はClassroom上にアップする。	数学の基礎、物理学、地球の環境

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	数学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。
看護に必要な数学の知識として、基本的な数の概念、計算のルール・式のルールを確認する。
また、看護師国家試験に出題されている問題をもとに、解くために必要な基本的な知識を学ぶ。
毎回、グループ討議の時間を設定。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B1224
看護の専門科目の理解を容易にし、看護師国家試験に出る数学の問題を解く。

成績評価方法

毎回行うテスト、毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 基本ルール（範囲、計算順序、倍数、単位数）、小テスト 予習；数学の基礎資料、全般を概する（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	
2) 分数の計算1（分数 少数、通分、約分）、小テスト 予習；分数の計算全般を概観する（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
3) 分数の計算2（分数種類、帯分数、掛け算等）、小テスト 予習；分数の計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
4) 比例（比、比例、比例の性質）、小テスト 予習；比例計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
5) 割合（百分率、歩合、割合、基準にする量）、小テスト 予習；割合の計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
6) 速さ（求め方、単位変換、道のり、時間等）、小テスト 予習；速さの計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
7) 調査（全数・標本調査、母集団、推定等）小テスト 予習；調査全般について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
8) 看護に必要な計算の確認テスト 予習；看護国家試験の過去問を調べておく（1時間）。復習；テストの内容を完全に理解する（30分）。	確認テストの結果で自分の現在の實力を知る。
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキスト・資料の該当単元を熟読してきてください。テキスト・講義資料を復習する。 テスト結果を見て、間違った箇所を確認する。看護師国家試験の計算問題（過去問）が確実に解けるように自宅でも筆算を中心とした復習をする。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「やりなおし数学・物理」照林社	物理の基礎、物理学、データの科学的な見方、保健統計

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	英語の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。4技能の運用に必要な基礎的文法知識を身に着けるための授業を展開する。また、日常生活や地域の話題を取り上げた英文を読み、速読直読の習慣を身に付ける。さらに、パラグラフ・リーディングおよびライティングを行い、英語の文章構成を理解する。

到達目標

B1225

- 1 英語の基礎的文法を理解することが出来る。
- 2 異文化を理解し、英語で簡易なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の文法事項についての概要的説明 文法事項 1 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 英語の学習法についての助言 文法事項 2 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 英語リーディングについての説明 文法事項 3 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 英語ライティングについての説明 文法事項 4 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 英語リスニングについての説明 文法事項 5 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 英語スピーキングについての説明 文法事項 6 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 英語プレゼンテーションについての説明 文法事項 7 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 文法事項 8 総括およびテスト テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『English Aid 基礎から学べる大学英文法総合演習』 白倉美里 金星堂	エッセンシャルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。